

以て設けられた機關。

【提唱】テイシャウ 本來は禪學センガクの用語であるが現今では一つの主義又は意見を他に先んじて唱へ出すことに用ゐる。

【定食】テイシヨク Meal (英) の譯 西洋料理の正式な一食のことでスープから始つてコーヒーに終る物をいふ、轉じて一人前にそろへて作った料理。

【ディスクラム】Discus (英) 陸上競技の圓盤投げに用ゐる圓盤。

【ディスカウント】Discount (英) 割引、割引する、割引料。

【ディスカウス】Discuss (英) 商議する、議論する、辯論する。

【ディナー】Dinner (英) 午餐又は正餐セイサン、單に午餐の意味に用ゐるのは誤つて居る。

【ディダクシオン】Deduction (英) ①推定、割引②演繹法エンエキハフに同じ。

【ディダクティヴ】Deductive (英) 演繹的と譯する

【帝展】テイザン 帝國美術展覽會の略。

【停電】テイデン ①或事故の爲め電流が絶へ電車や電燈が一時停止すること②待合などに入りびたること。

【ティップ】Tip (英) 一般にチップと訛つていふ、心づけ、祝儀、笑話、本來は To incur promptness の頭字カシラジを集つて作った語で「早くさせる」の意、即ち勢ひをつけて早くせしめること。

【ティフィン】Tiffin (英) 一寸した食事、間食、ミールズ。

【ディフソメニア】Dipsomania (英) 飲酒狂、酒精狂。

【停年制】テイネンセイ 東京帝國大學の教授が年齢満六十歳に達した時は事情の如何に拘らず辭職することを規定した類をいふ。

【低能病】テイノウビヤウ 贅肉が喉佛の奥に出來てそれが次第に耳・鼻・口等に障害を及ぼし遂に腦力が衰へて次第に低能となつて行く病氣。

【ディレクター】Director, Director (英) ①指揮者、

管理人、取締役②劇場では舞臺監督をいふ。

【ディレクタンテイズム】Dilettantism (英) 道樂半分に藝術を愛好すること。

【ディレクタント】Dilettante (英) 道樂として藝術を弄ぶ人、好事家。

【ディレンマ】Dilemma (英) 板挾となつた逆境、窮境。

【テースト】Taste (英) ①風情、趣好②味覺、風味

【テーブル・カヴァー】Table cover (英) 机かけ、

テーブル・クロスは特に食卓用のものをいふ。

【テーブル・スピーチ】Table speech (英) 食後などの一寸した談話、卓上演説。

【テーブル・ターニング】Table-turning (英) 體力を用ゐず靈の働きによつて机を動かしたり上げたりすること。

【テーマ】Thema (獨) 主題、題目、脚本や小説の筋の中心點、及びそれを一貫する主義・目的。

思想等をいふ。

【デイマンド】Demand (英) 請求、要求、需要。

【テイラー・システム】Taylor-system (英) 科學的管理法と譯する。

【ティント】Tint (英) 活動寫眞用語でフィルムを染色する場合夜景の氣分を現はす爲めに紺青色に染めたり火事の場面を思はせる爲めに赤く染めたりすること。

【ティノロジー】(俗語) サイノロジーの對、亭主思ひの妻君のことをいふ。

【でかんしよ節】デカンシヨノフシ 東京第一高等學校の生徒が歌ひ初めて一時學生間に流行を見た俗歌。

【手形保護器】テガタホキ Check-Protector (英) の譯 手形の偽造や悪用を防ぐための器械で紙面に番號や數字を書き込み同時に不滅インクを以て印刷する装置となつて居る。

【デカダン生活】セクタッド Decadant (佛) 理想も目的もなく人爲的の享樂に酔ひやけ氣味になつて

現在の刹那に生きんとする放縦な生活で精神的の懊惱な外界の刺激や肉體の欲望等を結合した上に近代人の懐く懷疑が加つた結果から起る場合が多い。

【でかる】(俗語)デカダンを動詞化した語でなまける、遊ぶ、だれる等の意。

【テキ】焼肉の意、俗語として廣く用ゐられる。【的】^{テキ}「」の譯 何々らしい、何々の如き、何々に關して等の意。

【適應性】^{テキヤウイ} Adaptability (英)の譯 順應性ともいふ、生物がその周囲の状態に適應して初めて生活し得られる性質。

【敵機】^{テキキ} 海軍に於ける敵艦と同じく敵の軍用飛行機をいふ。

【適者生存】^{テキシヤセイゾ} Survival of the Fittest (英)の譯 優勝劣敗と同意、適應性に富んだ生物はよく生存繁殖し之に反するものは滅亡する現象のこと。

【テキスト】^{Text} (英) ①原文、本文 ②題目、又證文。

【テキスト・ブック】^{Text book} (英) 教科書、教本。【適性検査】^{テキセイケンサ} メンタルテストの譯、その項を見よ。

【敵本主義】^{テキホンシユギ} 甲に對する目的又は行動を乙に對する目的・行動の如く見せかけて不意に敵に攻めかける遣り口、明智光秀が本能寺に信長を征めた時「敵は本能寺にあり」といつた言葉から生れた語。

【てく】てく〜歩くといふ意である、動詞化したは「てくる」などといふ。

【テクシー】(俗語)タクシーをもちつててく〜歩くことをいふ。

【テクテクズム】てく〜歩く主義、京都の家政女學校が徒歩主義を奨励した時の標語として用ゐ初めた語。

【テクニーク】^{Technique} (英) ①技巧、技術 ②手

線、描出法、藝風。

【テクニカル】^{Technical} (英) ①學術的、専門的 ②専門の、學術の、技術の。

【テクニカル・ターム】^{Technical-term} (英) 専門語、學術語。

【テクニク】^{Technic} (英) 技藝、技術、一般藝術論。

【テクニクス】^{Technics} (英) ①専門的法則、學術的法則 ②單に専門語、學術語等にも通ずる。的事項 ③単に専門語、學術語等にも通ずる。

【テクモビル】テクとオーモビルとを組合した俗語でてく〜歩くこと、又は徒歩主義。

【デグリー】^{Degree} (英) 程度、度合、ほどあひ。

【テケツ】ケイケツトの訛、切符、入場券、乗車券。【デコール】安價な油繪具デコレーション、轉じて安價な賣笑婦、下等な淫賣婦。

【凸坊】^{デコバウ} 腕白小僧のこと、漫畫にいたづらな子供をおでこに書いて凸坊と名づけたことから

始つた語。

【デコラティヴ】^{Decorative} (英) 裝飾的。【デコる】デコラティヴをもちつた語で餘計なものを飾りつけること、無闇に物事をつぎ足して行くことの嘲笑語。

【デコレーション】^{Decoration} (英) 裝飾物、裝飾、又勳章。

【デコレート】^{Decorate} (英) 裝飾する、飾る。【デザート】^{Desert} (英) 洋式宴會でデザート・コースに出る食品。

【デザート・コース】^{Desert-course} (英) 洋式の食事で食後に果物やコーヒーなどを用ゐる時間英國では果物や生菜子を用ゐる米國では蒸菓子をも用ゐる。

【デザイアー】^{Designer} (英) 欲望、渴望、又要求。【デザイン】^{Design} (英) ①繪畫にて大體の形状や風姿を描くこと、素描 ②意匠、設計の意味にも用ゐる。

【デジケート】Dedicate (英) 身を捧げる、奉獻する。

【デスク】Desk (英) 机、卓子、書臺。

【デスク・システム】Desk system (英) 執務用具をすべて卓上に備へつけ執務者が動く必要なくして敏速に事務を取り得るやうに組織した執務法

【デスク・パッド】Desk-pad (英) 厚板の上に吸取紙を挟んだもの、吸取紙板、プロッティング・パッドともいふ。

【デスティニー】Destiny (英) 命数、運命。

【テスト】Test (英) ①標準、證明、試験物 ②試験、又メンタルテストの略。

【デストラクティオン】Destruction (英) 滅亡、破壊

【デスペアー】Desperate (英) 絶望する意。

【デスペレート】Desperate (英) 無謀の、絶望の、死物ぐるひ。

【デゼネレーション】Degeneration (英) 進化の對、退化、頹廢。

【哲學】Philosophy (英) の譯 人類の悟性の要求と情意の希望とを満足せしめる目的を以て日常生活から得た經驗と科學的研究の結果とを總合し矛盾のない世界觀の上に立つて行ふ研究

【鐵管ビール】Flatiron 平民階級の人々が水道の水をしゃやれていつた語。

【鐵血政策】Blood-iron-policy (英) の譯 獨逸の宰相ビスマークが行つた政策で兵器(鐵)と軍隊(血)とを以て國威の伸張を圖らんとする政策。

【デッサン】Design (佛) 繪畫にて大略の容姿や形狀を描くこと、素描ソベツ。

【徹底】Thorough 物事の内部に徹して深く突き込む意で徹底的に取調べるなどいふ。

【徹底的自然主義】Thoroughly naturalistic Konsequenter Naturalismus (獨) 單に現實の眞を忠實に描寫する一點に拘泥して居る自然主義の上に一步を進め更らに理論を押し進めて直ちに自然そのも

のに接近し藝術の價値を高めんとする主義で獨逸のアルノー・ホルツの創唱した説。

【鐵道脊髄病】Railway-spine (英) 汽車の震動の如き強い震動の爲めに起る脊髄病

【デッド・ボール】Dead-ball (英) 野球にて投手の投げた球が誤つて打者の身體にふれた時にいふ即ち死球シキウ。

【デッド・マスク】Dead-mask (英) 人の死後その面影を永久に保存する目的から死人の顔面に淡黄色の蠟を押しあて、型に取りそれに石膏セキヤウを流し込んで作つた石膏面のこと、死面ともいひマスクともいふ。

【デッド・ロック】Dead lock (英) 同盟罷工その他の事情により工場が閉鎖された場合にいふ、死工場。

【デモクラ氣分】Democratic 民主主義、即ち少しの遠慮も氣兼ねなく上下打とけて寛るが無禮講の席上の氣分。

【デモクラシー】Democracy (英) 民本主義、民主々義、民衆主義。

【デモクラット】Democrat (英) 民主々義者、民政論者。

【でもくらししい主義】Democratic からもちつて生活を樂觀的にいつた語、何々でも暮しよの意。

【デモクラティック】Democratic (英) 民本的、民主的、民衆的。

【デモクラティック・オファ】Democratic Offer (英) 丸善會社の夏帽子賣出し廣告に初めて用ゐられた語で民衆的の販賣、お客本位の賣出し等の意。

【デモン】Demon, Demon (英) 惡魔、惡靈、邪神。

【デモンストラーション】Demonstration (英) 示威運動に同じ。

【デュエット】Duet (獨) 音楽にて二重奏、二樂器の合奏曲をいふ。

【てよだわ言葉】Toga 「よくつてよ」「駄目だわ」

などの「てよ」と「だわ」とを組合せた語で女學生間に用ゐられる言葉を冷笑していつた語。

【テラコッタ人形】ニギヤウ Terra-cotta figure (英) 釉薬ウハダスリをかけぬ素焼スキキの人形の一種。

【デリカシー】デリカシー Delicacy (英) 優美、繊細、微妙、精緻。

【デリケート】デリケート Delicate (英) 微妙と譯する。

【テレグラフ】テレグラフ Telegraph (英) 電信と譯する。

【テレグラフ・エディター】テレグラフエディター Telegraph-Editor (英) 通信記者。

【トランヒニー】トランヒニー Tragedy (英) 離婚した婦人が他の男に嫁いだ場合にはその婦人は先夫の血を受けて肉體的に變化して居るから後夫の爲めに子供が出来てもそれは男女両性による純粹のものでなく先夫の遺傳も加はつた男二人と女一人との混血兒であるといふ説、先夫遺傳と譯する。

【テレフォン】テレフォン Telephone (英) フォーンとも略稱する、電話、電話機。

【テレ・ライター】テレライター Tele writer (英) 電話機の種類で自在に文字を書くもの。

【テロリズム】テロリズム Terrorism (英) テロとも略稱する暗殺や焼打などの兇暴な手段によつて自己の主張を貫徹せんとする主義。

【手を焼く】テラヤク (俗語) 箸にも棒にもかゝらぬ、始末におへぬなどの意。

【電壓】デンヤツ 二物體の電位の差のこと、その單位をボルトといふ、普通は地球の電位を零とし帯電體の電位内を「地球と帯電體との間の電壓」といふのである。

【田園生活】デンエンセイカツ 郊外生活よりも更らに都市を離れた田舎で生活すること。

【田園都市】デンエンシ Garden City (英) の譯 市街地の住宅を従來の如く餘り接近せしめず成るべく田園趣味を加味して庭園などを作りそれによつて都會特有の各種の弊害を絶ち新清なる市民生活を營まんとする運動で一八九八年英人ハワ

ートルに主唱され現今では歐米都市で盛んに實行されて居る。

【田園文學】デンエンブンガク 都會を主材とした文學に對し田園生活を主材としたもの、郷土文學。

【電氣寫眞】デンキシャシン ①三十分か一時間位で出来る安價な小型の艶消寫眞で十二枚一組となつて居て三四十錢内外の料金しか要しない②移りぎの早い人のこと。

【傳奇小説】デンキセウセツ 探險小説・冒險小説の如き怪奇・奇抜な事件を取りあつた小説。

【傳奇的】デンキテキ 小説的・超人間的・超自然的の材料をいふ。

【天金】テンキン Gilt-top (英) の譯 ①繪畫の裏金に類し書物の上端の切口に金箔を置いた製本②東京一流の天麩羅屋に天金といふのがある。

【天啓】テンケイ 人の靈感によつて神の意志や思想を授けられること。

【典型】テンケイ Type (英) の譯 ①型、または模範。

【點景人物】テンケイジンブツ Scenery (佛) の譯 風景畫中に描かれる人物をいふ。

【天才】テンサイ 先天的に一方に偏して特色ある獨自の特質を具へた人をいふ。

【天才教育】テンサイイクウイク 天才に磨きをかけることで先天的に獨得の天分を具へて居る人物に對し他の科學を従として更らにその特質を十分助長發達せしめる目的にて施す教育。

【天才主義】テンサイシユギ 天才を有せる者が常人の追隨を許さぬその性質を標識として謬信や慣習に拘泥せず自己の進むべき道に猛進する主義。

【天井相場】テンジャウサウバ 財界の状態から見て上りつめた時の相場、最高値段。

【傳書鳩】デンシヨバト 甲乙兩地の連絡を取るため文書送達の役目を果すやうに訓練された鳩で戦時航海又は新聞社の通信用などに使用される。

【田紳】デンシン 田舎紳士を略していふ。

【テンション】Tension (英) ①緊張、奮發②物理

學上では張力チヤウリョクをいふ。

【點線】テンセン ドットテッド・ラインに同じ。

【傳統】デントウ 昔からの習慣や信仰や道德などを

いひ現はす語。

【殿堂】デンダウ 權威を以て立てる壯大な建物の意、

轉じて權威ある偉大なものいふ。

【テンダー】Tender (英) ①看取者、看護人 ②小

蒸汽船、又炭水車。

【テンデンナー】Tendency 傾き、傾向。

【傳統主義】デントウシユギ 其國の歴史と國土とを尊重

して國民的特色の鮮明な文學を主張するものを

いふ。

【テント村】ムラ 夏期の避暑地となる山間や海濱に

設備されるテント張りの部落で一つのテントの

中に簡単な炊事道具や寢具などを備へつけ一週

間位の日をきつて希望者に賃貸することになつ

て居る。

【天然色活動寫眞】テレンシヨクタクワッドウシャシニ キネマ・

カラーに同じ。

【天然肥料】テレンシレウ 手間肥に同じ。

【テンプレーション】Temptation (英) 誘惑、邪道、

誘惑物。

【てんぶら】(俗語) 金のころもをきせると言ふ意

味から鍍金のことをいふ。

【デディケート】Dedicate (英) 著作物が發行せら

れる時その書物の扉に恩人や親友などの名を題

して寄せる場合に用ゐる語で「この書を何誰氏

にデディケートする」などいふ。

【デテイル】Detail (英) 枝葉、細部、詳細、又詳

細圖面。

【テナント】Tenant (英) 借家人、借地人。

【テニス】Tennis (英) 庭球と譯する。

【テニス・コート】Tennis court (英) テニスをす

る所、庭球競技場。

【テノール】Tenor (英) 音楽でソプラノとアル

トの中間にある聲音をいふ、即ち次中音ジテユウオン

のことで男子の高聲は普通之に屬する、又音樂

家をテノールといふこともある。

【デパートメント・ストア】Department store

(英) 大資本と大建築物とを有しその内に各種

のデパートメントが獨立的に商賣をしながら一

人の主人又は支配人等によつて總括管理せられ

て居る小賣商店、生れた時から死んだ時まで

各種必要品一切を間に合せる様になつて居るか

ら百貨商店など譯される。

【デヴィス・カップ】Davis 氏の懸けたCupの意、毎

年一回米國と濠洲のゾーンで庭球競技を行ひ兩

所の優勝者が更らに決勝的の競技をする時にか

けられる賞杯。

【デビュー】Debut (佛) 初演奏、初舞臺。

【デブ君】クン (俗語) 米國活動寫眞の喜劇俳優ロス

コー・アーバックルがでぶくと太つて居ると

男のことにいふ。

【テンバラメント】Temperament (英) 生長、發

達、開發。

【テンパチキズム】Tempergism (英) 群衆煽動、

好雄的の動作。

【手間肥】テマヒ 何等化學的加工を用ゐない厩肥キウ

ヒ・堆肥タイヒ・人糞等の如き天然肥料を總稱する。

【テンペラ】Tempera (伊) 蛋白で練つた繪具、

又それを描いた繪。

【テンペラメント】Temperament (英) ①氣質、

かたぎ、生れつき ②調和、調合。

【テンペランス・ソサイチー】Temperance society

(英) 禁酒同盟會。

【展望車】テンパウシャ 列車の客車中に裝置されたも

ので進行中沿線の風光を見せしめるため硝子張

りにした車體。

【天保錢】テンパウセン 陸軍大學卒業者の佩用する徴

章が天保錢に似て居るところから同校出身の將

【テンポラリー】Temporary (英) 暫時の、一時の、當座の。

【電話便】テレホン 電話を利用する速達郵便。

ト (トゥ・ドゥ)

【ドア】Door (英) 戸、とびら、入口、また家。

【ドアー・キーパー】Door keeper (英) 玄関番。

【トイレット】Toilet (英) 化粧室、手洗所、便所の代りに用ゐる。

【同化】Assimilation (英) の譯 自己と全然異なるものを自己と同一の性質に化すること、他から滋養分をとつて自己の身體の一部分となすこと、又他人の思想を了解して自己の智識とすること、即ち他の物事を化して自己と同じくすること。

【統覺】トウカク 吾人が事物を認識する場合に意識の主觀的作用が對照に働きかけその對照を自己の中に取り入れて統一する心的作用。

【道學者】ダウカクシヤ 感情を無視して頑固な道徳を説く者に對する輕蔑の語。

【動機】モチキ Motive (英) の譯 人の行爲が外部に現はれる内部的の原因、即ち行爲を促す原因。

【動議】ドウギ 議會に於て臨機應變に議案を提出すること。

【動機論】ドウキロン Motivism (英) 倫理學上の行爲の動機に價値・善惡判斷の標準を置く説で二様の意味がある、一は動機と手段と目的の中動機さへ善ならばその他のものは不善なる結果を生じてても正善でありと説き他の一つは動機は良心の判斷に任して善であるべきは勿論手段も結果も善であらねばならぬと説いて居る。

【同業組合】ドウゲフクミナヒ 同職業者が同一職業の利益増進の爲めに團結せる團體で一村村又は一市郡を基礎として組織される。

【透視】トウシ 千里眼に同じ。

【同時解雇】ドウジカイロ Lockout (英) の譯 資本家が

自己の使用せる労働者の要求が不當と見た時その對抗策として工場を閉鎖すること。

【盜兒團】トウジダン かつげらい其他の窃盜行爲を常習として生活する不良少年・少女の仲間。

【同情】ドウジヤウ 他人の苦樂を自己の苦樂の如く考へて或は悲しみ或は喜ぶ心情。

【同情罷工】ドウジヤウ Sympathetic-strike (英) 本來は甲の事業労働者が罷工を企てた際乙の事業労働者が之に聲援を與へその目的を達せしめんとして同じく罷工をする場合をいふのである

が現今では労働爭議の犠牲となつた者に同情し當局の反省を促す爲めに敢行する罷工をいつて居る。

【トースト】Toast (英) 祝盃、正餐の後祝盃の意味で一同盃を上げること、乾杯カンパイ、又その時の挨拶、乾杯辭、パンを薄く切りそれを焼いてジャムや牛酪などをつけたもの。

【同性愛】ドウセイアイ 主として若い男女間に行はれる

る同性間の戀愛的情感。

【當選訴訟】タウセンシヨウ 當選の効力に對して異議ある時當選人を被告として提起する訴訟で衆議院議員にあつては當選人氏名告示の日から三十日以内、大審院に訴し府縣會議員ならば選舉の日から十四日以内に府縣知事に申立て府縣參事會の決定を求めその決定に不服ある時は行政裁判所に出訴する。

【銅像屋】ドウザウヤ 藝術的良心を没却し客の注文次第に銅像をつくる人に對する罵辭。

【トゥ・ダンス】Toe dance (英) ダンスの一様式で、足指先で體の平衡を取りながら舞ふもの。

【トータル・サム】Total sum (英) 總計、總しめだが。

【トーナメント】Tournament (英) 本來は古武士が二組に分れて行つた馬上擬戦であるが現今では競技試合の意味に用ゐる。

【盜難保險】トウナンホケン 盜難に對して契約の保險料

を支拂ふ保険、一八六〇年英國に創始され最近日本にも出來たが土地の状況・物品の種類によつて保険料に差があり貴金屬や證券などは率が高く警察力の薄弱な場所も亦料金の率は高い。

【同人雜誌】ドウジンザシ 同等の資格や義務を以て同一の事業に従事して居る人々の間に發行される小雜誌。

【同盟罷工】ドウメイノ Strike(英)の譯 同盟罷業ともいふ、労働者が資本家に對し勞銀の増加・從業時間の短縮その他の要求を提出しその目的遂行の爲めに同盟を結び資本家が承諾するまで勞作を拒んで休業すること。

【童謡】ドウエウ 小兒の感情・思想に適合し其の情操を自由に伸ばすやうに歌つた詩 ①小兒が小兒の心そのままを歌ひ出した可憐の詩。

【東洋モンロー主義】トウヤウモンロウシユギ 會て米國で行はれたモンロー主義が東洋に於いて行はれて居ることを言つた語で東洋は東洋のみにて治め

外國の干渉を受けず又外國にも干渉せぬといふ主義。

【童話】ドウワ 小兒の心理に適應し文學趣味に富んだお伽噺で從來の荒唐無稽な内容を有するお伽噺と區別する爲めに特に童話と稱する。

【都會文學】トウカイブンガク ①人生に於けるすべての諸相は都會生活の上に現はれて居るといふ見地から之を描寫すれば人間及び人間生活の眞相を見出し得るとの主張から作られる文學 ②單に都會を題材とした文學。

【都會病】トウカイビヤウ いら／＼した物質主義の上に築き上げられた都會に生活して居る人がいつとはなしに外界から受ける驕然雜駁な刺激をも感ぜぬやうになる無感覺的な病狀をいふ。

【トキシン】Tokin(英) 腐敗した動植物に含まれたアルカロイドで有毒物である。

【等級艦】ドクワカン ドレッドノート型を見よ。

【獨演會】ドクエンクワイ 講演者が只一人で講演する會

【督學官】トクガククワン 文部省に置かれる奏任官吏で大臣の命令により學事の視察・監督等の任にあたる。

【毒瓦斯】ドクガス 歐洲戰爭に獨逸が使用し初めた砒化素に屬する有毒な瓦斯で空氣よりも重く一度呼吸すれば直ちに絶息する。

【特權階級】トクケンカイキフ 一部小數人にて政治上特種な權利を有する人々。

【特急】トクキフ 特別急行列車の略。

【特許局】トクキョクキョク 商工省の一局で發明・實用新案・意匠登録に關することを掌る。

【獨創】ドクサウ Originality(英)の譯 模倣によらず自己自身で生み出すこと、創造の力。

【特殊鋼】トクシユカウ 合金鋼ともいふ、工業用鋼鐵で普通鋼鐵を作るには普通銑鐵センターに百分の五以上までの炭素を化合させて作るが特殊鋼は炭素の代りに特殊の珪素を含ませたもので、クロム・ステイール、ダングステン・テイル、モリブデン、ステイール等の種類がある、四十二時の砲身・車軸等に使用し又膨脹・收縮の度が少ないので測量器具・尺度計として用ひられる。

【獨唱】ドクシャウの Solo(英) 樂譜により一人で歌詞を吟唱すること。

【瀆職】トクシヨク 官公吏が收賄その他の不正行爲をして體面をけがすこと。

【讀心術】ドクシナツ Thought reading(英)の譯 千里眼によつて人の意中を知る術。

【獨奏】ドクソウ 樂器の種類に拘らず一人で演奏すること。

【獨奏會】ドクソウクワイ 獨りで行ふ演奏會。

【ドクター】 Doctor (英) ドイツ語ではドクトルと讀む醫者、博士、又學者。
 【獨斷】 Doktrin 是非を検すべき或る標準を持たぬ斷案、自分一個の斷定。
 【ドクトリン】 Doctrine (英) 近頃の新聞・雜誌等に現はれる語で教義・教理・教旨・主義などの意。
 【ドクトル】 Doctor (獨) 英のドクターに同じ、醫者、博士、醫學博士。
 【ドクトレス】 Doctors (英) 女醫者、女醫。
 【特別會計】 Tokubetsuwaikai 國家の財政精算中別に特別の帳簿を備へるの意で或る必要上一定の會計以外に特に一部の爲に設けられる會計をいふ
 【特種會社】 Tokushuwaisha 普通の會社と異り會社組織ではあるが政府の特別保護監督を受け且つ特權を附與した銀行會社のことで日本銀行・南滿洲鐵道株式會社の類をいふ。
 【特別興行】 Tokubetsuwakogyaku 活動寫眞でそのフィルム製作の爲めに長日月の時間と多額の費用とを要

した場合之れを公開映寫する場合に特に觀覽料金の引上げをなす興行で最近では「超特別」といふ言葉を使つてその意味を強めることもある。
 【特別室】 Tokubetsushitsu 繪畫彫刻展覽會に於て一般觀客に見せては何の理解も持たれず又何の感化も與へないで單に風俗を素すに止まるが如き裸體畫などを入れてその會に關係ある人又は理解ありと認める人に限り入場せしめる部屋。
 【特別税】 Tokubetsusei 市町村が自治の爲めにその財政的權限内で特別に賦課徴收する税金。
 【特別普及興行】 Tokubetsu fukai kyokogyaku 松井須磨子が一流の舞臺から下りて淺草に現はれた時用ゐた彼の女の標語でたとへ淺草だからと云つて低級なもの演ずるのではなく高尚な劇を廣く普及させる目的で特別に興行するのだといふ意。
 【特別任用】 Tokubetsu ninnyoku 内閣書記官長・貴衆兩院書記官長・大臣秘書記官等の如く官吏任用令の原則によらずして官吏を自由に任命すること。

【ドグマ】 Dogma (英) 獨斷と譯する。
 【ドグマティスト】 Dogmatist (英) 一人よがり、獨斷家。
 【土地錯誤】 Tochakugo 甲國に適する或る種の政策又は法案を之等のものゝ適せざる乙國にそのまゝ用ゐんとする錯誤。
 【土着候補】 Dochakokoubo 輸入候補の對、衆議院議員の選舉に際しその地の出身者にして郷里から立候補するものをいふ。
 【ドック】 Dock (英) ①船舶修理建造場、船渠 ②波止場、又被告席。
 【ドット・ライン】 Dotted line (英) 點線のこと。
 【突破】 Tooppa 突き進んで破る意、近來ジャーナリストなどが標題又はその他のことに屢々用ゐる。
 【凸版】 Toupan 亞鉛凸版を見よ。
 【突風】 Toppu ①突如として急激に横合から吹き起る風といふ意 ②ひぢ鐵砲の意味にも用ゐる。
 【トレンジヤン】 (俗語) 東京人のよく使用する「とて

も」といふ語に獨逸語の美しい (Barron) を合した語で非常な美人の意であるが實際では裝飾を施した婦人を嘲笑的にいふ。
 【殿様内閣】 Tonanainokaku 大正十二年の清浦内閣の名、閣員の殆ど全部が衆議院に基礎を置かぬ貴族院の人達であつた所から出た語で特權内閣・貴族院内閣・殿様内閣と攻撃的に呼ばれた。
 【トピック】 Topic (英) ①話題、話柄、話の種類 ②論題、題目。
 【扉】 Toira 書籍・雜誌などの巻頭の目次の前頁、即ち表紙を開けた第一又は第一・第二の頁。
 【扉繪】 Toirah 書籍の扉に描かれた畫。
 【ドーター】 Tochter (獨) 娘のこと、英語の Daughter と同意。
 【土間】 Do 演劇用語で舞臺に面した下の通りの中央廣座、洋式の劇場ではオーケストラ・ホール の場所。
 【ドライ】 Dry (英) 正しくはデッライと發音する

①乾かす、干すなどの意。形容詞としては乾燥無味の、没趣味の、冷淡ななどの意。禁酒した、禁酒に賛成する等の意味もある。

【トライアングル】Triangle (英) ①三角形。②管絃に用ゐる三角形鋼鐵製の樂器。

【ドライ・グッズ】Dry-goods (英) 呉服・反物・雜貨類、即ち織物・呉服・毛布・肩掛・股引・糸などのこと。

【ドライブ】Drive (英) 遠乗り、自動車で郊外などを乗りまはすこと。

【トライプレーン】Triplane (英) 正しくはテウライプレーンと發音する、三葉飛行機。

【トラクター】Tractor (英) 正しくはテウラクターと發音する。①飛行機の索引器。②プロペラーが主翼の前に附いてゐる飛行機。③貨物運搬自動車。トラック。

【虎御前】トラコゼン 虎の門女學館の姫君といふ意で同校の生徒をしゃれて言ふ語、慶應の學生間等

によく用ひられる。【トラジコメディー】Tragi-comedy (英) 悲喜劇と譯する。

【トラスト】Trust (英) 正しくはテウラストと發音する、獨立した二個以上の同業者がその企業全部又は一部につき結託し管理人を置いてこれに全權を委ね營業すること、企業家同盟、カルテールと異なる所は後者が單に企業家の聯合で一時的の存立であるのに反し前者は永久的の存続性を有してゐる點にある。

【トラジディー】Tragedy (英) 正しくはテウラヂディーと發音する、悲劇、災難、凶變、悲慘事。

【トラック】Track (英) 正しくはテウラックと發音する。①路・道、轉じて線路・航路・軌道。②足跡・痕跡、また踏み慣らした道・坦路・人生の行路、又競走路・長距離競走に使用する圓形競走路。

【ドラッグ】Drugs (英) 正しくはデウラッグと發音する、藥品・藥劑・癡醉藥、ドラッグヤスト (Druggists)

【トラップ】Trap (英) 陷阱、わな、おとし穴、轉じて奸計。

【虎の子】トラコ 虎は他動物に比して特に子を大切にするとするから秘藏する物、大切なものゝ代名詞として用ゐる。

【虎の門式】トラコモンシキ 東京虎の門女學館式といふ意、名流の息女が集る學校だけに男子の慶應と對比され通學にも化粧を施し頗る麗な處があり服装などもいくら學校でやかましく云つても改めず皆銘仙マイセン以上の著物を纏ひ中には指環をはめて行くものもある。

【トラピスト修道院】トラピスト修道院 (英) 正しくはテウツ(ラピスツ)、基督教の一派でトラピスト派の人々の修業する處、日本では北海道當別から十丁津輕灣を望む處にあり數十名の禁欲求道者が日々無言・禁欲・修養に一身をさしつけて

純聖な生活をして居る。

【トラウエリク・ライブラリー】Travelling library (英) 巡回圖書館、巡回文庫。

【ドラマ】Drama (英) 芝居、演劇、脚本、又演劇的事件。

【ドラマチスト】Dramatist (英) 脚本作者、劇曲作者、劇詩人。

【ドラマチック】Dramatic (英) 劇的であるといふ意。

【ドラム】Drum (英) 太鼓と譯する。

【トランク】Trunk (英) ①旅行鞆。②木の幹、身體の胴、轉じて本線、幹線、本道、又象の鼻の意味もある。

【トランシップ】Tranship (英) 船荷積替のこと。

【トランスミッション】Transmission (英) 傳送、譲りわたす、取次、移傳。

【トランプ】Trump (英) 西洋カルタ五十二枚の札を以て行ふ室内卓上遊戯の稱。

【トランペット】Trumpet (英) 喇叭のこと。
 【トリオ】Trio (英) 音楽にて三重奏・三都合奏曲のことをいふ。
 【ドリマー】Doremer (英) 夢想家、夢見る人。
 【トリック】Trick (英) 正しくはテウリックと發音する。早業、策略、奸計、悪戯。活動寫眞劇を撮影する時模型を焼いて大火に見せたりポンプで飛ばした水を雨に見せたりするもの。
 【ドリンク・マナー】drink (英) 酒代、飲食代。
 【トルス】Tors (佛) 英語のトルソーに同じ。
 【トルソー】Tors (伊) 彫刻用語、手足や頭の無い像、又像の胴。
 【非の外交】ドルンダライカウ 財力帝國主義ともいふ、強國が弱國に金圓・利便・表面的の好感などを與へて置いて後で領土侵略・統治權侵害などの舉に出でる外交。
 【トレーシング・ペーパー】Tracingpaper (英) 謄寫紙複寫紙。

【トレード・マーク】Trade-mark (英) 商標、商號
 【トレード・ユニオン】Trade-union (英) 労働組合と譯する。
 【トレーニング】Training (英) 陶冶、訓練。
 【ドレッドノート型】 Dreadnought (英) ドレップ
 ドノートは「何等恐るべきものなし」の意、一九〇六年英國の海軍で建造した戦闘艦様式で排水一萬二千九百噸以上・速力二十一ノット・十二吋砲十門以上を備へ「タービン」式機關を採用した最初の軍艦、現今では排水一萬八千噸から二萬噸であつて十吋乃至十二吋の裝鋼、二萬三千馬力乃至二萬四千五百馬力の機關を備へ最大速力二十一ノット・十二吋十門・水雷發射管五門を以て武裝して居る。
 【トレモロ】Tremolo (伊) 音楽用語、音聲に一種の情味を現はすために震動せしめた顫音のこと。
 【ドローウング】Drawing (英) 製圖すること、圖

を描くこと。

【トロール船】 Troller (英) ツローラーの轉訛、魚獲専用の發動機船で十日間位の航海に耐へ船全體が魚の貯藏庫となつてゐる。
 【ドrown・ゲーム】Drown game (英) 遊技語、甲乙兩組が互に五回乃至五回以上の攻撃を完了したところで降雨・火災などのために審判官が試合の終了を宣言した時兩組の攻撃回数が同じくその當時の得點の相等しい場合を云ふ。
 【ドrown・ワーク】Drown Work (英) 絹布地又は麻布地などに施す糸抜細工または經木細工。
 【泥繪具】ドロエング 圖案・背景などに使用する不透明で落着のよい繪畫の一、膠を混ぜて用ゐる。
 【トラック】Truck 英語のツラック (Truck) 又はツロリー (trolley) の訛、無蓋貨車ゴイクワシヤ 又は手押し車。
 【ドロップ】rip (英) ①したより、零落下、降下。②野球にては投手の投球が打手の近くで急に

降下すること。

【ドロップ・ライン】Drop-line (英) 新聞・雜誌等の記事で二行乃至四行から成り立つ標題。
 【トロフィー】Trophy (英) 戦利品、戦勝記念品。
 【トワイライト】Twilight (英) 正しくはテウワイライトと發音する、たそがれ、薄暮、夕暮の微光、薄あかり、曙。
 【トンカツ】(俗語) 豚肉を用ひたカツレットト 下等洋食の代名詞。
 【鈍行】ドレカウ 急行の對、どんな小驛でも一々停車しながらのろ／＼と行く列車の意。
 【どん底】ツコ 沈淪した終局、社會の裏面の裏面底の底をいふ。
 【遁逃的】トシタワキ 進んで積極的の行爲をなさず身を退いて自分だけに満足して居る態度。
 【ナーヴラス】Nervous (英) 神經過敏な、神經質

の、神經衰弱の等の意。
 【ナース】Nurse (英) 保姆、乳母、看護婦、看護人。
 【ナイーブ】Naive (英) 天真な、素朴な、自然のままの等の意。
 【内観】^{ナイヴァン} Introspection (英) の譯 内省とも譯する、自己の心意状態又は心意作用を自から深く省ること。
 【内債】^{ナイチャイ} 外債の對、國內の金融市場で募集した公債のこと。
 【ナイス】Nice (英) 美しい、うまい、上手な等の意
 【内的】^{ナイチキ} Inner (英) の譯 内部的・内面的ともいふ、精神的・主觀的の意。
 【内的生活】^{ナイチキセイトラツ} 物質的・肉體的の生活と區別された精神的の生活をいふ。
 【ナイト】Knight (英) ①英國でナイトの爵位を有する人 ②歐洲の中古封建時代の武士、騎士。
 【ナイヒリズム】Nihilism (英) 虛無主義に同じ。
 【ナイトガウン】Night-gown (英) 寝巻のこと。

【ナイーブ】Naive (英) 素朴な、天真な、無邪氣な等の意。
 【ないむしよう】(俗語) 持合せ錢のない時に「生憎ふところがないむしようだ」などいふ。
 【内面描寫】^{ナインベウシヤ} すべて of 行動・言語の表面だけを描寫せず心理を主として其の變化を描くこと。
 【内容】^{ナイコウ} 形式の對、或る事物に包まれてゐる内部の實質、思想を表現するに當つては文章は形式で之によつて表現される思想は内容である
 【ナイン】Nine (英) ①九、九人、野球のチームが九人の競技員から組織されてゐるところから之をナインといふ ②DIXIE といふトリックがあるがこれはマツチの軸木チッキをNINEの形に並べると十一本でナインの字になるといふ洒落
 【投げキッス】ナ 訣別の時唇に手を當てキッスを投げる形をすることでオペラ女優などが舞臺から客に應用する風習がある。

【ナショナリズム】Nationalism (英) 國家主義に同じ。
 【ナシ・ナリデー】Nationality (英) 國民性に同じ。
 【ナショナル・ゲーム】National-game (英) 我が國の角力、米國の野球の如く一國特有の遊戲。
 【ナショナル・エコノミー】National-Economy (英) 國民經濟に同じ。
 【ナチュラル・サイエンス】Natural-science (英) 自然科学と譯する。
 【ナチュラリズム】Naturalism (英) 自然主義に同じ。
 【ナッシュンク】Nothing (英) イブセンの戯曲「ブランド」に全體か皆無か、いちかばちか (All or Nothing) といふ科白キツがある、皆無の意。
 【七ッ屋】俗語、質を七に通じていふ語、一六銀行、セブン屋、質屋。
 【ナフキン】Napkin (英) 洋食に用ひる口拭ひ布

【ナフタリン】Naphthalin (獨) 防腐劑・除蟲劑の一、刺激の強い白色の藥品で値段が安いから樟腦代りに用ゐられる。
 【浪子病】^{ナヒコキヤウ} 徳富蘆花の名作「不如歸」の主人公浪子が肺病であつたことに因み女學生間で肺病のことをしやれていふ語。
 【成金】^{ナリケン} 將棊の歩が敵地の第三列内に飛び込んだ時金と同じ格になることに因み價値のないものが一躍にして資格の高いものになると、俄大盡・俄金持・一夜大盡。
 【成貧】^{ナリン} 成金の對、物價騰貴の影響を受けて一定の収入では次第に生活が困難になる中産階級の人々。
 【ナロー・ゲージ】Narrow-gauge (英) 鐵道軌道の幅の狭いもの、狹軌鐵道。
 【ナロー・センス】Narrow-sense (英) ワイド・センス(廣義)の對、即ち狹義。
 【軟化】^{ナシヤク} 硬化の對 強固に維持して居た意

志や主義がだん／＼と妥協的に傾くこと ② 堅實な方面から次第に淫蕩的になること。

【軟化栽培】ナシクワライバイ 穴窖・暗室等の如く光線を遮る装置をしたところでうど・アスパラガス・三ツ葉・防風などを軟化栽培せしめて早く發芽生長せしめること。

【ナンバー】Number(英) 數、數字、又番號。

【軟派記者】ナシバキシヤ 硬派記者の對、社會部俗に三面記事を受持つ新聞・雜誌記者を數年前まで軟派記者と呼んでゐた。

【何番學校】ナシバンガクカウ 電話交換局の代名詞、若い婦人交換手が一種の見えを張つて出勤する際努めて女學生風を装ふところからそれを冷笑する意味でつけた名稱。

【軟文學】ナシブンガク 輕文學に同じ。

【何萬屋】ナシマンヤ 大きな事を言ひ歩く山師のこと、千三つ屋ともいふ。

【南洋嵐】ナシヤウチヤウ 歐洲大戰の結果我國の委任統

治となつた舊獨逸領南洋諸島を管轄する役所で大正十三年に開館された。

【二科會】ニクワクワイ 文部省主催の帝國美術展覽會を一科としこれに反對して起つた新しい傾向の洋畫展覽會をいふ。

【肉】ニク 新らしい言葉としては色情・交情又は貞操の意に用ゐる。

【ニキビ黨】タウ 性慾發動期に達した若き男女を指していふ。

【肉感的】ニクカンテキ 性慾の實感や肉の實感と云ふやうな意。

【肉體ダンス】ニクタイ (俗語) 歌劇のことをいふ。

【肉體美】ニクタイビ 直線美は男の荒削りな肉線をいひ曲線美は女の肉線を意味し特に腰部や肩のあたりをいふのであるが肉體美は其の兩者を意味し男としては隆々たる筋肉の表れる力、女とし

てはふくよかな調和のとれた肉體の全體をいふ
【肉弾】ニクダン 鐵の彈丸を以て敵を刺すのでなく突貫や肉迫によつて攻撃する時自分の肉體を直に彈丸のやうにするとところから軍人のことを肉弾といふ。

【肉的】ニクテキ 肉體的、又肉慾的、肉感的等の意。

【肉派小説】ニクハセウゼツ Fleshly school(英) の譯 男女關係のうち特に色慾道を主材とする小説家の一種。

【二元的】ニゲニテキ 事物の變化する根元を一つのものとする見方を一元的と云ひ、二つのものとして見る見方を二元的と云ふ。

【二元論】ニゲニオン Dualism(英) の譯 プラトーンが世界をイデアと物質との二元によつて説明した如く又デカルトが宇宙の本體を精神と物質との二元に分つた如く性質の異つた二つのものを對立せしめる哲學上の考へ方。

【ニコ中】ニコウ 俗語、英語ではニコティニズム(Nicotine)

tinism)といふ、ニコチン中毒を略していふ語。

【ニコチン】Nicotine(英) 煙草の葉に含有する一種の毒素で水に溶解する、煙草にはニコチンの外にビリハナンと稱する毒素を含んで居る、ビリハナンは水其他の液には溶解せぬがアルコールに溶解するから酒を飲む時煙草を吸ふとビリハナンの毒素をも同時に吸飲するようになる。

【にこばん式】ニコボンシキ にこ／＼顔で接近して相手の背をボンと叩き「ねえ君」と來る遣り方、八方美人的。

【二次會】ニジクワイ 集會者全部が陽氣に會合を終るのが一次會、その後で特に同志の者が相集つて室を替へ又は全然場所を更へて行ふ會合が二次會である、隨つて二次會の終つた後で更に同志の者が場所を替へて飲むのを三次會といふ。

【二重意識】ニチュウイシキ 甲乙二人の云ふことを同時に聞き分けたり或は人と會話しながら原稿を書く等の如く意識が同時に二様に働くこと。

【二重外交】ニヂユウグワイカウ 日本に特在する外務省の外交と參謀本部の外交の如く外交の中心が二つあるものをいふ

【二重人格】ニヂユウジンカク 一人の人間でありながら全然相異つた二人のやうな性格を併有してゐること、例へば慈善家顔をする人間が家庭で吝嗇であるとか、近代人が第一義的の生活を欲求しながら生活上環境と調和せざるを得ないやうな類、即ち表裏二様の人格の意。

【二重生活】ニヂユウセイカツ 心には隠者の生活を欲求しながらパンのためにジヤナリストとなるが如く理想の生活は到底實現しがたいものとして現実的な妥當な生活を以て生きること、日本人の生活の如く衣食住の上に和洋混合の様式をとるものにもいふ。

【二重砲彈】ニヂユウハウダン 一つの砲彈の中に更らに小さい砲彈を仕込み一定の距離で外側が破裂すると同時に中の小砲彈が空を飛んで倍距離に達

するといふ仕組の砲彈。

【二重燒】ニヂユウヤキ 寫眞で雲と景色・人物を一處に撮る時などに長くレンズを開けておいては他の部分が黒くなつて拙いものになるから雲は雲、人物・點景は人物・點景と別々に寫しその二枚の種板を重ねて置いて仕上げ板に熱きつける方法、現今では活動寫眞の寫映にも應用される。

【二段抜き】ニダンヌキ 新聞で大事件や緊急事件を報道する時一段から二段へかけて長い標題を入れること、三段抜き、四段抜きなどいふのもある。

【日活】ニフクワフ 日本活動寫眞株式會社の略。

【日蓮主義】ニチレンシユギ 日蓮大師の教義の如く征服的色彩を帯びたやり方をいふ。

【ニック・ネーム】Nickname (英) あだ名、綽名。

【日光節約】ニフクワツケツク Daylight-saving (英)の譯 時間を十分に利用する上の節約運動で晝間の長い時でも六時といへば夕刻の感じがするから時計を一時間丈進めておいてまだ五時頃の感

念を以て更に日光のある間活動時間にする。

【日光浴】ニフクワウヨク 日光を身體に直射せしめて健康増進の一助とすることで肺疾患者などは特に奨励せられる。

【ニットイング】Knitting (英) 編物アミの總稱。

【二等國】ニトウカ 一等國に亞ぐ國家の意で遣外使臣は一等國の如く大使でなくして公使又は辨理公使を以てする。

【ニトロ・セリロース】Nitro-cellulose (佛) 人造絹絲と譯する。

【二人會】ニニタワイ 二人で開く演奏會や講談會の類をいふ。

【ニヒリズム】Nihilisme (佛) 虛無主義に同じ。

【二部教授】ニフクワウジュ 午前と午後、または午前と夜間の二回に校舎を利用して行ふ教授で就學兒童が多く教室数の少い學校をもつて居る町村等で實施されて居る。

【二部妾】ニフクワケツ 二部教授から來た語で多くの且

那を有し朝夕異つた且那を送り迎へる妾のと。

【日本アルプス】歐洲アルプスに因み明治廿七年地學協會のウォルター・ウェストン(Walter Wood)が名づけたもので駿河・甲斐・遠江・美濃・信濃・飛騨・越中・越後に渡る連山高峯をいふ。

【日本館】ニホンカン 淺草日本館の歌劇はよく跳ねる處からお轉婆娘の代名詞として用ゐる俗語。

【日本ライン】ドイツのライン川に因み木曾川の下流犬山城の附近をいふ。

【二枚目】ニマイ 日本舊派の芝居で男役をつとめる俳優をいふ、轉じて女にすかれる様な男のことをいふ。

【ニュー】New (英) あら、新しい、又不熟、慣れぬ、近頃等の意。

【ニュース】News (英) 消息、報道、新事件、人間生活に影響・交渉を有するもの、及び之を記載した新聞紙、多數人を對照して適切に敏速に興味を興へ得る總てのもの。

【ニュース・センス】News-sense (英) 新聞眼と譯する。

【ニュース・ヴァリュー】News value (英) 市井の出来事・社会一般の現象の中新聞材料になり得る価値のものをいふ。

【ニュース・ペーパー】News-paper (英) 新聞紙。

【ニュース・セイバー・リーダー】News paper reader (英) 他の新聞から材料を切りとつて書き直す爲めに置かれる係り、新聞切抜掛。

【ニュース・ルーム】News-room (英) 新聞・雑誌閱覽室、又新聞賣捌所。

【入典】ニフツレ 質物を置くことを上品にいつた語である。

【ニュー・ファッション】New-fashion (英) 新式、新流行。

【ニュートラル】Neutral (英) 中立の、局外中立の

【ニーム】アルミニームの略。

【ニュー・ライフ】New life (英) 前と異つた生活

に入ること、新生活。

【にらみがきく】俗語、人におしかゝる威勢のあること、押しがきく。

【人形の家】ニシヤウノイヘ イプセンの戯曲の題名で主人公の名をノラといふ、女子が男子に對する奴隸的地位を脱して完全な女子となる前にまづ人間として社会の一人として生きねばならぬとの自覺を主材としてゐる。

【人形病院】ニシヤウヒヤウセン 各種玩具の破損した物の修繕を引受ける所を現代式の語でいつたもの

【人間性】ニシゲシセイ 人間の有する本來の性質で比較によつて善にも見え或は又惡にも見える、例へば社会生活の影響を受けて我利我慾に満ちてゐる如く思はれる労働者等について言へばその内部に宿してゐる人間の本心は生活や行爲に比較して善に見えるし之に反し善を誇張して神の如く装ふて居る人々について見る時はその本心の人間性は惡に見える。

【人間味】ニシゲシシ 人間性の根本に觸れた味ひ、人間として本來の性質の發露をいふ。

【認識】ニシヤク Cognition (英) の譯 事物を認知する心の作用で單に知識又は知といふ場合もある、心理學でいふ認識は感覺・知覺・記憶・推理・統覺・想像等、精神現象の知的方面の全部を意味するのである。

【認識論】ニシヤクハ Epistemology (英) の譯 萬學の基礎となるべきもので人間の智識の本質・對照の問題・智識の限界の範圍などを哲學の立場から徹底的に研究する學問。

【ニンフ】Nymph (英) 希臘神話中にある女神で山林・水澤中に住んで居るといふ神。

又

【ヌーボー式】ヌヤ Nouveau (佛) ①同じ太さの線を用ゐて畫かれた圖案②捕へどころのぬいりなき式處世術を弄する人の稱。

【ヌーボーリッシュ】Nouveauriches (佛) 成金、一夜大盡、俄分限者。

【抜作】ヌケタク 阿呆、馬鹿者、うつけもの。

【抜けてる】ヌケタル ノー・ヘッドに相當する、思慮・分別の足らぬこと、馬鹿、阿呆、馬鹿もの、うつけもの。

【濡れ事】ヌレゴト 芝居で男女の情事を見せる科シダチ 濡れ場はその場面、濡れ事師は濡れ事に巧みな役者、轉じて色情の旺盛な出齒龜式の者をいふ。

ネ

【ネーチュア】Nature (英) ①天然、自然、萬有②天理、天性、又種類。

【ネーヴァリスム】Navalism (英) 海國主義、海洋優大主義。

【ネーム】Name (英) 名前、姓名、また名聲。

【ネーム・プレート】Name-plate (英) 標札、名ぶだ、特に會社・銀行あたりのに使用されてゐる眞

鏡看板をいふ。

【ネイバー】Neighbour (英) 近い人、隣人。

【ネオ】Neo (英) ①新、最新 ②再製、精製。

【ネオ・ネオ・アーザミン】Neo-Neo-Arsamin (獨)

アミセンを精製したもので水に溶解し易く弱

アルカリ性を呈し副作用が少く梅毒治療用静脈

注射液として用ゐられる。

【ネオ・マルサシアニズム】Neo maltingianism

(英) 新マルサス主義に同じ。

【ネオロジスト】Neologist (英) 新説、新語、又

新語唱道者、新語使用者、新語輸入者。

【ネオ・ロマンティシズム】Neo-romanticism (英)

新浪漫派と譯する、自然主義が教へる人生觀・科

學の説明する世界觀以上になほ深く進んだとこ

ろに未相の世界・神祕境を求めんとする一派。

【ネガティヴ】Negative (英) ①否定、不賛成、消

極的 ②寫真原版、陰畫。

【ネキスト會】Nexi 二次會に同じ。

【ネクタイ】Necktie (英) 洋服の襟飾り。

【ねこ】 藝者の生命である三味線多かく猫の皮で

作るところから藝者のことをいふが最近は「寝

妓」と當字で書く。

【ネセシテ、ー】Necessity (英) ①必要、必要物 ②

運命、窮乏。

【ネスト】Nest (英) 巢、小ぢんまりした住家、

巢窟。

【熱想】Nervo Passionate thought (英) の譯 理智

の上に更に力強いパッションの加はつた思想。

【ネット】Net (英) 網、狭義にはテニス用の網。

【ネット・ウオーク】Net-work (英) 網細工をいふ。

【ネット・プライス】Net-price (英) 單にネットと

もいふ、正味の値段、正價。

【年金】Nessan 或る期間の勤続又は功勞によつて

一年にいくらといふ一定金額を與へられると。

【念寫】Nessha Photographing-invisible (英) の譯

精神を集中して無念無想となり心が眞如の月の

如く照りかゞやく刹那に見開した事物を何等の

機械的装置を施さずして暗箱中に密封された寫

眞乾板に映出すること。

【ノー】No (英) 否定語で不賛成、拒否、少しも

ない等の意を現はす。

【農業保險】Nothoffokhen 農業上特別の危害に關する

保險で家畜保險などがその類である。

【ノーズ・フ、ア・ニース】Nose for news (英) 人

の氣付かぬ處に鼻を向けてニュースを集めるこ

と、ニュースを嗅ぎ出す鼻。

【ノーティス】Notice (英) ①通知、公告、報告書

②注意、また短評。

【ノート】Note (英) ①筆記帳、雜記帳 ②音楽で

は音符の事のこと。

【能動的】Nothoffokhen Active (英) の譯 自ら進んで働

きかけること、即ち他に支配されて動かされる

のではなく進んで他を支配し之を動かすこと。

【ノーブル】Noble (英) ①高尚な、貴い、立派な

②貴族、華族。

【ノー・ヘッド】No head (英) 頭がない、即ち無能

の意味、薄のろ、馬鹿。

【ノーマル】Normal (英) 常規にはまつた規則的

な常態をいふ。

【能率】Nothoff Efficiency (英) の譯 一定の時間内

に仕事の結果を能ふかぎり有効に發揮する割合

をいふ。

【能率心理】Nothoff Psychology 能率を増進する内部的條件

としては仕事をする人の精神状態を研究すると

【能力】Nothoff 人間が持つて居る心身上の働き。

【ノクターン】Nocturne (佛) ①夜景畫、夜の風

景畫 ②夜間の禮拜 ③夜曲、悲歌の曲。

【ノクチュルヌ】Nocturne (伊) 音楽用語で夜曲と

譯する。

【ノック】Knock (英) ①戸を叩く、戸を叩いて案

内を求める。②野球ではシート・ノックをいふ。

【のど】①新聞の二つに折つた折目になつてゐる細い欄で以前は天気豫報その他の小件を掲げたが現今の大新聞は本欄の行数を増加した結果として之を縮少し記事を入れることを省くやうになつた。②俗語・義太夫などの語り方。

【ノーヴェル】Novel (英) 小説、ドイツでは短篇の意味に用ひられてゐる。

【野武士組】ノブシグミ 労働組合の圏外に立つて労働運動に活動する人達をいふ。

【ノベル賞金】Nobel prize (英) スウェーデンの發明家で且つ慈善家であるアルフレッド・ノーバード・ノベルが火薬の改良・特殊爆薬物の發見・人造ゴムの製造の爲めに巨萬の富を積むに至つたがその死後残された遺産千五百萬磅を生前の遺言により全世界の學術獎勵金に充てられることとなり毎年その利子を以て物理・化學・生物學・醫學に關する重要な發明・發見、又は文學上

の世界的著作等世界・人類の平和に貢獻する處の多い事業をした者に表彰金として與へる事となつた、之をノベル賞金といひ最初の受領者はエッキス光線の發明家ポエントセンであつた。

【乗合自動車】ノリアビッドウシヤ タクシーを見よ。

【乗越し】ノリコシ 慶大邊から出た語で電車で美人と乗合はした爲に停留場を通り過したといふ意【乗込む】ノリコム 團體を率ゐて主腦者・親方等が華しく或る土地へ乗込むこと、「東京大相撲一行の乗込み」などいふ。

【のよだわ言葉】ノヨダワコトバ てよだわ言葉と同意。

【ノルム】Norm (英) 規範と譯する。

【ノンセンス】Nonsense (英) たはごと、無意味、馬鹿氣たこと。

【ナンバー】印刷屋・書籍商などがよく言ふ語でページ附のと、本來はナンバー (Number) のイジ附ばかりでなく見出しの小活字をもいふ。

【ノン・ペイメント】Non-payment (英) 支拂拒絕

○ムム。

ハ (バ・バ)

【バー】Bar (英) 酒場、居酒屋、酒場の臺、酒保。

【バーゲン】Bargain (英) 約定、取引、また見切物

【バーゲンデー】Bargain day (英) バーゲンは買物契約、見切物などの意、バーゲンデーは大安賣日、廉賣日。

【バーザイ・ヴュー】Birdseye view (英) 鳥瞰圖と譯する、其項を見よ。

【ヴァージニティー】Virginity (英) 處女又は處女心物事にあこがれ初々しいといふのをヴァージニティーの特色とする。

【パージュナル・ペイメント】Partial-payment (英) 内拂、一時拂。

【ヴァージン】Virgin (英) 未通女、處女。

【バージン・ソイル】Virgin soil (英) 處女地と譯する、その項を見よ。

ハ (バ・ウ)

【バース・コントロール】Birth-control (英) 産兒制限と譯する、その項を見よ。

【バード・マン】Bird-man (英) 鳥人と譯する。

【パーセンテージ】Percentage (英) 百分比例、百分率、また單に歩合、割合。

【パーセント】Per centum (英) の略 ①百毎に、百につき等の意味②また、パーセンテージのこと。

【バース・デー】Birth day (英) 誕生日のこと。

【パーソナリティー】Personality (英) 人格、性格、個性。

【パーソンニフ・ケーション】Personification (英) 擬人法、キケン、また人格化。

【バーチュ】Virtue (英) 徳、貞操、また效能。

【パーティー】Party (英) ①連中、黨人②當事者、關係人。

【ハート】Heart (英) ①心、心臓、心臟型②愛情、眞意、勇氣③トランプにて赤いハート型の模様ある札。

【バート】Part (英) 地方、部分、職分。
【バードル・レース】Hurdle-race (英) 障害物競走。

【ハーン】Harp (英) 西洋楽器の一、豎琴。タクトのこと。

【ハーフ・トーン】Half-tone (英) 最濃色と最淡色との中間の色調、寫眞の半調部。

【パーミテーション】Permutation (英) ①交換、交互配列 ②順列、錯列。

【バーミリオン】Vermilion (英) 朱、あかいろ。
【ハーモニー】Harmony (英) ①調和、協和 ②和音、和聲樂。

【パラー】Parlour (英) 居間、米國では客間。
【パール】Pearl (英) 眞珠。

【ハイアシンス】Hyacinth (英) 西洋花の一で風信子と書く、水仙に類し可憐な白色又は乳色の花を開く。

【バイオグラファー】Biography (英) 傳記、言行錄

【バイオリン】Violin (英) 正しくはヴァイオリンと読み佛蘭西よみではヴィオロンといふ。

【バイオレット】Violet (英) すみれ、堇色。

【俳畫】Haigwa 俳味のある畫のことで多く俳句などにあしらつて描く。

【背景】バックグラウンド (英) の譯 舞臺用語では奥に見せる書割カキワリの裝置や景色、繪畫ではその繪の中心の後ろに描く景色のこと、轉じて後援者・後立の意味。

【賣國奴】バイコウ 自己の利益の爲めに自國の秘密を外國に通じて金に代へる者。

【バイククル】Bicycle (英) サイクル (Cycle) ともいふ、自轉車のこと。

【廢娼運動】ハインシャウランドウ 遊廓の存在は人道に許すべからざるものであるから娼妓を解放し正業に就かしめよと叫んでそれを實現せんとする運動

【媒約學校】バイシャクガクカウ 跡見女學校の運動會に嫁さがしの連中が物色に来る風がある爲め學校當

局がその仲介をする風評を立てられた所から起つた語。

【媒約俱樂部】バイシャククラブ 東京府立第一女學校あたりで主唱し計畫したものであらゆる階級の人を會員として入會せしめ舊來のまやかしの見合結婚を廢しざつくらんに男女兩者の素性をさらげ出して後から苦情も出ず圓滿な家庭が作れるやうに媒約をしやうとする趣旨を基調として居る。

【陪審制度】バイシンセイド 一定の犯罪につき之が認定に關して民間から選出した陪審員に評議せしめそれを基本として裁判官が判決を與へる制度で日本では昭和三年十月から實施された。

【陪審員】バイシンギン 陪審制度によつて一般人民の中から選出せられ裁判に干與する人をいふ。

【ハイスベリ】俗語、つる／＼の完全な禿頭をしやれていつた語。

【敗退基】ハイトイゴ 名士の基戦に於て敗者のみが退

いて新手が勝手にかゝつてゆくこと。

【配當病者】ハイトウビヤウシヤ 財界好況の際五割配當確實とか第一期より十割配當とか目を廻す様な株式配當率を特記して世人を迷はし偽蘭的な企業をなす者の稱。

【ハイドロ・ホロプレーン】Hydro-aeroplane

【英】ハイドロ・プレーンに同じ。

【ハイドロプレーン】Hydroplane (英) 水上飛行機。

【パインラス・ストロバス】Pinus strobus (英) 千四尺の高寒の地に生育し丈は三尺幹の直徑一間に及ぶといふ成長旺盛な高山木で枝を水平に張りピラミット形に生長する。

【パイプ】Pipe (英) 管、導管、煙管、又笛の意味もある。

【バイブル】Holy Bible の略 耶蘇教の聖典で舊約と新約とあり舊約は耶蘇以前のユデア教典新約は耶蘇が神に約束した意味を持つて居る。

【バイプレーン】Biplane (英) 二層式飛行機、複葉飛行機。

【俳文】ハイテン 俳人の書く俳味に富んだ文章。

【賣文業】バイウツケツ 文章の代作・訂正などをして生活する職業。

【ハイマート・クンスト】Heimat Kunst (獨) 郷土藝術と譯する。

【俳味】ハイミ 俳句獨得の色彩・調子・情調・感じ、俳趣ともいふ。

【賣藥的】バイヤクテキ 賣藥が名ばかりで効力のないことに因み形式的なことをいふ、又名のみで實の伴はぬ意。

【ハイヤー】Higher 女學生のことを中學生間ではいふ語。

【ハイ・レリーフ】High relief (英) 浮彫刻の内一番肉の厚いもの、高浮彫タカウキボリ。

【パイロット】Pilot (英) 水先案内人。

【ハウス・オーガン】House organ (英) 機關紙・機關雜誌、商店・會社の機關刊行物のこと。

【ハウス・キーパー】House keeper (英) 家政婦、派出婦。

【パウリスタ】Paulista (葡) 南米にある珈琲の産地名であるが昔同國の航海者が南米の或る港に往來して居た時分その船員の一人が土地の酋長の娘と結婚して一男を挙げパウリスタと命名したところ成長するに及んで強力人に秀で忽ちその附近を統轄するに至つたといふ傳説がある、日本ではカフェーにこの名をつけたものが少ない。

【バウンド】Bound (英) 制限、境界、又球が地上で飛び跳ねること。

【羽織エロ】ハオリ 紋付羽織などを着て堂々たる風采で押しかける座敷乞食の類をいふ。

【ハガキ運動】ウレドウ 何に依らず或る提案の實施運動を行ふ際當局の人々に向ひ實施の急務を書いたハガキを送る一種の運動。

【墓場の戀】ハカバノコヒ 人生そのものに倦き功名榮達も希はず安住の世界を自分の墓場に求め其所にて自分の眞の姿と心を見出さんと望む人々の心理をいつた語。

【バガボンド】Yagabond (英) ①漂浪者、無宿浪人 ②ごろつき、轉じて旅役者の群などに用ゐる。

【薄才】ハクサイ 天才・文才などに因み賭博打バクチウチの才をいつた語。

【白紙主義】ハクシシユギ 政友會總裁原敬が久しく標榜した主義で一定の政見・政綱を發表せず機に應じ時に臨んで是を是・非を非とし、當時の事象に對し最も正常なりと信ずる施政を爲すとの意味、即ち都合よく其の意見を白紙の状態におくといふ意。

【バクテリア】Bacteria (英) 細菌サイキンと譯する。

【薄荷パイプ】ハクカ 禁煙パイプの一種、又禁煙パイプの代名詞。

【白書】ハクシヨ 英國外務省から發表する外交文書。

【白熱】ハクネツ Incandescent (英) の譯 物體が日光に近い光を放つ程度に至つた高熱のこと、轉じて最高調に達したことの意。

【白熱電球】ハクネツデンキウ 内部を眞空にした電球の中に炭素線を挿入したものでこの炭素線に電流が通ずると比較的弱少の電流により熱せられて白光を放つより特に白熱電球といふ。

【白兵戦】ハクヘイセン 敵味方とが尺寸の間に接近して激烈に相戦ふ意 ②總て激しい競争といふ意味に使はれる。

【白描】ハクベウ 素描ソベウと同意であるが主として日本畫に用ゐる。

【舶米】ハクマイ 舶來の米といふ意で外國米のことを云つた新語。

【ばくり】 ①不良少年・少女が店頭又は學生などのものを誤魔化してさらつて行くこと。

【薄利主義】ハクシシユギ 利得を少くし無暗に暴利を貪らず廉價に多く賣るといふ意で廣告や看板な

どに「薄利多賣」などよく書かれる。

【馬券】バケン 競馬で勝馬を豫測して之に投票し的中すれば割増金を得られる一種の賭博用として發行する券。

【箱乗】ハコ乗り ①新聞用語で名士を汽車の中に訪問して感想や政見などを聞き記事の材料とすること ②汽車に乗込んで乗客をめぐりに窃盗を働く常習者。

【バザール】Bazaar (英) 勸工場、商品陳列場、慈善市、廉賣市、製品廉價即賣會。

【葉櫻藝者】ハザクラゲイシャ ①花の盛りの美しさも年増盛りの濃艶さも過ぎた藝者 ②新開地に來る藝者を卑しめていふ場合もある。

【破産外交】ハサンクワイカウ 米國が歐洲大戦に参加した後當時の大統領ウイルソンが民主黨の外交を罵つた言葉で失敗の外交といふ意。

【パンフロラ・トリファンアタ】Passiflora trifasciata (英) ジャバ産の時計草の一種で白色の花

を開く。

【派出婦】ハシユツフ 臨時に一般家庭に雇はれて洗濯・裁縫・使ひ歩き・留守居・看病などの雑事につとめる職業婦人のこと。

【パシヤ】Pacha, pasha (英) 總督、提督等の意。

【バス】Bus (英) 正しくはバイスと發音する、音樂用語で低音のこと、低音部・低音唱者・低音樂器ともいふ。

【バス】Bath (英) 正しくはバースと發音する、風呂、沐浴、浴場、また湯屋の意味もある。

【バス】Trip Pass (英) の略 ①無賃乗車券、定期乗車券、電車回数券 ②及第・合格・通過。

【バスケット・ボール】Basketball (英) 高い所に籠

をかけ一定の規約のもとに球を投入れる競技。

【バスタード】Barstard (英) 私生子と譯する。

【バステール】Pastille (英) 錠劑ヂョウジのこと。

【バステル】Pastel (英) 上等の色白堊イロチョウキョクの

類で判げ易いが非常に美しい色調が得られる。

【バステル・ウオーク】Pastel work (英) バステルで表面の粗い畫紙や畫布に描いた繪畫。

【ハズバンド】Husband (英) 略稱してハズともいふ、亭主、夫。

【パス・ボール】Passed-ball (英) 野球用語で投手の球を捕手が逸した場合にいふ。

【バース・ルーム】Bath-room (英) 浴室、湯殿、風呂場。

【パス・レリーフ】Pass-relief (英) 彫刻用語で薄肉刻ウスニキボリのこと。

【パセティック・ドラマ】Pathetic drama (英) 感傷的の戯曲、感動劇。

【バセント】バースセントに同じ。

【バター】Butter (英) バターに同じ、牛酪。

【バチエラー】Bachelor (英) ①大學得業士 ②獨身者のことであるがバチエラー・オヴ・ワイフなどと學位らしくしやれていふ。

【関】カウ 或る一つの團體内に於て類を同うするものが相集つて自己の勢力を張る一系統のこと。

【罰金葉書】バツキンハガキ 大正十二年九月の關東大震災後應急的に發行された小型の官製葉書で表面三分の一のところに劃線を引きその下部に「此の欄には宛所のみをかき」と不明瞭な指定があつたそれは上三分の二には受信人の住所・姓名・日附を書き下三分の一には發信人の住所・姓名並に通信文を記入すべしとの意味であつたが舊慣に泥んで上三分の二の左側に發信人の住所・姓名を記入したものが多くこれを一々規則違反として二錢宛罰金を取つたところから皮肉に罰金葉書と呼んだ。

【八八艦隊】ハチハチカンタイ 明治四十年我海軍省で確立した案で八隻の戦艦と同数の巡洋艦を主體としそれに補助艦として七十二隻の驅逐艦・二十四隻の潜水艇其他を以て編制されるものであるが大正十一年のワシントン會議の結果出現せ

ずして止んだ。

【バック】 Back・グラウンドの略。

【バック】 Puck (英) ① たづら小僧 ② 滑稽諷刺畫

【バック・グラウンド】 Back ground (英) 背景と譯する、その項を見よ。

【パッシェネート】 Passionate (英) ① 情慾的、熱情的 ② 怒りつぼら、疝癖等の意。

【パッシェネート・ソート】 Passionate thought (英) 熱情と譯する、その項を見よ。

【パッション】 Passion (英) ① 情慾、情熱、熱心 ② 激情、忿怒、また悲哀。

【パセージ・ストア】 Passage stores (英) 中央に通路をのこして兩側にたち並ぶ販賣店。

【パッセンジャー】 Passenger (英) 通行人、旅客、乗客。

【發想】 *ハナハ* Expression (英) の譯 音樂上で音聲に強弱緩急などの變化を與へて樂曲の妙趣を發揮する技巧。

【バッター】 Batter (英) 野球用語で打手のこと。
【バッティング】 Batting (英) 野球で投手の投げたボールを打つこと、又それを打つ人をバッターといふ。

【發電信號】 ハッデンシヤガウ 列車が運轉中前方の線路に故障危険があつた際列車乗務員に注意を與へるために裝置された爆發信號合圖。

【發電略號】 ハッデンシヤガウ 電文は出来るだけ簡單・明瞭・直解の文字・記號でなければならぬから對外關係の複雑した處では店名・社名等に一定の略號を公表した上で用ゐて居る、それを登録電略又は電信略號といふ。

【バット】 Bat (英) ① 蝙蝠 ② 野球用の棒。

【ハッピー】 Happy (英) ① 幸福な、たのしい、喜ばしい。

【パティ・カラー】 Pathe colour (英) 佛國のパティ・フレール活動寫眞會社の專賣でフィルムに一々毛筆で施した細密な著色のもの。

【パテント】 Patent (英) 特許權、免許狀、專賣特許
【パトロン】 Patron (英) 正しくは、ペイツロンと發音する、辯護者、保護者、最負客、花柳界では旦那のこと。

【花】 ハナ 美人の隠語。

【花言葉】 *ハナノゴト* Flower-language (英) の譯 花

にたとへて思想・愛情・意志等を現はす言葉でトルコ邊りでは非常に古くから行はれ十九世紀にはフランス軍事通信の秘密暗號として用ゐられたが以後家庭通信にも用ゐられるやうになつた
【花子夫人】 ハナコフジン 鼻と花とを通じさせて鼻の大きい女をいふ。

【花自動車】 ハナジドウシャ 祝日などに花や祝物で裝飾して運轉する自動車。

【花電車】 ハナデンシャ ① 祝日などに種々の花や祝物の裝飾をつけて運轉する電車 ② 美しいといふ意味から女學生許り乗つてゐる電車を指していふ
【バナナ】 Banana (英) 芭蕉、芭蕉の實。

【花の日會】 ハナノヒケワイ 特殊の慈善の爲めに祝日又は日を限つて全市民が胸間に花を挿す日をいひ街上に若い婦人令嬢などが花を賣つて得た金は悉く慈善事業のために使用される。

【パニック】 Panic (英) 恐怖、恐慌、恐慌來。

【ヴァニター】 Vanity (英) 形容詞のヴェインを名詞化した語で空しさ、はかなさ、空虚などの意であるが空な名利や榮華などを求める心から虚榮心、みえなどの意味が出る、それを恥しきと思はぬ所から自慢・自惚・慢心などの意味もある。
【バハイズム】 Bahaism (英) 世界同胞統一主義、世界的平和。

【母の會】 *ハナノカ* Mother's-day (英) の譯 母達のために上品な愉快な親睦・慰安を與へる目的で基督教國で定められた休息日。

【パパ】 Papa (英) 父に對する子供の呼び聲。

【バプティズム】 Baptism (英) 洗禮に同じ。

【濱行き】 *ハマユキ* 美術家の間にて横濱行を簡略に

いつた語、即ち輸出向、安物の外人相手の美術品
 【パブリケーション】Publication (英) 出版、發表、
 公布、發行物。
 【パブリック】Public (英) 公衆の、公共の、公定
 の等(意)
 【ハム】Ham (英) 豚の腿肉を鹽漬にして燻製し
 たもの。
 【早取寫眞】ハヤトリヤシヤ 電氣寫眞に同じ。
 【バリエイター】Variety (英) ①變化、變種、
 多種多様 ②諸藝大會。
 【パラグラフ】Paragraph (英) ①文章中の一節。
 一句・段・項 ②新聞記事中標題のない極めて短い
 ものをさふ。
 【パラシュート】Parashute (英) 飛行機に用ゐる
 落下傘ラカサ(ハット)。
 【パラソル】Parasol (英) 本來は日傘のことであ
 るが雨天用のものでも婦人の小さい蝙蝠傘でも
 すべてパラソルといつてゐる。

【パラダイス】Paradise (英) 天國、樂園、極樂。
 【パラダイス・ロスト】Paradise Lost (英) 人類の
 始祖アダムとイヴが禁制の木の實を食してから
 天界の樂園不死の國から追はれたといふ故事、
 失樂園。
 【バラック】Barrack (英) 小屋掛、粗造假舎。
 【バラッド】Ballad (英) 物語詩、小唄。
 【バラドックス】Paradox (英) 逆説、反對説、曲論。
 【パラフィン紙】Paraffin paper (英) 濕氣を防ぐため
 にパラフィン蠟を塗つた紙で主として包紙とし
 て用ゐる。
 【バランス】Balance (英) 平均、釣合、均衡 ①利
 餘金、殘高。
 【バランス・オブ・トレード】Balance of trade (英)
 輸出貨物と輸入貨物との價格の相違、貿易差額。
 【張】ハリ 何々氣取とか何々式とか何々の眞似を
 するといふ意味。
 【馬力】Horse Power (英) の譯 ①三萬三千

ポンドの重さの物を一分間に一呎の高さまで差
 し上げる力を一馬力と云つてゐる ②精力・努力・
 性慾の意味から一所懸命に働くこと。
 【パリジアン】Parisien (佛) ①パリの市民、パリ
 つ子、心の聰慧と形の清楚を持つた意氣と趣味
 のパリ人といふ意 ②パリに遊んだ人やその氣分
 を理解する人。
 【ハルシネーション】Hallucination (英) 錯覺、
 幻覺などの意。
 【バリトーン】Barytone (英) 音樂用語で上低音、
 又其の唱奏者。
 【バルーン】Balloon (英) 氣球、風船、輕氣球。
 【バルーン・デッセイ】Balloon dessai (佛) 釣込み
 記事のこと。
 【バルコニー】Balcony (英) 洋式建築物の外壁か
 ら突出した臺。
 【春の目ざめ】ハルノメ、ドイツの戯曲家ウェーデキ
 ントの作「春の目ざめ」から廣く用ゐられて來た

語で性慾の衝動を感じて來る時期のこと、思春
 期・春期發動期。
 【バルテノン】Parthenon (英) ギリシヤにあるア
 テネの神殿をさふ。
 【バルナツシアン】Parnassian (英) 高踏派に同じ。
 【バルプ】Pulp (英) 樺材から採つた製紙原料。
 【バレエ】Ballet (伊) 舞踊の一、舞曲、所作事シ
 ャ。
 【ハレー彗星】Halley's comet (英) 英國の天文學
 者エドモンド・ハレーの發見した周期的に出現
 する大彗星。
 【パレット】Palette (英) 洋畫の繪具皿、繪具板、
 畫板。
 【パレット・ナイフ】Palette-knife (英) 繪具をパ
 レットの上で交せるナイフ。
 【バレット】Ballot (英) 投票用紙、投票用の小球。
 【バロメーター】Barometer (英) ①晴雨計、氣壓
 計 ②驗壓器、計量器。

【パン】Pan (英) ギリシャ神話に現れた牧羊人の神
【汎】Pan (英) 汎亞細亞・汎獨主義などいふ全
といふ意。

【汎亞細亞主義】Pan-Asiaticism 共通の人種・宗教・歴
て史・文物の上により三千年の歴史を有する亞
細亞民族が結束して起ち歐米白人の世界と相對
抗して東洋の覇權の下に彼等を屈伏せしめねば
なぬとする主義。

【半意識】Half-consciousness (英) 内部にか
くれてゐて表面的に意識として自覺されない意
識、次相意識、サウイシキ潜在意識などもいひ半ば
意識的であり半ば無意識的である状態と云ふ意
味にも用ゐられる。

【バンカー】Banker (英) 銀行員、銀行家。

【ハンガー・ストライキ】Hunger-strike (英) 直接
行動派の女子参政権論者が警察に拘引された時
絶食して警察を苦しめたことに始まつた語で絶
食同盟と譯されて居る。

【バンガロー式】Bungalow (英) 勾配の強くない
平家建てで多くはヴェランダのあるものをいふが
之に英國式と米國式とがあり英國式は主に煉瓦
造・米國式は木造を本位としたものが多い、大正
七八年頃から日本の各都會の郊外の住宅にこの
式のものを用ゐられ赤瓦や青瓦の家の小じんま
りした洋風の建物が建築されるやうになつた。

【半官新聞】Half-official newspaper 半ば民衆に半ば政府に從
屬してゐる新聞といふ意味であるが實際に於て
半官新聞といへば政府の機關紙となつて居る。

【ハンキング・インデント】Hanging indentation
(英) 新聞・雜誌等の記事のうち小活字を以て
三行乃至四行に涉つて附けた標題。

【バンク】Bank (英) 銀行、轉じて質屋。

【バンク】Bank (英) の訛 タイヤに穴が穿いて空
氣が抜け自動車・自轉車等が運轉不能となるこ
と、俗語としては子供が産れ出ることをいふ。

【バンクチャリ】Punctually (英) 几帳面に、時

間通りに等の意。

【反軍國主義】Anti-militarism 軍國主義に反對する反
動的の一主義。

【ハンケチ】Handkerchief (英) ハンカチーフの轉
訛、手巾・手拭・汗拭の類。

【版權】Copyright 著作権の舊稱。

【反語】Irony (英) の譯 修辭上の用語で諷刺
などの場合故意に實際とは反對を云ふこと。

【萬國部落】Pan-tribe 輕井澤が夏になると適好の
避暑地として日本に住む世界各國の人が集つて
來る所から名づけた語。

【犯罪人定型】Criminal type 近世新派犯罪學の大
家イタリア人のロンプロゾーの主唱した説で犯
罪には先天的に一定した定型があつてそれに當
てはまつてゐる人間は犯罪を取てする素質を持
つてゐるといふのである。

【煩瑣哲學】Pedantic スコラテイシズムに同じ。

【パンダー】Pandy (英) 三色蕨パンキスミと譯する

【半獸主義】Half-animalism 人間性の反面である所の
内的生活方面を重視する文藝上の主義で元始人
のやうな單純・粗野・自然などが尊ばれる。

【反射運動】Reflexion 身體が或る刺激を受けて
全然意識なくして反射的に起る運動。

【汎神論】Pantheism 宇宙は唯一の原理又は本體に
よつて統一せられるがこの本體は宇宙外に獨立
する神でなくして神は却つて宇宙の森羅萬象に
内在するものと見る説。

【バンジョー】Banjo (英) 西洋樂器の一、五絃琴。

【パンセイズム】Pantheism (英) 正しくはパンシ
イズムといふ、汎神論に同じ。

【伴奏】Piano Accompaniment (英) の譯 獨奏者・獨
唱者に伴つてその演奏を助ける隨從的の演奏の
こと、西洋音樂では伴奏パレツ・日本音樂では連
彈フレドキ・謡曲では地謡ヂウタヒといつて居る。

【ハンター】Hunter (英) 獵人、かりうど。

【ヴァンダイク・ブラウン】Vandyke brown (英)

色調の一、焦茶色。

【パンチ】Punch(英) 小切手打抜器や紙綴器などに用ひる穿孔器又電車や汽車で改札用に使ふ鉄をもつ。

【範疇】Genre(英) 種類、部類 ②哲學上では判断を可能ならしめる根本概念又は基本形式。

【パンぢう】パンと餵頭マシナの合ひの子の菓子、パンでは西洋風であり、餵頭では餘りに日本式であるといふ處から銀座邊で賣り出してからの名がある。

【半賃電車】ハチンデンシヤ 大阪で用ゐられる言葉で東京で割引電車といふ、朝の間一定の時間を限り乗車賃を割引する電車。

【ハンディキャップ】Handicap(英) ①競争などで優者を後れて出立せしめたり又は重荷を負はせなどして優劣を平均すること、優劣を控除すること ②おまけを付ける等といふ意味にも用ひら

れてゐる。

【バンド】Band(英) 樂隊のこと、軍樂隊はミリタリーバンド(Military band)眞鍮樂器・黄銅樂器のみを用ひる樂隊はブラス・バンド(Brass band)と云ふ。

【ハンドブック】Hand-book(英) ポケットなどに入れ易いやうに作られた小本、日本でいふ袖珍のこと。

【パンドラ】Pandora(英) 希臘神話中にあるジュピター大神がザールカンにつくらせた美しい女でジュピターは彼女に人生の悪いことや罪なことや禍なこと一切を封じ込めた「パンドラの箱」を與へたとなつてゐる。

【ハンドル】Handle(英) ドアの開閉に取りつけてある把手。

【バンナー】Banner(英) 新聞面の段の一部を切つて數段に渉る長い標額を入れること、二段抜き三段抜きの標額。

【パンク】Vamp(英) 最近ニューヨーク邊りで盛んに用ゐられる語、男をだましその生血を吸ふ女、吸血兒・吸血女。

【パンフレット】Pamphlet(英) ①小冊子、假綴本 ②時事問題を記載する論文。

【ハンマー】Hammer(英) 陸上競技のハムマー投げに用ひる鐵塊に木製の柄を附けたものであるが現今では鐵塊に鎖を附けて居る。

ヒ

【美】Beauty(英) 眞・善と共に最高理想の一つで自然美(人間美を含む)と藝術美に分ち廣く美を研究するものを美學といひ藝術美のみを研究するものを藝術學と云つて居る。

【ビー】Bee(英) 蜜蜂のこと。

【ピア】Pier(英) 波止場、埠頭、防波堤。

【悲哀小説】ヒアセイセツ 全體を通じて悲哀な感じを與へる題材を用ゐ知らず識らず涙を催させるや

うに書かれた小説で少女小説等に屢々發見する

【ピアシンス】ハイアシンスに同じ。

【ピアニシモ】Pianissimo(伊) 音樂で最低音ツァイオンを云ふ。

【ピアニスト】Pianist(英) ピアノを弾く人。

【ピアノ】Piano(英) 西洋樂器の一で大型ピアノと小型堅臺のものがある、四弦琴。

【ビア・ホール】Beer-hall(英) ビールのみを飲ませる酒屋。

【ビー・エス・オー】B. S. O.(Back style only)の頭字のみをとつた語で後姿ばかりの意、學生間に流行する。

【ピース】Peace(英) 講和、平和。

【ヒーター】Heater(英) 暖房器・發熱器・傳熱器などの如くスティーム用の機具のこと。

【ヒーターグ】Heating(英) 加熱、暖房、暖房装置。

【ヴィーナス】Venus(英) ギリシア神話に現はれ

てゐる多情な愛の神で海水の泡沫から生れた女性美の権化といふことになつて居る。

【ビーフ・ステーキ】Beef & steak (英) 俗にビステキ又はビフテキといふ西洋料理の一、厚焼牛肉。

【ビリオディカル】Periodical (英) ①定期刊行物、定期出版物 ②月刊雑誌・週刊雑誌などをも云ふ。

【ビール】Beer (英) ビアが正しい、麥を原料とするアルコール分の少い飲料。

【ヒールド】フィールドに同じ。

【ヒーロー】Hero (英) 勇士、英雄、又浪漫派の作品では多く英雄を主人公として描いた處から作中の男の主人公をヒーローと呼ぶ。

【ヴィオロン】Violon (佛) 四弦の西洋楽器、英語のヴァイオリンに同じ。

【ヴィオロン・セロ】Violon-cello (佛) ヴァイオリンの大形なもので膝に支へて奏でる、單にセロともいふ。

【善意識】ゼンイシキ 美醜を感じる特殊な意識作用で之には常に快・不快の感情が伴ふのを常とする。【微温的】ビランテキ てきばきせぜ生ぬるいやうな状態に用ゐられる。

【ピアロート】Pierrot (佛) 歌劇等に出る袋のやうな著物をきた道化役者。

【ピカイチ】花がるたから來た語、平凡なる人々の中に交つて唯一人偉大な人物のある場合などにいふ俗語。

【美顔術】ビガンジュツ 眞の美は根本的に内部から來るべきものであるとの説から科學を應用して自然の美を完全に現はさうといふ化粧術。

【美學】ビガク Esthetics (英) の譯 藝術美に關する科學的研究のこと、審美學ともいふ。

【ピカデリー】Piccadilly (英) ロンドンの第一の目抜の場所。

【光の教養】ヒカリノケウヤウ 興味を持つて光を研究し何物かの感興を得るとか或はそれに依つて自己

の作品をより多く自然に近いものにする教練・修養をいふ。

【悲喜劇】ヒキキ Tragi-comedy (英) 悲劇と喜劇の混じたもの、觀衆に泣き笑ひをさせる芝居。

【引越嫁】ヒキコシヨメ 結婚費用を節約する目的から新宅に轉居する風を裝ひ新夫新婦が同時に荷物を持ち込んで住むこと。

【引幕】ヒキマタ 見物席と舞臺との間に引く幕。

【罷業破り】ヒダフキヤブ Blackleg (英) の譯 勞働者の同盟罷工に對する資本家側の對抗策で臨時に田舎から農夫を狩り集めて職工にしたり工場を閉鎖して入れしめぬやうにすること。

【微笑笑】ヒクセツ 快心の微笑ではなく苦笑の交つた皮肉な笑ひ方やその心持をいふ。

【ビクティム】Victim (英) 犠牲、被害者、罹災者。

【ビクトリー】Victory (英) 戦捷、勝利。

【ピクニック】Picnic (英) 郊外散策、遊山、行樂 ①持寄り宴會。

【悲劇】ヒキキ Tragedy (英) の譯 筋書の葛藤が多く悲哀的の小説の總稱であるがそれ程でなくとも大團圓オシマイが死や不可思議などで終るものを悲劇といふこともある、また寫生派に於ける悲惨な事實をも云ふ。

【尾行】ビカウ 危険思想を抱く者や注意人物などの動靜を明かにするため監視的に刑事がつけて歩くこと。

【飛行營】ヒカウエイ 世界大戦の終熄する少し以前敵の來襲を防ぐためスペイン國境から英國海峡に亘る海岸全線に設けられたもので飛行機屯營とも稱し如何なる場合にも直ちに飛行機の活動が開始される様に設備された。

【飛行警察隊】ヒカウケイサツタイ 臺灣警察隊の一部で生蠻征伐の爲めに利用される。

【非公式】ヒヨウシキ 内密にて意味を傳へる場合などにいふ。

【ヒポコンドリア】Hypochondria (英) 憂鬱性。

引込み性。

【美術】ビュウツ Fine art (英) 藝術を文藝と美術とに分ち繪畫・彫刻・音楽・建築・工藝などを總稱して美術と云ふのであるが普通美術と云へば狹義に解して繪畫・彫刻のことを云つてゐる。

【美至上主義】ビシヤウシユキ 唯美主義に同じ。

【美術家村】ビジュツカムラ 美術家が密集して住んでゐる處から生れた稱で東京郊外の谷中初音町から田端・日暮里邊をいふ。

【ビジネス】Business (英) 事務・營業・職業・商業等の意味では「ビジネス」と讀み多忙の意味では「ビジネス」が正しい。

【ビジュニアブック】Bijou book (英) 豆本マホケに同じ。

【非常線】ヒシヤウゼン ①重大事件の突發した時その地域を中心とし寸分の隙もない様に警官が包圍すること ②危険區域に群集が飛び込まぬ様に警備すること。

【批准】ヒシユン 國の主權者が條約を嘉納承認すること。

【美職】ビシヨク 内職募集の廣告に用ゐられる新語で新聞の三行廣告欄などによく現はれる。

【非人格的】ヒシシカクダキ 人格を無視した、人格に反した等の意。

【ヒステリア】Hysteria (英) 稍や狂性を帯びてゐる女のこと、婦人の神經衰弱症で中年の女に多い。

【ビスト】タイビストを略し輕んじて呼ぶ名。

【ヒストリカル・ドラマ】Historical-drama (英) 歴史上の事實を主材として作つた史劇。

【ビジネス・マン】Business-man (英) 實業家、事務家。

【ビジネス・サイコロギー】Business psychology (英) 商業心理學に同じ。

【ビジネス・ライフ】Business-life (英) 事務員生活、實業生活。

【ひじ鐵】チツ 駭鐵砲の略、女が男の要求を激しく拒絶すること。

【一幕物】ヒトクモノ、One-act play (英) 一幕で筋が通つて劇の結構を備へたものをいふ。

【パイジョン・ホール】Pigeon-hole (英) 商業實務上、書類保存の法で用筆筒に似て抽斗の長い木製の箱を二十四箇の長方形の小室に區分しAからM及びX・Y・Zの標示を記し到着書類を發信者の頭字によつて區分收容するもの、鳩の巢式保存法。

【筆速】ヒツソク 原稿を書く筆の速さのことで新聞記事ならば十六字詰七十行位を三十分位で書くのが普通となつてゐる。

【必然】ヒツゼン Necessity (英) ①譯 必ず然かあるべき原因がありそれより外に如何ともすることが出来ない意。

【必然性】ヒツゼンイ Necessity (英) ①譯 必然の運命を持つこと、必ず然かあるべき性質。

【ピッチ】Pitch (英) ①松脂、瀝青 ②投げる、刺す傾斜、勾配、高低、調子、音律。

【ピッチング】Pitching (英) ①なげる、投げつける等の意。

【ピッチャー】Pitcher (英) ①野球の投手者 ②水さし、水びん。

【ピット】Pit (英) 野球で打球、また安打アングの意味もある。

【否定】ヒナイ Negation (英) 然らずとして拒むと。

【美的生活】ビチキセイカツク 情感または本能による美を唯一の生命とする生活、享樂耽美の生活。

【一つ橋派】ヒツハシハ 東京高等商業學校が神田一つ橋の畔に在るより同校關係の人々をいふ。

【人轢車】ヒトヒキクルマ 自動車が多く事故を起す所からいふ。

【非人情】ヒニシヤウ ①藝術家が努めて實際的の感情を動かさず軽く面白く鑑賞し得るやうな作品を作ること ②またそのやうな態度で生活すると

【非買同盟】ヒバイドウメイ 地主・商人・雇主・政敵等に對し同盟して社交上・取引上の關係を絶つこと。

【美髮】ビハツ 理髮のこと。

【批判】ヒハン 批評し且つ判別すること、批評と同義であるが主として哲學上・思想上の批評に用ゐる。

【批評】キヤウ Criticism (英) の譯 事物の善惡・長短を分ちその價値を判定すること。

【ビッド】Vived (英) 鮮明な、いき／＼した等の意。

【ビフテキ】 ビーフ・ステーキの訛。

【批評主義】ヒキヤウシユキ 一切の獨斷的前提を排して飽くまでも批判的に徹底的にその物に關しての判斷を吟味する主義。

【日歩根性】ヒフコンシヤウ 株金の拂込・借金の返済・勸定の支拂等を最後の期日まで引張つて置いて支拂ふ人の根性をいふ。

【ブリオマニア】Bibliomania (英) 藏書狂、藏書

家。

【ブリオマニスト】Bibliomaniat (英) 藏書癖のある人、珍書愛藏家。

【ヒポクリット】Hypocrite (英) 偽善者、偽君子。

【ヒポコンデリア】Hypocondria (英) 憂鬱性、引こみ性。

【秘密外交】ヒヒツグワイカウ 國民的外交に對する語で一國一般に政府の政策意嚮を知らしめずして行ふ外交。

【秘密結社】ヒヒツクワシヤ 結社の存立・目的・社則・社員氏名等を當局に届出ずして内密に組織する結社で治安警察法により禁止されて居る。

【秘密出版】ヒヒツクシュパン 風俗を害し安寧を紊すが如き圖書・繪畫を暗々の裡に出版すること。

【微妙】ヒミヤウ 明暗の區別が判然せず有るか無きかのすがた、また言語に絶した物の快味など、形容する語、清楚・幽玄・優雅等の氣分。

【悲鳴電車】ヒノイデンシヤ 大都市の市内・郊外電車は

出勤時間・退出時間には何れも満員で容易に乗れないため女や子供は悲鳴を挙げながら割り込んで乗るからその時刻の電車を悲鳴電車といふ

【ヒヤールール】 フェイヤ・ボールの訛。

【百貨商店】 ヒヤククワシヤウテン デパートメント・ストアに同じ。

【百選會】 ヒヤクセンクワイ 百人又は品物百點を選んで展覽せしめる會。

【百燭光】 ヒヤクショククワウ ①百燭光の電燈 ②轉じて禿頭を洒落れていふ。

【ひやひや】 英語の Hear, hear! の賛成々々、謹聴々々等の意を現はす語。

【プリア】 Pure (英) 清淨な、純潔な、純正の。

【ピューリアリチヤ】 Pure literature (英) 純文學と譯する。

【ヒューズ】 Fuse (英) 火薬その他の爆發物に火を傳へるための長い細管で少量の猛火薬を亞麻または黄麻の纖維の中に包み麻布または石綿の平

紐に包んである。

【ビューティー】 Beauty (英) ①美、美人 ②美笑、美感また美景。

【ビューティー・スポット】 Beauty spot (英) 容色の美を増すために顔につける黒色の小さい布。

【ヒューマニズム】 Humanism (英) 人道主義と譯する。

【ヒューマニティ】 Humanity (英) 人間性に同じ

【ピューリタン】 Puritan (英) 基督教の一派で淨身潔生を旨とし物欲を絶つて完全な禁欲生活をする人々、清教徒。

【評價】 ヒヤウカ Estimation (英) の譯 善惡・美醜の價値を判定すること。

【表現】 ヘウケン エキスプレッションの語譯。

【表現寫眞】 ヘウケンシヤシン 藝術寫眞の一種で構圖の明確よりも色合・調子に重きを置くもの。

【表現主義】 ヘウケンシユキ Expressionism (英) 獨逸現代の繪畫から起つた主義で作者の直觀に重きを

置き自然の精神と肉體とを以て感じたありのままを描けば足るといふのが其の主張である。

【表現派】Expressionism (英)の譯 ①現表主義を奉ずる人々 ②不可解な自分勝手な自我本位のひねくれた主観的な作品。

【標語】ヘウゴ 簡潔・明快に心得を表はした語、 mottoの譯。

【描寫】ベウシャ 寫生はありのままの姿を忠實に書くことであるが描寫は單なる寫生でなく現はれた形とそれを包んだ精神・内容・意義をも觀察して描き出すこと。

【表象】ヘウシヤウ 象徴と同義、その項を見よ。

【標榜】ヘウバウ 主義・主張を公にすること、看板にすること。

【病的】ビヤウチキ 思想することや行動することが常態を失して完全に遂行しがたい状態。

【平等權】ビヤウドウケン 權利の上に何等の差別もなく同等の資格・權能を有すること。

【美容】ビョウ 科學的に研究された方法及び化粧料を以て人工的に容貌を美しくする手術。

【引札】Bill (英)の訛 小札廣告、引札、廣告用揭示紙。

【ピラ下】ピラ 芝居や活動寫眞のピラ貼ちして貰ふ家に對し謝禮として切符を贈る場合この切符を持つて觀覽に来る客をいふ。

【Pyramid】Pyramid (英) ①三千年の昔に建てられた埃及國王の墳墓 ②また三角形活字の組み方。

【Billionaire】Billionaire (米) ビリヤン (Billion) は英國では一兆・米國及び佛國では十億の金、富豪をミリオネアといふに對し巨富を擁して財界の一方に覇たる者をいふ、日本流に言へば百萬長者のこと。

【Biliken】Biliken (英) ①一九一八年米國の一流美術家が夢に見た神をモデルとしたと言はれて居る米國の福の神のこと ②ビリケンに似て

頭の先の尖つた人をいふ。

【非立憲】ロツケン 立憲の反對で獨斷的・專制的行為等をいふ。

【Billiards】(英) Billiards (英) 撞球、玉突。

【Bill】①ビルディングの略、大正十一年秋東京の丸の内ビルディングが完成した頃から初まつた呼び方 ②Phil, Phileは接頭語又は接尾語として愛する意の③手形。

【Bill broker】(英) 手形仲買人と譯する。

【Heroic】Heroic (英) 勇ましい、英雄的。

【Heroine】Heroine (英) Eしくはヒロインと發音する、小説・劇などの女主人公をいふ。

【Pink】Pink (英) 近代流行の淡紅色。

【Character】Character (英)の譯 人間の行為又は行為に伴ふ思想に有する一定の傾向。

【Hint】Hint (英) 暗示に同じ。

【Ping-pong】Ping-pong (英) 室内テニス遊戯、卓球。

球。

フ

【Furze】Furze (英) ①道化芝居、茶番 ②こまきり肉。

【Final】Final (英) 最後の、最終の、究竟的。

【Final ballot】Final ballot (英) 決選投票と譯する。

【Filing system】Filing system (英) 主としてファイル・ブックを利用して行ふ事務整理の方法をいふ。

【File】File (英) ①紐、絲 ②綴込み、書類はさみ、また目録。

【File-book】File-book (英) ルーズ・リーフ式帳簿の大型のもの、主としてファイリング・システムに使用せられ常に中味だけ紙へられ使用済のペイパーは自由に抜き取つて新しいペイパーを差込む様に金輪式の綴目になつてゐる。

【ファインダー】Finder (英) フィルムに映す寫像の反射を利用して小さく見せる凸鏡の部分、指導鏡。

【ファウンテン・ペン】Fountain pen (英) ファウンテンは泉・噴水・水源などの意、印刷機や萬年筆・インク壺などのインクを容れる部分をもいふ、ファウンテン・ペンといふ時は萬年筆のこと。

【ファウル】Foul (英) ①不潔な、悪臭のある ②運動用語としては反則・不公平。

【ファクター】Factor (英) ①仲買人、代理人 ②要素、原動力。

【ファクトリー】Factory (英) ①商館、代理店 ②製造工場、ファクトリー・ガールは女工、ファクトリー・ローは工場法。

【ヴァージン・ソイル】Virgin soil (英) 處女地。

【ファースト】First (英) ①最初、第一、第一次 ②野球にマファスト・ベースの略、即ち第一壘。

【ファクト】Fact (英) 事實、實際、實情。

【ファースト・エイド】First-aid (英) 醫師が来るまで素人が病傷者に對し應急的に施す治療、應急手當。

【ファミリー】Family (英) 子女、家族、一家一門。

【ファミリアル】Familiar (英) 馴れて居る、親しみが深い、家族的である等の意。

【ファン】Fan (英) ファンタスティック (Fantastic) の略、熱心家、愛好家、彌次、野球や拳闘の熱狂的見物人などいふ。

【ファンシー・ボール】Fancy-Ball (英) 假裝舞踏會と譯する。

【ブイ】Buoy (英) うき、ゴム袋に空氣を入れたもので溺死せんとする者などに與へる救助袋。

【ヴァイタミン】Vitamin (英) 最近發見せられた人體營養素で人間の食物に含まれて居る蛋白質・脂肪・含水炭素・水・鹽類等の營養素のこと、之には三種ある、發育に必要なものと脚氣豫防に役立つものと關節の病氣を豫防するものとの

三つに區別せられそれらA・B・Cと命名されて居る。

【フィールド】Field (英) ①原野、のほら ②試合場、野球場、また野球にて外野のこと。

【フィル】Phil, Phile (英) 接頭語又は接尾語として何々と愛する者、何々の愛好者の意味を含む。

【フィルハーモニー】Philharmony (英) 萬國發音標によればファイラーモニーが正しい、音樂を愛すること。

【フィルム】Film (英) ①皮、膝、帶狀 ②活動寫眞映畫、寫眞感光膜。

【フィロソフィー】Philosophy (英) 哲學と譯する。

【フィンガー・ボール】Finger-ball (英) 洋食の食後に指先又は髭洗ひのために出す水を入れた銀色又は銀製のコップで普通の水を入れた場合と鹽味をつけた場合と薄荷又は香料を入れた場合とがある。

【プーア】Poor (英) 貧弱、貧乏、貧窮、また可憐

なといふ意味もある。

【風壞劇】Freak show 風俗壞亂劇といふ意。

【諷刺】Fash 遠まはしにほのめかすこと、暗示に似てゐるが諷刺には暗にからかふとか教へるといふ意味を含んで居る。

【諷刺畫】Fash drawing 人のとをあてこすつて描いた繪

【フース・ヒー】Who's she? (英) 人物批評、人物月旦。

【フース・フー】Who's who? (英) 人名辭典と譯する。

【ブート・レッグ】Boot-leg (米) 長靴を穿いた足の意で米國では禁酒令發布以來酒類の密賣買をすることにいふ。

【ブル・ジュア】Bourgeois (佛) 語源からいへば紳士と農民との中間に位する人々のことであるが現今では有産階級・有閑階級・實業社會の人々を指し更に範圍を廣め貧民・勞働者に對して官吏・軍人等の俸給衣食者をも含むやうになつた。

【ブルジョアジー】Bourgeoisie(佛)ブルジョアは有産階級・中流階級・實業社會・有閑階級・俸給衣食階級の個人を指しブルジョアジーはその全體の社會・階級をいふ。

【フールスキヤップ】Foolscap(英) 長さ十五乃至十七吋・幅十二乃至十三吋の印刷及び書寫用の大版洋紙。

【フールズ・デー】Fool's day(英) 四月馬鹿に同じ

【フェイス】Face(英) ①面、顔 ②表面、前面、外見、また局面。

【フェータリズム】Fatalism(英) 宿命論、運命論。

【フェデレーション】Federation(英) 聯盟、聯合會

【フェヴラブル】Favourable(英) 好調と譯する。

【フェルト】Felt(英) 毛氈、獸毛を石鹼液又は硫酸液に浸し壓搾して作った布地、毛氈マツセン。

【フェノメナリズム】Phenomenalism(英) 現象論と譯する、即ち感覺によつて受け入れられた對照は理性の働きによつて理論的に得られたもの

でなく感覺によつて得られた事態でこの感覺的知覺表象としての現象は本體と反對に偶然的・不變的なものであるとの哲學論。

【ヴェル・リール】Vers Libre(佛) 自由詩と譯する。

【フォース】Force(英) 暴力、腕力、また兵力の意。

【フォーカス】Focus(英) 或る一點を目がけて進み集る點、焦點。

【フォーク】Fork(英) 熊手のやうな洋食用肉叉。

【フォン・メーター】Phone-meter(英) 電話の通話度數計をいふ。

【フォト】Photo(英) Photographの略、寫眞のこと、隨つてフォト・スタジオは寫眞館。

【フォトグラヴィア】Photogravure(英) 凹面寫眞版から印刷する寫眞版畫中最美のもの。

【フォトプレー】Photoplay(英) 映畫劇、活動寫眞劇、キネマ・ドラマ。

【フォト・プレーヤー】Photo-player(英) 活動寫

眞俳優のこと。

【ヴォルクスリート】Volkslied(獨) 民謡と譯する。

【フォルマリン】Formalin(英) 消毒用藥品の一でフォルムアルデハイド瓦斯、またそれを溶かした液。

【フォルム】Form(獨) 外觀、形式。

【不穩文書】Fonction 社會の秩序安寧を害し又は國體を危くするものと認められる文書、いはゆる怪文書とは異なる。

【復員】Fukken 戦線に在る者と國內に在る者との間は一旦召集した者を舊に復すること。

【深み】Fuka ①藝術品の價値を言ひ現はす語で「深みのある作」といへば眞を穿つて居て見あきのしない作物といふ意になる ②また男女の交情にもいふ。

【不換紙幣】Fukanshei 正貨と引替ることの出來ぬ紙幣、即ち兌換タカワン紙幣以外のもの。

【復活】Fukatsu 休止又は敗滅せる者が従前の力のまゝに再び活き返ることであるが近代語としては道德的の復活に多くの意味を置くやうになつて來た。

【副産物】Fukanshutsu By-products(英) ①製造工業等にて所期の生産を得ながらその工程進行中に得られる第二の所産、例へば石炭瓦斯製造の場合瓦斯が主産物で殘餘の廢物から取るコールタール・石炭酸が副産物である ②第一の目的に伴ひて生ずる第二の所生物をいふ。

【腹式呼吸】Fukshikokyo 靜座法の一様式で膈下に氣を落着けて行ふ心身修養法。

【副署】Fuksho 國務大臣が輔弼を表彰する形式で法令その他國務に關する詔勅にその名を署すること。

【伏線】Fukusen 後で言はんと思ふことを豫めそれとなく言つて置くこと、俗に言ふ伏線を張ることである。

【複複線】フクフクセン ダブル・ダブル・ラインに同じ。
【伏魔殿】フクマテン 裏面に隠れて醜怪な行爲や運動をする處。

【複葉飛行機】フクエフエカウキ 主翼が二枚重つてゐる飛行機。

【不婚同盟】フコンドウメイ 花柳病に罹つて居る男子と結婚することを避ける手段として結婚に際し男子から健康診断書を提出する條件を付けんとするもので新婦人協會の新進婦人が團結して試みたこと。

【婦人解放】フジシカイハウ 従來の男子に對して甚しく從屬的であつた女子の地位を男子と同等の程度まで向上せしめる目的を以つて女子の生活・思想・行動に關し因襲的束縛から脱せしめることをいふ。

【婦人記者】フジシキヤ 雑誌や新聞の婦人記者のことである、主として家庭訪問や兒童問題・婦人問題等に關して男子では思ふやうに得難いニュ

ースを蒐集するの任に當る。

【婦人参政運動】フジシキヤウキンドウ 衆議院議員の選挙権及び被選挙権を婦人にも與へんとする運動で十九世紀英國に初つて以來各國に起り普通選挙法の實施と共に我國に於ても亦その叫び聲が盛んになつて來た。

【婦人問題】フジシキヤウキンドウ Women's problem (英) 婦人の自覺・教育の普及・男子に對する從屬的地位の脱却・傳統的婦人道德の破壊・参政權の要求及び自由解放などの運動に對する各種の問題をいふのである。

【不信任案】フジシキヤウキンドウ 在野黨議員が議會に於て政府の施政事項に對し信任せざる旨を表示する決議案のこと。

【普選】フクン Universal suffrage (英) 普通選挙。一般選挙などが正しいがいつの間にか普通選挙の譯語が用ひられ略して普選となつた、成年以上の男女が平等的に選挙権及び被選挙権を有し

て代議士を選挙する制度。

【婦選】フセン 婦人にも議員の選挙権を與へよといふ意を簡單に現はした語。

【舞臺監督】フタイカントク 舞臺上の一切を監督をする人、脚本の内容の説明・俳優の所作・科白の指導・舞臺裝置其他を監督する人。

【舞臺裝置】フタイサウチ 演劇について舞臺に施す裝飾等の裝置をいふ。

【物價指數】フツカシスウ 一定期間の日用品の百分比率をとつて物價高低の趨勢を示したものをいふ
【フットライツ】Footlights (英) 舞臺前面下部に點列する明かりのことで昔の芝居の面明ツラカカリに相當する。

【ブック・ハンター】Book-hunter (英) 本ずき、書物あさり。

【舞踏病】フタフタウ Chorea (英) ヒステリーの一種で無暗に浮れ歩く病氣、婦人に多いが營養不良の女兒にも起る。

【ブック・メーカー】Book-maker (英) 生活の資料を得るため書物を作つて賣る人、賣文者。

【物質主義】フツシツキヤ Materialism (英) ①靈的・精神的の活動又は意義を無視して單に衣食住・性慾・性慾の問題にのみ執着する主義 ②哲學では唯物論と同意。

【物質的】フツシツキヤ 心を精神的といふに對し肉體を物質的といふ、隨つて精神を基礎とする哲學・文學・宗教は精神的文明で物質を基調とする電信・鐵道・汽船などは物質的文明である。

【プディング】Pudding (英) 腸詰チヤウツメ、また蒸し菓子の意味もある。

【筆をおろす】フデヲオロス ①初めて試みるといふ意、進水式、試運轉 ②水あげ等猥褻の意もある。

【太棹】フデボ 義太夫の三味線、轉じて義太夫を語る藝者。
【不當利得】フタウリトク 法律上の正當原因なくして他人の財産又は勞務によつて利益を收めてその

爲め他人に損害を被らせること。

【蒲團蒸し】フトムシ 東京第一高等學校の寄宿舎で初まつた悪戯で何か制裁を加へる必要ある寮生に對し蒲團を幾枚も被せて上から大勢で抑へつけて懲らしめることでリンチ(私刑)と稱する。

【船附列車】フナツケレツシャ Boat-train(英) 海外へ渡航する人を見送る人々の便を計り港灣附近の都會から棧橋際に至る迄運轉する水陸連絡列車。

【不美人】フビジン 醜婦をいふ。

【不勉強堂】フベシヤウドウ 人の好奇心を利用し宣傳の目的から附けた商號で勉強するといつて實は高いものを賣る通弊を打破し初めから不勉強を標榜して正直に良品を上げますといふ謎。

【フューチュア・ブック】Future-book(英) 新聞用語の一種で未來の豫定的ニュースに關する種々な注意や暗示を記入する帳簿。

【フューチリズム】Futurism(英) 一九一〇年伊太利に起つた新文藝の一派で過去に於ける一切

の傳統を無視し古い慣習に囚はれず新しい創作をなさんとする主義。未來派。

【ぶら】ぶらつくの略、縁日や夜店などを歩き廻る意。

【フライ】Fly(英) 油で揚げたもの、天ぷら、フライ・フィッシュは魚肉を油で揚げた西洋料理。

【フライス】Price(英) 代價、價格、相場、また報酬の意味もある。

【プライド】Pride(英) ①誇り、自負、高慢、自尊心②美觀、華美。

【ブラインド・インタヴュー】Blind-interview(英) 談話の材料さへとれぬ出鱈目な訪問。

【ブラインド・リーダー】Blind-reader(英) 英米の郵便局で郵便物の表書の讀みにくいものを専門的に判讀する係員のこと。

【ブライヴ・イント・インタヴュー】Private-Interview(英) 新聞・雑誌記者の私用訪問をいふ。

【ブラウド】Proud(英) 尊大な、高慢な、鼻息の

荒い、誇張した等の意。

【プラクティカル】Practical(英) 實用的、實際的。

【プラクティシズム】Pragmatism(英) 實際主義、實用主義、米國のヘンリー・ジェームズの主唱した眞理とは吾人の生活を改善する手段・道具として役立つもので時代により人により如何様にも動くべきものだとの説、實際主義、實用主義。

【プラクマテック】Pragmatic(英) 事務的、實際的。

【フラグメント】Fragment(英) 断片、破片。

【プラス】Plus(英) 増し加へることその記號に十の字を用ゐる。

【ブラス・バンド】Brass-band(英) 太鼓・小太鼓・喇叭・笛など總て眞鍮製の樂器のみを使用する樂隊。

【プラタナス】Platanus(英) 三角塔プラタナ型に繁茂する落葉喬木で楓の様な葉を持つてゐる、すゞかけの木。

【プラチナ】Platinum(英) 正しくはプラチニウムと發音する、灰白色の貴金屬、白金。

【ブラック】Black(英) ①黒色また暗黒②英字の線の太い形。

【ブラック・バンド】Black-band(英) 伊太利で無頼漢が脅喝または復讐フクシタを目的として組織した秘密結社、彼等の送る手紙に黒い手の標章がついてゐるところから我邦では黒手組といつて居る。

【ブラック・リスト】Black-list(英) 黒のしるしの表、黒表、注意人物の名を記す表簿、歐洲大戦中英國政府は親獨の疑ある商店に向つて閉鎖を命じたその名を黒枠附クロツキのノートに記入し又革命當時ロシアの過激派は自派に反對するものを暗殺しつくさんと企てそれ等の人名を黒枠附のノートに記載した。

【ブラックレー】Blackley(英) 同盟罷業中臨時に雇入れる勞働者のこと。

【ブラッシュ】Brush (英) 筆、刷毛、又畫家の技巧を指していふこともある。
 【フラット】Flat (英) じやれつく、いちやつく。
 【フラトールゼ】(俗語)酒を飲むとフラ〜として陽気になるより酒をしやれていふ。
 【プラットフォーム】Platform (英) ①停車場などの昇降場②講壇、演壇。
 【プラトニック・ラブ】Platonic Love (英) 肉の考を交へない清淨モイシクナ純愛。
 【ブラヴー】Bravo (伊) 外國で舞臺に上つた時などに浴びせる賞め言葉、「しつかりやれ」「うまいぞ」等の意。
 【フラワー】Flower (英) 花、盛花、草花②青春、少壯、また詩藻③俗用としては婦人の月經のと。
 【フラワー・ランゲージ】Flower Language (英) 花言葉と譯する。
 【フラン】Franc (佛) 佛蘭西の貨幣單位で我國の約三十八錢に當る。

【フランク】Frank (英) 質朴でかざり氣ない、正直な。
 【ブランケット】Blanket (英) 毛布。
 【プランタン】Plantane 春のこと、日本では商號などに用ゐられて居る。
 【フランチス】Franchis (英) 市民權、選舉權。
 【ブランデー】Brandy (英) 強烈な西洋酒の一種。
 【フリ】(俗語)芝居で切符を求めて入る客をフリ客と云つてゐる。
 【不良少女】Freakish Girl 不良少年と同一傾向を有する少女でその團體には辨天組とかブランク組とかスミレ組など言ふのがあるが女だけに社會が油斷するのでそれに乘じ非行を逞しくする。
 【不良少年】Freakish Boy 學籍も職業もなく常に街路を徘徊してかつばらひや婦女誘惑イクラクを常習とする人達であるが少年と云つても必ずしも少年ばかりでなく三十歳をこえたものの中には澤山あつて青帯組だの黒手組だのいる〜の名

稱をつけて團體を結んで居る。
 【不良住宅】Freakish House 各地の貧民窟に散在する粗雑・狭少な家屋で衛生・風俗などに害があるから當局に於て銳意これが改善に努めて居る。
 【不良老年】Freakish Old Man 分別盛りも過ぎた程の老人達が自分の白髪も忘れて了つて色街歩きをするとか常識にはづれた不良行爲をする場合を愚弄して皮肉に言つた語。
 【プリンシプル】Principle (英) ①原理、原則②本原、元質③主義、また道義。
 【プリンス】Prince (英) 君主、皇子、親王、公爵。
 【プリンセス】Princess (英) 皇女、王妃。
 【プリント】Print (英) ①印刷、印刷物②印畫、版畫、繪草紙③新聞紙、また更紗④學生間では講義を速記して謄寫版に印刷した講義控へのことに用ゐて居る。
 【フリーシンカー】Free thinker (英) 懷疑派の人々、また自由思想家。

【フリー・トランスレーション】Free-translation (英) 原文の意味のみを取り原文に拘泥せずして譯したもの、意譯イタク、自由譯。
 【フリーダム】Freedom (英) ①自主、自由②特許、安易。
 【フリー・パス】Free-pass (英) 無條件で通過する、パスを見よ。
 【フリー・バルーン】Free-balloon (英) 自由結婚と譯する。
 【プリズム】Prism (英) 分光器として用ゐる透明の三稜形。
 【ブリッジ】Bridge (英) 橋、橋梁、特に陸橋(汽車の停車場内又は踏切に線路を跨るやうに造られた橋)のこと。
 【プリマー】Primer (英) 入門、手引、初歩、初學者などの意。
 【プリマドンナ】Primadonna (伊) 歌劇役者中の首席女優をいふ。

【プリモーズ】Primrose (英) さくら草のこと。
 【ブルー・ストックキング】Blue-stocking (英) 青踏セイトラと譯する、一九〇五年頃ロンドンの文藝に關する集會に一人の流行兒が青の靴下をはいて出席してから流行となつたことで我國でも青踏派の名の下に新進婦人等が一つの團體を作つたことがある。
 【フルリード】Flute (英) 樂器の一、木または金屬で造られた横笛のこと。
 【ブルー・バード】Blue bird (英) 青い鳥に同じ。
 【ブルー・ブラック】Blue-black (英) 濃藍色。
 【ブルー・プリント】Blue-print (英) 青寫眞のこと。
 【ブル】ブルジョアの略、其の項を見よ。
 【ブルース】Blouse (佛) ベンキ屋・畫家・彫刻家などが作製の時に着る筒袖上被。
 【プール】Pool (英) ①水浴場 ②室内水泳場 ③水たまり。
 【フルート】Flute (英) 西洋樂器中笛形のもの

總稱する。
 【ブルータル】Brutal (英) ①残忍な、兇猛な ②血氣盛んな。
 【フルーツ・パララー】Fruit parlour (英) フルーツは果物・パララーは居間又は客間、果物店の中にある喫茶店キッチンを云ふ。
 【ブルー・バード劇】グキ 青鳥劇に同じ。
 【ぶるけい】印刷用語にて波線ナミセンのこと。
 【ブルジョア】ブルジョアを見よ。
 【フル・スピード】Full-speed (英) 全速力、快速力
 【フル・セプト】Full-set (英) 活動寫眞用語で全影のこと。
 【ブルドック】Bulldog (英) ①闘犬、英國種の猛犬 ②ホストルのこと。
 【フル・ネーム】Full-name (英) 姓と名、氏名。
 【フレイ】Play (英) ①運動競技、遊戯 ②賭博、かけこ ③奏樂、彈奏。
 【奮れい】フレイ (俗語) 野球や庭球などの試合をす

る場合の應援者の掛聲。
 【プレイ・ガイド】Play-guide (英) 芝居を初め各種の音樂會・演藝會・舞踊會等の入場券の取次販賣、歡迎會・送別會・記念會・祝賀會其他多數で觀覽する場合の團體割引の世話などをする人。
 【ブレーキ】Brake (英) 汽車・電車・自動車等の車輪制動機、車輪齒止。
 【ブレイク・ファスト】Breakfast (英) 朝飯のこと。
 【プレート】Plate (英) ①野球用語の一、投手版 ②寫眞の感光板 ウランカクタイ。
 【プレーヤー】Player (英) 競技者、プレーをする人。
 【プレクトラム・ソサイエティー】Plectrum society (英) プレクトラムは撥子、マンドリンの如く撥を用ゐる西洋樂器を主體として作る演奏團。
 【プレザント・プレー】Pleasant play (英) 喜劇、快樂劇。
 【プレジデント】President (英) ①大統領 ②總長、

校長 ③會長、議長。
 【プレス・カッティング】Press-cutting (英) 新聞・雑誌の切抜、プレス・クリッピング。
 【フレスコ】Fresco (英) 漆喰シヤッコの壁上に水彩畫具を以て描いた一種の壁畫ヘキダラ。
 【プレス・ボックス】Press box (英) 劇場・競技場内に新聞・雑誌記者のために設けられた觀覽席。
 【プレゼント】Present (英) 景品、贈物、進物。
 【フレッシュ】Fresh (英) 新鮮な、潑刺ハツツツな。
 【フреноロジー】Phrenology (英) 骨相學と譯する、昔の人相判断の一で後頭部が發達して居る人は愛情に富むとか前額骨が發達して居る人は數理に長ずるとか頭蓋骨ツガイッコの形によつて人の性質・運命を判断する學問。
 【プレミアム附】キ Premium (英) 俗にプレミヤ附などいふ ④賞金附、割増附、株式募集の際に額面以上の割増金を附ける場合に用ゐる ⑤俗語としては後家となつた女が連子をして嫁入りす

るときに如く本物以外に餘分の物のついて居ることをいふ。

【觸る】^{フレル} ①接觸する、さわる ②感動せしめる、和らげる、理解がある ③急所をつく、中心にふれる等の意。

【フレンチ・レター】^{French-letter} (英) 佛國郵便と譯する、英國で病毒豫防又は避妊用の淫具であるルーデサックの包装がフランスから来た郵便物の如く作つてある所から言ひ出した語。

【フレンズ】^{Friend} (英) 朋友、親友、また味方、賛助者。

【フレンジシップ】^{Friendship} (英) 友誼、友愛、友情。

【プロ】^{Prostitute} (英) の略、娼妓、醜業婦のと。

【プロ】^{Proletaria} (佛) プロレタリアートの略、無産階級・労働階級等にある者をプロ階級と云つて居る。

【ブローカー】^{Broker} (英) 周旋屋、仲買人、轉じ

て利権屋、または鞘チヤ取。

【ブローケン】^{Broken} (英) 破壊する、失策する、破産する。

【ブローケン・ハート】^{Broken-heart} (英) 哀愁、斷腸、又失戀。

【ブロージット】^{Prost} (羅) 乾盃の時「御健康を祝す」「御機嫌よう」「おめでたう」などの意味を示すために一同起立して一齊に稱へる語。

【浮浪生活】^{フラウゼイタツク} 近代人の病的な方面を現はしたものの、一つで生きられるまで生きること、覺悟をきめて諸方をさまよひ歩く生活。

【フローライン】^{Fraulein} (獨) 令嬢、お嬢さん、娘

【プロクラメーション】^{Proclamation} (英) 發布、

布告、宣告、公告。

【ブローチ】^{Prooch} (英) 襟止、襟止針。

【プログラム】^{Program} (英) 番附、番組、順序書。

【プロゼイック】^{Prosaic} (英) 殺風景とか没趣味とかの意に用ゐる、散文的。

【プロセス】^{Process} (英) 通過した道程、過程。

【フロック】^{Flock} (英) 撞球用語の一、まぐれあたり。

【プロテック・パッド】^{Plotting pad} (英) 厚紙の上に吸取紙を挟んだ事務用具、吸取紙板。

【プロット】^{Plot} (英) ①地區 ②陰謀、策略 ③戯曲、小説などの脚色。

【プロテクター】^{Protector} (英) ①保護者 ②野球の捕手の胸當、保護器。

【プロテスタント】^{Protestant} (英) ①舊教に反抗して起つた新教徒を呼ぶ稱 ②抗議する、異議を唱へる意。

【プロパガンダ】^{Propaganda} (英) ①傳道教會、布教團 ②輿論傳道、宣傳運動、新聞傳道、近頃は宣傳の意味に用ゐられる。

【プロバビリティー】^{Probability} (英) 見込、有望、可能性、事實らしさ。

【プロフヘジナル】^{Professional} (英) ①商賣人、

女人クワット、専門家 ③報酬又は褒賞を目的とする競技者。

【プロペラー】^{Propeller} (英) 飛行機、または汽船等の推進機。

【プロマイド】^{Promide} (英) 不變色素面臭素シタツ紙寫眞、轉じて俳優・風景等を端書形の印畫紙に焼き付けたものをいふ。

【プロマイド引伸法】^{プロマイド} 臭素紙を用ゐてする寫眞焼のばし焼付法。

【プロモーター】^{Promotor} (英) 會社などの創立者をいふ。

【プロモート】^{Promote} (英) 助長する、増進する、手傳ふ。

【プロレタリアート】^{Proletariat} (佛) プールジョアジの對で下流民、賤民、最下層階級、無産階級、労働階級。

【プロレテール】^{Proletaire} (佛) 本來は古ローマの最下層民といふ意味であるが現在はプロレタ

リアートに属する人々を個人的に指していふやうになつた。

【プロローグ】Prologue (英) 正しくはプロローグと發音する、序言、序曲、開會の辭。

【不渡】フワタリ 預金準備がないのに一時逃れのため小切手や爲替手形を振出した場合に銀行がその支拂を拒絶することを云ふ、此の場合に銀行は取引者に取引停止を通知し手形交換所に届出ると交換所で一般に發表するのを不渡處分と云ふ、此の處分を受けた者は向ふ二年間組合銀行と取引は出来ない。

【雰圍氣】フンキキ Atmospher (英)の譯 その邊りの空氣・情緒・氣分。

【分化】フンクワツ Differentiation (英)の譯 單純なものに分れて複雑となり或は進化すること。

【文化】ブンクワツ 進化した學術・文化の全相、即ち科學思想と藝術味と精神の陶冶を渾合コングラした人間生活の全過程。

【文化主義】ブンクワツシユギ 人類の精神的・物質的の兩方面に渡つてその全體の進歩と發達とを期する主義である、即ち文化を以て社會生活の最高標準とする主義。

【文化生活】ブンクワツセイキツワツ 吾人の生活を舊來の形式より脱し近代的の科學を應用し且つ藝術味を豊かにする生活 ①新らしがりをのみ喜ぶ皮相的な西洋かぶれの生活。

【文化村】ブンクワツムラ ①文化的の設備を備へた住宅街又は村 ②安價な文化生活憧憬者達の群居する洋風づくめの住宅地。

【文藝】ブンゲイ 文學と狹義の藝術をひつくるめて云ふ言葉であるが或る場合には文學のみに用ゐられる又或る場合には藝術全體のことに用ゐられる。

【文藝批評】ブンゲイヒヒヤウ 文藝上の作品または作家に對する批評のこと。

【文藝復興】ブンゲイフクコウ Renaissance (英)の譯 歐

【文化主義】ブンクワツシユギ 人類の精神的・物質的の兩方面に渡つてその全體の進歩と發達とを期する主義である、即ち文化を以て社會生活の最高標準とする主義。

【文化生活】ブンクワツセイキツワツ 吾人の生活を舊來の形式より脱し近代的の科學を應用し且つ藝術味を豊かにする生活 ①新らしがりをのみ喜ぶ皮相的な西洋かぶれの生活。

【文化村】ブンクワツムラ ①文化的の設備を備へた住宅街又は村 ②安價な文化生活憧憬者達の群居する洋風づくめの住宅地。

【文藝】ブンゲイ 文學と狹義の藝術をひつくるめて云ふ言葉であるが或る場合には文學のみに用ゐられる又或る場合には藝術全體のことに用ゐられる。

【文藝批評】ブンゲイヒヒヤウ 文藝上の作品または作家に對する批評のこと。

【文藝復興】ブンゲイフクコウ Renaissance (英)の譯 歐

【文筆勞働】ブンビツラウウドウ 文を賣り筆を持つ勞働者の仕事の意、新聞・雑誌記者の仕事。

【粉末鶏卵】フンマツクイラン 鶏卵のエキスだけ取つて粉末にした滋養食料品。

【文明】ブンメイ Civilization (英)の譯 精神・物質の兩方面から人間生活を眞・善・美の域に達せしめる状態とその過程。

【文明批評】ブンメイヒヒヤウ 時代の思潮や文化の發達に關して人文的方面の價值や傾向を批評すること

【文明批評家】ブンメイヒヒヤウカ ①文明批評を試みる人 ②高級な新聞記者。

【兵士學校】ヘイシガクカウ 歐洲大戰中歐洲の列強では兵力増加のために能ふ限り壯丁を戦線に送り出したが少しも陸軍式教養を受けてない所から特に各戦地に學校を設け軍事教練を行つた。

【兵器局】ヘイキキョウ 陸軍省に屬し軍需工業動員及

洲中古の暗黒時代を脱して中央集權の確立と共に一旦廢れた學藝が科學思想の勃興ボウコウにつれて再燃し黄金時代を作り出したことをいふ。

【紋士】フンシ くだらない自稱文士の多く出るころから冷笑的に云つた語。

【文士劇】ブンシゲキ 俳優のみで演ずる劇では如何に科白が巧妙でも作者の氣分をそのまま表現することが出来ないといふ見地から劇作家・小説家・劇評家などが自ら演ずる劇をいふ。

【文士講談】ブンシカウタン 文士にして新講談を試み雑誌・新聞等を賑はして居る、その講談のこと。

【文士村】ブンシムラ 東京の目白臺・女子大學裏一帯の地域に文人が多く住むところから名づけられた語。

【文壇】ブンダン 文士や文學者の關係する全活動範圍

【文壇與太話】ブンダンヨウバナシ 文壇のヨダリストが書く無駄ばなし。

【分筆】ブンヒツ 一筆の地所を幾つにも分割すること。

び造兵廠の設備に關する事項・通信・鐵道・航空
用器具等に關する事項を掌る。

【米穀證券】米穀証券 米の需給調節を目的とし
政府が民間から米を買入れる時に發行する證券
で短期國債の一種。

【米松】マイツ 米國産の松、震災以來盛んに輸入さ
れて居る。

【平民宰相】ヘイミンサイシャク 爵位のない政治家が總理
大臣の印綬を帯びたことをいふ語。

【平民食堂】ヘイミンシヨクダク 社會政策の一方法として
當局又は篤志家が栄養本位と實費主義で經營す
る食堂。

【平民病院】ヘイミンビヤウケン 無産階級の人々を實費に
て親切に診断・療治する病院のこと。

【平面描寫】ヘイメンベツシャ 立體描寫に對する語、事
物の經過を平面的にありのまゝに描きかつ人物
も眼に映じたまゝ現れた丈けを描きその心裡
に立入つて説明しないで内面はその裏に暗示す

ると云ふ描き方で主觀を斥けた客觀的の描寫を
いふ。

【ペインター】Painter (英) 畫家、畫工。

【ページェント】Pageant (英) 本來は山車・車舞
臺・華やかな見世物等の意であるが近頃は郊外
や原野などを舞臺として劇の實演をする所謂野
外劇をいふやうになつた。

【ベース】Base (英) ①野球用語の一、壘 ②音樂用
語では最低奏唱 ③建築用語としては柱下の盤
(基礎部)又は記念碑・銅像などの臺盤をいふ。

【ベース・ヒット】Base-hit (英) 野球用語の一、安
打して壘を得た數、壘打。

【ベース・ボール】Base-ball (英) 野球のこと、略
してベースとも云つて居る。

【ベース・ポリスト】Base-ballist (英) 米國の新語、
ベース・ボールをする人と云ふ意。

【ペーパー】Paper (英) 新聞紙・紙・商標、または
名を記した紙。

【ペーパー・カバー】Paper-cover (英) 美しい模
様などを抜き出した縮紙で洋食に使ふナフキ
ンや花束を包んだりするとき用ゐる。

【ペーヴメント】Pavement (英) 舗道、敷石、本
來は石を敷くのであるがコンクリートや木煉瓦
の道路をも含まれる。

【ベゴニヤ】Begonia (英) 秋海棠科に屬する植
物、花と葉が色々變化するので人々が觀賞する。

【ペーザント・アート】Peasant art (英) 無技巧な
原始的の藝術品、農民藝術。

【ペシニスム】Pessimism (英) 厭世主義と譯する

【ベスト】Best (英) 至善、最良、極力などの意で
ある、極力努力すると云ふのを「ベストを盡す」
など云ふ。

【ペスト】Pest (英) 鼠から傳播する最も恐ろしい
傳染病。

【ベター・ハーフ】Better-half (英) 夫が他人に對
し自分の妻を呼ぶ言葉、愛妻。

【ペダンティック】Pedantic (英) 學者ぶる、學問自
慢、物議りぶるなどの意。

【別荘】ベツチャ (俗語) 便所を上品に云つた語。

【ベチカ】Pecca (露) 寒國地方の住宅内に備へ
付けてある暖房装置のこと。

【ベット】Bet (英) 正しくはフアットと發音する、
牛から採つた脂肪を固めたもの。

【ベット】Pet (英) 愛人、愛するもの、愛物、秘藏
ツ子。

【ベッド】Bed (英) 寢臺・寢床などの意、また花壇・
苗床ナド、海底・河底などの意もある。

【別途積立金】ベツトウキタキ金 銀行・會社などが利益
金の中から或る目的のために保留して置く積立
金的一種。

【ヘッド・ピース】Head piece (英) 書物・雜誌など
の中で紙面の上段に横に入れたカットのこと。

【ヘッド・ライト】Head-light (英) 汽車・汽船・自
動車などの前部に掲げて行く先を照らす燈火のこ

と、前燈、檣燈。

【ヘッド・ライナー】Head-liner (英) ①呼びもの、名代の藝人 ②新聞の見出しを書く人。

【ヘッド・ライン】Head-line (英) 新聞・雑誌の標題や見出しのこと。

【ヘドニズム】Hedonism (英) 快楽主義と譯する

【ペニー】Penny (英) 化學的作用で屑絲を精製し上等の絹絲に代用するもの。

【ヴェニア板】Veneer (英) 正しくはヴィニリアと發音する、粗材の上に木目の美しい良材を薄く、

リぬいて張り付け大きな一枚板にしたもの、天井や床の間やドアなどに使用される。

【ペパーミント】Peppermint (英) 青い酒と譯する、その項を見よ。

【ベビー】Baby (英) 乳呑兒・赤ん坊、また球などを靜かに打つか赤ん坊扱ひにするなどの意もある。

【ヘビーをかける】Heavy (英) 全力をつくす、急速力を出す、一生懸命になる。

【ベビー・キネマ】Baby-kinema (英) 簡便本位の素人シラウト用小型活動寫眞機で撮影器と映寫器とがある、パター活動寫眞會社で發賣して居るのでパター・ベビーとも云つて居る。

【ベア】Bear (英) 相場用語の「延取引の賣方」

【ベラゴロ】オペラごろつきの略稱。

【ヘラ黨】タタオペラ黨を略してヘラ黨といふ、歌劇女優の尻を追ひ廻はす不良男子達をいふ、歌劇オペラを見よ。

【ヴェランダ】Verandah (英) 西洋建築の外壁から突き出した臺、露臺、日本式には濡縁ヌレエ

縁側のこと、ペルコニーを見よ。

【ヘリオトロフ】Heliotrope (英) 花の名、四季を通じて咲き切花として愛觀され白または紫で佳香ある西洋花。

【パリスコープ】Periscope (英) ①概略、概見 ②潜水艦が水中にあつて水上の物を見る反射器、

潜望鏡。

【ヘル】Hell (英) ①黄泉ヨミ、冥府 ②地獄、牢獄 ③賭博の宿。

【ベル】Bell (英) 鈴、鐘、電鈴、一般にベルと云へば呼び鈴のこと。

【ウェルツツ・メツル】Welschmerz (獨) 世界苦と譯する、その項を見よ。

【ベルト】Belt (英) 帯といふことであるが機械用語としては調革、軍事または地理用語としては地帯或は海峡などをいふ。

【ベルト・プーラー】Belt-pullay (英) 滑車、車の周りに溝を作り繩などをつけて廻すもの。

【ヘルメット】Helmet (英) 本來は兜カブトのことであるが今は眞夏に被る縁ヘリが厚く狭い白布製のヘルメット帽のことをいふ。

【ベルモット】Vermoth (佛) 洋酒の一、西洋婦人が飲用する甘味のある酒。

【ベルリンから東京まで】トウキョウ 歐洲大戦前獨逸

ミュンヘンで發行するノイエステナハヒテリン新聞が言ひ出した言葉で伯林から東京迄の地帯をその勢力範圍にしやうといふ示威的の標語。

【偏狂】ヘンキヤウ Monomania (英) の譯 近代人の精神上のある變態現象で放火狂や盜癖症や誇大妄想狂などがその一種である。

【變質者】ヘンシツシャ 先天的に精神及び肉體が不健全で何んでもないことに怒つたり泣いたりして狂態を演ずる人、また變態性慾者などもこれである。

【變態心理】ヘンタイシンリ 常態でない狂的又は病的の心理状態を云ふ、之れは近代人の特質であつて生活の激しい刺戟や勞苦から精神に變動を來しこれが病的になるのである、天才・精神病者または犯罪人なども變態心理者である。

【變態性慾】ヘンタイセイヨク 變態心理に伴つて起る一種の病狀で同性愛・恐怖病・偏狂などである。

【便達屋】ベンタツヤ 臨時に安い勞銀で住宅の掃除・

使ひ歩き・家事の手傳ひなどを業とする者。
【ベンチ】Bench (英) 腰掛・公園などに設けられ
てある長し腰掛。

【編輯局】ヘンクキョク 新聞・雑誌などで原稿の蒐
集・整理・組合せをする室、ニュースを批判し論
評する部、又出版業者の編輯部。

【ペンション】Pension (英) 養老金、年金、恩給金、
扶助金。

【ペンタスロン】Pentathlon (英) 現代語として
は走幅飛・槍投・二百米競走・デイスカス・千五百
米競走等五種競技をいふ。

【ペンニー】Penny (英) 片、英國の通貨單位の名
稱でその價值は我國の四錢餘りに當る、また小
錢の意味にも譯される。

【ペンの持主】モチヌシ 良い文章を書く人を良いペ
ンの持主といふ、「良いペンの持主」といへば巧
みに文を作る人の意味である。

【ペンブロック】Pen-block (英) ペンを置く臺で

投げてでも毀れる氣遣のない硬質の木片をくり抜
いたものでペン置きと文鎮とを兼ねたもの。

【ヘンペック】Hen-pecked (英) ヘン・ペックトを
略していふ、細君の尻に敷かれる夫のこと、嗚天
下の意で妻の云ふなり次第になることをいふ。

【愛名著作物】ヘンメイショクブツ 著作物に著者の眞實
の氏名を掲げず他の雅號を掲げて發行し、また
は興行する著作物をいふ。

【片務契約】ヘンムクイキョク 双務契約の對、契約成立の
當時當事者の一方のみが義務を負ふ契約で贈與
の如きはその好適例である。

【辨理公使】ベンリコウシ 公使中の最下級に位するも
ので通常全權公使の駐在しない交際國に派遣さ
れる。

【便利瓦】ベンリカハヒ アスファルトを毛製材料に浸透
し製する屋根材で強靱キヤウジンにして防水・耐酸
の効力が強い、また敷物としても用ゐられる。

【便利屋】ベンリヤ 便達屋の項を見よ。

ホ

【ボイコット】Boycott (英) 非賣同盟、購賣拒絕同
盟、取引拒絕。

【ボイラー】Boiler (英) 蒸氣釜、蒸氣機關、汽罐等
と譯する。

【ボイル】Boil (英) 煮る、煎煮、沸騰。

【ポインスマン】Pointsman (英) 鐵道の運轉手、
ポイントを動かす人。

【ポイント】Point (英) ①點、一點 ②線路轉轍器

③爲替相場の高下の刻み ④ポイント活字の略。

【ポイント活字】ポイントカウジ 一時インチ平方の七十二分の
一を一点ポイントと定めそれによつて作られた新

活字で七十二分の八の大きさの活字を八ポイント

七十二分の九の大きさの活字を九ポイントと呼ぶ

式である。

【ポエト】Poet (英) 歌人、詩人、詩家等の意。

【ポエトリ】Poetry (英) 詩、作詩法、詩賦、

韻文キンプシ。

【ポエティカル】Poetical (英) 詩趣ある、詩的な、
詩人風な。

【ポエティック】Poetic (英) ポエティカルと同じ、
詩的な、詩趣ある、詩人的。

【ポエティックス】Poetics (英) 詩學、詩法の意。

【ホー】Hoe (英) 西洋鋤。

【ボーイ】Boy (英) 本來は男の子、少年の意であ
るが轉じて少年給仕や相當の年齢の男子給仕の

ことをいふ、近來はカフエーやレストランな
どの女給仕をもボーイと呼ぶやうになつた。

【ボーイス・スカウツ】Boys' Scouts (英) 義勇少
年團と譯する。

【蜂高生活】ホウカウセイカツ 大都會の生活に於て一家
族が一軒の家を持つて居るのは不經濟であるの

でアパートメント・ハウスを建築しその中を一
室一室に仕切つて貸し附けて居る、それで一つ

の大きな建物の中に部屋が澤山あり何十組とい

ふ家族が住み丁度蜂の巢に似て居る所からその名が起つた。

【ボーカーリスト】Vocalist (英) 唱歌者、聲樂家。

【ボーカー】Vocal (英) 口上の、有聲の、轉じて歌、唱歌。

【ボーカー・ソロ】Vocal Solo (英) 獨唱のこと。

【ボキシング】Boxing (英) 拳闘と譯する、兩手に皮の手袋の様なものをはめて二人で互ひに突き合ひ審判官が一・二・三を十まで數へる中に突き倒された者が立ち上ることが出来ないときは負けとなる競技で米國では國技と云はれて居る。

【箒】^{ホウキ} (俗語)花柳界にて浮氣者を箒といふ。

【ボギー式】Bogie (英) 汽車・電車の車輪取付けの一様式で車輪が車軸に固着せず運轉するときは車輪丈けが廻つて車軸が廻らず曲り角に於ては自由自在に何れの方面にも向く装置で脱線の危険が少なく動搖を防ぐ特色がある、車體の長いのを皆ボギー式の様にして居る者が多

い様だがそれは間違ひで車體が長いからボギー式にして脱線を防ぐのである。

【俸給衣食者】^{ホウキイシヨクシヤ} Salary man (英) の譯

月給によつて生活する一種の階級、普通の場合には精神労働者の異名であるがサラリー・マンが本來の語である。

【ホーク】Hawk (英) 正しくはフォークと發音する、肉又ニクサシ。

【ホーク】Hawk (英) 野球用語の一、投手が投球に當つて反則することをいふ。

【奉仕的賣出】^{ホウシテキウリダシ} 社會奉仕といふ語から生れたもので割引賣出し・お客本位の賣出しなどの意である。

【ポーション】Portion (英) 分前、一人前、部分。

【ポーズ】Pose (英) 英①提出する、言ひ出す②閉口させる、難問にて困らせる③ある姿勢を取るといふ意味から姿勢・態度などと云ふ意になつて畫家や彫刻家が使ふモデルの姿勢にもいふ。

【鬼灯強盜】^{ホウツキガウタウ} 米國映畫によく出る強盜で白または黒装束をして鬼灯形の頭巾をかぶつて居る所から此の名が起つた。

【ホーステス】Hostesses (英) 女主人、旅館などの女將。

【ホース・パワー】Horse-power (英) 馬力と譯する、その項を見よ。

【放送無電】^{ハウサウムデン} 放送無線電話又は電信の略稱で特定の許可を受けた受信設備のある所に無線電話を放送すること。

【ポーチ】Porch (英) 門、車寄、玄関、庭に面した廊下。

【ボート・ツレイン】Boat-train (英) 船附列車と譯する、その項を見よ。

【ポートワイン】Portwine (英) 佛國産の滋養強壯用葡萄酒。

【ボーナス】Bonus (英) 賞與金、特別割當金。

【棒値】^{ボウネ} 相場用語の一、株式・米穀の暴落した

ときに賣買した人の破綻を防ぐために取引所が双方の仲に入つて適宜に値段をきめる、その値のことをいふ。

【ホネムーン】Honeymoon (英) 正しくはハニムーンと發音する、蜜月とツキのこと、西洋では結婚後一ヶ月の間新婚旅行をする。

【ボード・ドル】Vaudeville (佛) 唄や踊の入つた喜劇のこと。

【ボート・レース】Boat race (英) 短艇競漕。

【ホープ】Hope (英) 望み、希望、願望、期待。

【ホープフル】Hopeful (英) 望を抱ける、有望な。

【ホープレス】Hopeless (英) 絶望的、望みない。

【邦文タイプライター】^{ハクブン} 杉本京太氏の發明にかゝるもので數字・假名・實用漢字を歐文タイプライター式の様にか案した印字器にして一時間に二千字餘を印書する。

【泡沫會社】^{ハワムツクワイシヤ} 基礎が薄弱で泡の如く吹けば飛ぶ様な臆腫マクロウ會社をいふ。

【ホーム】Home (英) 家庭のこと。
 【ホーム・イン】Home in (英) 野球用語の一、攻手が安全に本塁に入ること。
 【ホーム・シック】Home-sick (英) 懐郷病、故國を出で、遠く異國に赴いたときに起る一種の憂鬱病で婦人のヒステリーと同じ症状を呈し激しくなると狂人になるが故國に歸れば忘れたやうにケロリと治るさうである。
 【ホーム・ベース】Home-base (英) 野球用語の一、本塁。
 【亡命客】Pariah (英) 自國政府の迫害のために自國に安住することが出来ず難を他國に逃れて居る名士をいふ。
 【ホームラン】Home-run (英) 野球用語の一、打者の一打によつて一氣に一壘・二壘・三壘を経て本塁に安全に入るをいふ。
 【暴利取締令】Bokkuri-shimari-rei 米穀その他特定の物品に付て市價に急激な變動を起さしめて暴利を得やうと企て買占めをしたりまた賣惜みをする者を取締る法令のこと。
 【暴力團】Bouryokudan 交渉ごとや係争ごとに付て腕力で押通してその目的を遂げやうとする人々の仲間、近頃當局に於てはこれを根絶するため嚴重に取締つて居る。
 【ホール】Hall (英) 公會堂、會館、食堂、舞踏場、談話室、社交室。
 【ポール】Pole (英) 柱、竿、また電車の屋根に取付けてある電流を受ける棒。
 【ホールド・アップ】Hold-up (英) 米國で白晝に行はれる追剥・強盗でピストルを向け「手を挙げろ」と云つて兩ポケットなどを探がす所からこの名を付けたのである。
 【放浪生活】Hawaiseitaku 地位や名譽や財産を捨てて自分の思想に生きやうとして地方から地方へとさすらひ歩く人の状態、また一定の方針も理想もなくブラ／＼とその口／＼を送つて居る人

の生活をもいふ。
 【ボカビュラリー】Vocabulary (英) 語彙、用語數、用語範圍。
 【北極】ホクキョク (俗語) 東京の吉原のこと。
 【保護少女】ホゴセウジョウ 保護少年を見よ。
 【保護少年】ホゴセウネン 不良少年のことであるが「不良」といふ文字は一般に不快な念を起させまた少年自身にもよろしくないといふところから各警察署などでは「保護少年」「保護少女」と改めたのである。
 【保證準備】ホシヨウジュンビ 貨幣發行制度の一、或る一定額以上の兌換券ダウラケン (銀行券) を發行するにはそれに相當する丈の正貨を準備しなければならぬこれを保證準備といふのである、我日本銀行では一億二千萬圓まで確實な債券や商業手形を準正貨として用ゐることが出来る、此の制限を超えることを制限外發行といふ。
 【ポジション】Position (英) ①形勢、姿勢 ②地位、身分。
 【ポジティブ】Positive (英) ①眞實、確實、實在 ②電池の陽板ヤウバン、寫眞陽畫の積極的、斷乎、斷言、肯定、強情を張る。
 【ポジティヴイズム】Positivism (英) 積極主義、實證論、實驗哲學。
 【星の泪】ホシノナミダ 星に涙がある譯でもないが秋から冬へかけて夜の空をながめると澤山の星が泪の凍えたやうに青く光つてこぼれさうな有様を表はした言葉である。
 【ポジブル】Possible (英) 可能性、可能、有り得べきこと、出来得ること。
 【ポスター】Poster (英) 披露廣告、貼札、活動、芝居その他廣告のための貼札をいふ。
 【ポスト】Post (英) 庭球用語の一、ネットを張る柱で高さ一メートル弱のもの。
 【ポスト】Post (英) 正しくはポウスツと發音する、郵便、郵便局、郵便函。

【ポスト・イムプレッションニスト】Post-impressionist (英) 後期印象派に属する人々。
 【ポスト・インプレッションニズム】Post impressionism (英) 後期印象派と譯する、その項を見よ。
 【ポスト・カード】Post-card (英) 郵便葉書。
 【ホスピタル】Hospital (英) ①病院 ②教育所。
 【細棹】ホツゴホ 太棹フトゴホの對、常盤津、清元キヨモト、新内・歌澤・端唄などに引く普通の三味線。
 【ポタージュ】Potage (佛) 吸物、肉汁。
 【ホチキス】Hotchkiss (英) 簡便な紙綴器の一、ハンドルを廻すと直ぐ紙をとちる仕掛けになつて居る、書翰用紙や原稿紙をとちるに用ゐられる。
 【發起設立】ホツキセツリ 同時設立ともいふ、株式會社の創立に當つて一般に株式を募集せず發起人一同で引受け拂込を終り直ちに創立總會を開き設立登記をすることをいふ。
 【ボックス】Box (英) 洋式劇場の觀覽席・家族同伴席等小人数に仕切つた席をいふやうになつた。

【ホッケー】Hockey (英) 正しくはホッキーと發音する、ステッキにて球を打つて敵陣に入りゴールに入れて點を取る遊技である、我國でも近頃盛んに行はれる。
 【ポケット・マネー】Pocket-money (英) 小遣錢。
 【没線描法】ボツセンベツワフ 繪畫上の用語の一、輪廓の線を描かずに色彩のみで描く仕方て日本畫では新しい描法としてこの名が起つた。
 【ホット・ケーキ】Hot-cake (英) メリケン粉に鶏卵と香料をまぜてこかしこれにバターをひいて鐵板の上で焼き蜂蜜やバターをつけて食べる。
 【ホット・ハウス】Hot-house (英) 寒地で熱帯や暖地の植物を培養し、また冬の寒氣を防ぐために設けた建物、温室。
 【没理想】ボツリツカク 理想があつてもそれを隠して表現しないといふことで無理想とは區別される、文藝上についていふと現實の問題をありのままに取扱ひ理想を伴作中に表はさずに暗示に止める

ことである。
 【ホテル】Hotel (英) 宿屋、旅館。
 【ポピュラー】Popular (英) 流行的、通俗的、廣く人に知れてゐる。
 【ホブド・ヘア】Hobbed hair (英) 斷髮のこと。
 【ポプラ】次と同じ。
 【ポプラス・アルバ】Populus alba (英) 白楊、俗にポプラといふ、生育の早い植物で二三年の中に見あげるやうに大きくなる、街路や公園などに植ゑるに適して居る。
 【ポプリン】Poplin (英) 絹毛織物の一種。
 【ボヘミアン】Bohemian (英) 地方から地方へとさすらひあるき放浪生活をする人。
 【ボボ哲】ボボ 船員間に行はれる隠語、ボボとは女の陰部のことで女陰哲學の略、航海中彼等はこの話に夢中になるさうである。
 【ポリガミー】Polygamy (英) 一夫多妻、一夫多妻主義。

【ポリガミスト】Polygamist (英) 一夫多妻主義者
 【ポリシー】Policy (英) 政略、政策、方針。
 【ポリスマン】Police-man (英) の略 警官、巡查、また警察署や交番所の意味にも用ゐられる。
 【ホリデー】Holiday (英) 日曜日以外の休日。
 【ポリティシアン】Politician (英) 政治家、政治家、政治學者。
 【ポリティックス】Politics (英) 政治學。
 【ぼり屋】+ 暴利をむさぼる商人などを略していふ語。
 【ボルシェヴィキ】Bolshevik (露) 多数派の意味、一八九七年に結社した露國社會民衆労働黨が一九〇三年に大會を開いたとき意見が二分して有産階級の討滅・労働者の執政・中央集權を主張する多数派と有産階級との妥協・地方分權を主張する少数派に分れ前者をボルシェヴィキと稱し、労働者の執政・革命的行動・非國家主義を標榜し國家的施設を爲して今日に至つた。

【ポルト】Volt (英) 電圧の単位で抵抗一ホムの導線にアムペアの電流が通ずるときの導線兩端の電位差のこと。

【ボルドー】Bordeaux (佛) 葡萄酒の一種。

【ボルドー・ワイン】Bordeaux-wine (佛) 佛國のボルドー市から産出される葡萄酒。

【ホルマリン】Formalin (獨) 殺菌力サキリッポある薬、防腐劑。

【ボレー】Volley (英) 庭球用語の一、相手の打つた球を地べたに付けずに打返すこと。

【ボロ市】イチ年中行事の一、廢物利用の目的で歲末にボロ屑の賣買をする市場、東京府下世田ヶ谷町のボロ市は有名なものである。

【ホワイト】White (英) ①白色、白 ②賣笑婦を「白首」または「ホワイト・スレーヴ」といふ所からその隠語にも用ゐられる。

【ホワイト・スレーヴ】White slave (英) 淫賣婦、賣笑婦。

【ホワイト・ハウス】White house (英) ①白色の建物 ②北米合衆國大統領の官舎。

【ホワイト・ハンド】White-hand (英) 白手組、黒手組が米國に横行したとき米國各都市に居る伊國人が黒手組を撲滅ボクッとするために白手組といふものを組織した。

【ホワイト・プラーグ】White-plague (英) 白死病、ペストを黒死病といふのに對して肺病を白死病といふ。

【繙案】ホニアン 原作を焼き直し一種の作とすることとで文學物に多い。

【本體】ホニタイ Substance (英) の譯 實體ともいひ、我々が日常見聞する所の一切の現象は一つの姿に過ぎないものでその奥には眞の實相がある、この實相を本體といふ、現象は本體から派生したもので變化して止むときはないけれどもその奥に認められた本體は不變である、これは感覺的には認められないもので理性に依つてのみ認

められるものである。

【ポンチ】Punch (英) 人形芝居のおどけもの、これから漫畫をポンチ畫といふやうになつた。

【ポンド】Pound (英) 英國の重量單位、一ポンドは十六オンスで我國の百二十匁七十二分である。

【ボンネット】Bonnet (英) 婦人用の縁フチなし帽。

【本能】ホニハ Instinct (英) の譯 生物が生れつきもつて居る性能で善惡の區別なく自我の欲するままに動くことをいふ、鳥類の巢を作り嬰兒の母乳を吸ふが如きは皆本能の力によるのである、また自然的の欲望である食欲・性慾・知識慾をも本能といふ。

【本能的生活】ホニウケキセイクワツ 生れながらの本能を満足させるために人々が自分の安全と幸福を求め生活。

【ボンボン】Bon bon (英) 外側を砂糖で作りに味淋、または蜜柑水などを入れた菓子。

【繙譯】ホニヤク Transliteration (英) の譯 或る國語で

書いた文章を他の國語の文章に譯すこと、原語を直接に逐字的に譯したものを直譯といひ、原書の意味だけ取つて原語に拘泥しないで譯したのを自由譯といふ。

【本讀み】ホニヨミ 演劇用語の一、實演の前に俳優が集つて脚本を見合せ色々相談したり研究したりすること。

【本塁打】ホニキダク 野球用語の一、ホームラン・ヒットの譯、その項を見よ。

マ

【マイクロン】Microphone (英) 正しくはマイクروفオンと發音する、本來物理學上の用語であるが今日ではラヂオ用語として用ゐられて居る、放送室にて放送者の音聲を受けこれを放送する放送擴聲器のこと。

【マイナス】Minus (英) 數學上の語で引き去る、減ずる、不足するなどの意味であるが轉じて低

【馬兒の意味にも用ゐる、また負債・借金の意味にも用ゐられて居る。
 【曲り屋】マカリヤ(俗語) 相場などで見込が外れて意外の損失をする者。
 【マーキリー】Mercury(英) ①羅馬神話で有名な商業の保護神 ②天文学では水星。
 【マカロニ】Macaroni(伊) 餛飩の一種であるが普通のうどんより太くゴム管のやうに中が空になつて居る。
 【まく】(俗語) 伴ッれ歩いてはぐらかすこと、「尾行をまく」「馬をまく」などいふ。
 【マーク】Mark(英) 記號、商標、目標、附札、また集會の際に胸に付ける造花。
 【マーク・ダウン】Mark-down(英) 附札ツケツギより値段を引下げて賣出すこと、値下賣出し。
 【マーケット】Market(英) 市場のことであるが日常語としては廉價販賣所、または出張販賣所の意味に用ゐられて居る。

【マーケット・プライス】Market price(英) 市價、市場價格。
 【マザー】Mother(英) 母、おかあさま、小兒の言葉ではママ。
 【増敷】マシキ 相場用語の一、株や米相場の變動が激しいときにその危険を防ぐため取引員が賣手、または買手から更に證據金を取ること。
 【マーシャル・フィールド】Marshal field(英) ①陸軍元帥 ②米國シカゴ市にある有名なディパートメント・ストアの名。
 【マーチ】March(英) 音楽用語の一、行進曲、進行曲、行軍。
 【マーチヤント】Merchant(英) 商人。
 【マーブル】Marble(英) 大理石、彫刻家は單に「石」といふ。
 【まからず屋】マカラズヤ 人々の注意を惹くためには奇抜な廣告が必要であるといふ所から現はれた商店の名で品物は良いから値段は一切まけない

といふことを標榜したものである。
 【魔球】マヤ 野球競技の俗語、投手がカーブで打者を苦しめたときの球。
 【マキシムム】Maximum(英) 最大量、最大限度、最高價格。
 【マキシム】Maxim(英) ①格言、金言 ②規矩 ③自明の理 ④數學上では公理。
 【マネキン・ガール】 最近現はれた婦人職業の一、東京の三越・白木屋・松屋・松坂屋などの大呉服店のショー・ウインド(商品陳列窓)内で婦人向新流行の衣裳を着け盛裝をこらしてお客や通りすがりの者に見せる一種のモデル女のこと、從來の人形ではお客の購買心をそよるに足らぬといふ所から妙齡の婦人を使ふやうになつたので漸次盛んになる傾向がある。
 【マグネシウム】Magnesium(英) 金属元素の一、銀白色を呈し加熱すると強い光を出して燃える寫眞撮影のときに用ゐられる。

【マグネット】Magnet(英) 磁石ツキタのこと。
 【曲げる】(俗語) 質を入れること。
 【マザース・デー】Mother's day(英) 歐洲大戰に出征した米國の兵士が故國の父母に普信をしやうとしても思ふ様に通信が出来ないので政府で月一回マザース・デーといふものを設け郵便を一束にして本國に送る様にした。
 【マジョリカ焼】Majolica(英) 西洋の樂燒ともいふべきもので色彩の美しい陶器である、地中海マジョリカ島の名産なのでこの稱があるが近頃では和製のインク壺やインク皿などが出来て居る。
 【マス】マスターベーション(Masturbation) 英の略、手淫の隱語。
 【マスク】Mask(英) 假面と譯する、舞踏用では目ばかりの面、野球では捕手のかぶる面のこと、衛生用として鼻と口を被ふもの、またデット・マスクの略。

【マスター】Master (英) 主人、親方、戸主、校長、船長、大家、學生等の意。
 【マスター・オブ・アーツ】Master of arts (英) 文學士、略して(A. M.)と書へ。
 【マスター・オブ・ロー】Master of law (英) 法學士、略して(L. M.)と書へ。
 【マスター・オブ・ビジネス・アドミニストレーション】Master of Business Administration (英) 商學士、略して(M. B. A.)と書へ。
 【マスターズ・アイ】Master's eye (英) 「雇主の眼」といふ意味で労働者が骨惜しみをして怠けるときに邪魔になる主人の眼。
 【マソチスム】Masochism (英) 情慾狂者、此の言葉は奥太利の小説家ザッケル・マソツホがその小説中に描き出した主人公の情慾性精神狀態の研究から起つたもので異性に暴虐的虐待され傷害を加へられて一種の快感を受ける精神病者のことである。

【マタギ米】マタギマイ (俗語) 外米の別名、内地米・朝鮮米・支那米・蘭貢米をそれ／＼分けて鶏にバラまいてやると他の米には眼も呉れずいきなり内地米に飛びつくさうである、つまり鶏が外米をまたいて行く所から名づけたのである。
 【マダム】Madam (英) 奥様、夫人。
 【マチャベリスム】Machiavellianism (英) 伊太利の政治家マチャベリーの執つた外交政策で勝利のみを目的としそのためには手段方法の如何は問はない道徳や情誼などもあつらん眼中にないといふ陰險・陋劣な外交方針である。
 【マチネー】マティネーと同じ、その項を見よ。
 【麻雀】マージャン 支那の骨牌カルタの一、その遊び方が日本の花かるたによく似て居る、近頃盛んに流行し社交遊戯の一つとなつて居る。
 【マティネー】Matinée (佛) 午前、朝の意味であるが日常語としては午後一・二時から五時前後迄開催する芝居・音楽會・映畫會などをいふ。

【松葉精】マツバニキス 松葉は多量に鐵分を含み滋養分を有するので松葉よりビタミンのみを採りこれを精製したもの。
 【マッサージ】Massage (佛) 西洋式のみ療治、按摩術、また美顔術で顔を摩擦することにも用ゐられる。
 【松澤村】マツザムラ 氣のふれた人をしやれていふ語、巢鴨の精神病院が東京府下松澤村に移轉したので「巢鴨行」の代稱となつた。
 【末人】マツシ 超人の反對、習俗・迷信などに惑され易く智・情・意の活動を缺き醉生夢死の生涯を送る人をいふ。
 【マッセー】Masse (佛) 擲球用語の一、曲球キョクダマの一種でキューを立て、球の端をはげしく突きカーブさせて點を取る方法。
 【マッチ】Match (英) ①燐寸 ②競技、競漕、競走。
 【マテリアリスム】Materialism (佛) 物質主義と譯する、唯物論の項を見よ。

【マドロス】Madros (和) 船乗、鑛山人夫など下級労働者の總稱。
 【マドンナ】Madonna (英) 聖母マリヤ、耶穌の母に與へた尊稱。
 【マニア】Mania (英) ①狂、亂心 ②熱狂等の意。
 【マニユースクリプト】Manuscript (英) 手記、寫本。
 【招かれざる客】マネカレザルキヤク 先方から招待を受けないのに押しかけて行く人のこと、新聞社・雜誌社の外交記者などを遠廻しにいふ。
 【マネー】Money (英) 貨幣、金錢、近來學生間では獨逸語のゲルトを隱語のやうに使ふ者が多し。
 【マネージャー】Manager (英) 支配人、監督、親玉、世話人等の意。
 【魔法瓶】マジック 瓶の中に入れた湯や水は二十四時間内同じ温度をもつて居るといふ瓶、構成は二重でその間は眞空であるから熱の傳導が防がれる、旅行や登山などの必需品である。

【Pp】Mama(英) かあちゃん、母親に對する小兒の言葉。

【豆自動車】マシドラシャ 最も小型の自動車で一時間に百哩近い速力が出る。

【豆本】マホカ Bijou-book(英)の譯 極めて小さな書籍、日本の豆本は多く講談やお伽話の類を載せてあつて形は小さいが文字は肉眼で讀める大ききである、西洋の豆本は文字も形に相應して極めて小さく眼鏡で見なければ見えない程の小文字を使用して居る。

【眉唾もの】マユツバ(俗語) 狐や狸にだまされたときは眉に唾をつけると正氣に歸るといふ古い俗語から偽物・疑はしいもの・警戒すべきことなどをいふ。

【マラン・競争】マラン Marathon race(英)の譯 徒歩長距離競走のこと、昔ベルシアとギリシアがマランの原野で戦つたときアテネの兵士がギリシア軍の大勝利を本國に報國しやうとしマ

ランの戦場からアテネまで二十五哩を半日もかゝらぬ中に駆け通してその任務を果たし間もなく死んだといふ實話からこの名が出た。

【マラン・ダンス】Marathon Dance(英) 長時間踊りぬくこと、またダンシング・マランともいふ。

【マルサス主義】マサ Malthusianism(英)の譯 一七九八年英人ロバート・マルサスの唱へた學說で人口の増加は幾何級數的にどん／＼殖えるがこれに要する一般生活必需品の産出量は算術的級數で前者に伴はないから人類は人口増加の爲めに非常な困難に陥るものとしその對策として禁欲と晩婚を唱へ人口の激増と生活必需品供給の缺乏とを調節しやうとする主義である。

【マルチプル・ショップ】Multiple shop(英) 複式店舗は直譯で同店式百貨店といふ方が適當であらう、小賣商店がデパートメント・ストアに對抗するため出來た經營法であるがチェーン・スト

ア(連鎖店)とは違ふのである、複式店舗は會社組織を以て小規模の百貨店を各地に散在せしめ地方に得意先を得やうとする經營方法である。

【マルホーフ式】マルホーフ 至極輕快な圖案の一、ウイナから流行し始めたもので家具や衣服の圖案として用ゐられて居る。

【マム】Mamm 新聞や雑誌などで發賣禁止の恐れある個所に〇〇を伏せ字として用ゐる所からいふを憚ることにつけても用ゐられる、たとへば「あのお嬢さんは〇〇と〇〇だよ」「昨夕の行先は〇〇さ」などいふ。

【マン】Man(英) ①人、人間、人類、大人、小使 ②道徳上・智識上秀れた行爲をする人。

【満飾】マニカシヨク ①軍艦や汽船が祝祭日に赤や小旗で飾り立てること ②轉じて婦人が厚化粧やフグセツとして着飾るさまをいふ。

【マンゴー樹】マンゴー Mango(英) 熱帯産の果樹の一、その葉はつやありて常に青く果實は味ひよく畫

題、または詩材となる。

【満妻】マニサイ(俗語) 日本から満洲へ出稼ぎに行つた男が矢張り日本を飛び出して行つた日本の女と同棲する、満洲でいゝ加減に貰つた満洲だけの妻といふ意味で男か女が内地へ歸るときは埠頭フックや停車場で縁が切れてお別れとなるさうである。

【マンスリー】Monthly(英) 毎月一回定期發行の出版物、月刊雜誌。

【漫彫】マシヤク 漫畫に對する語、藝術的な彫刻でなく世間の實相を諷刺マシヤクして滑稽的に面白味ある彫刻をいふ。

【マンテル】Mantel(英) 白熱瓦斯用の網、瓦斯燈の被覆。

【マンテル・ピース】Mantel-piece(英) 洋室にある壁に造られたストーブ臺、煖爐前飾り、煖爐の上の棚等の意。

【漫展】マシヤク 帝展・院展などに對し漫畫展覽會を

略していつた言葉。

【マント】Mantle、またはマンツルの略、その項を見よ。

【マントー】Manteau (佛) 袖無外套。

【萬鳥足】マヤラシ (俗語) 酒に酔ふてひよろ／＼ふら／＼と足許あやぶく歩くのを千鳥足といふが酔が甚だしくなると足許も段々あぶなくなる所から千鳥足に輪をかけて萬鳥足としゃれていつたのである。

【マンドリン】Mandolin (英) 樂器の一、八絃琴ハチゲレキシ。

【マントル】Mantle (英) マンツル、外套、袖無し外套。

【マナー】Manner (英) 正しくはマナーと發言する、作法、行儀。

【マンナリズム】Mannerism (英) 多く文藝作品に對して使はれる言葉で不變調・千遍一律の意味である、作品の題目は變つて居ても内容はあ

る型に囚はれてその型から脱け出ることが出来ない特殊の癖をいふ。

【萬年床】マンネリコ (俗語) 第一高等學校寄宿舎の名物で敷き放しの寢床。

【萬年新造】マンネリシツウ 年をとつても老けない女、いつまでも若い女。

【漫筆】マシヒツ 思ひのままに書きなぐる文章、漫畫の語にならつた語。

【萬三ツ屋】マンシヤ 千三ツ屋と同じ、其項を見よ。

【マンモニスト】Mammunist (英) 守銭奴、拜金主義者。

【マンモニズム】Mammunism (英) 蓄財主義、拜金主義。

【マンリー】Manly (英) 活潑な、男らしい。

【メーター】Meter (英) メートルと同じ、その項を見よ。

III

【ミーティング】Meeting (英) 會合、集會、集會所。

【ミールズ】Meals (英) 一日中の食事のこと、日本は一日三食であるが英米ではおやつを入れると一日四食になる、朝食は午前八・九時頃、午飯は午後一時前後でその次ぎのおやつは普通お茶に菓子類で午後四時から五時の間にする、晩飯(正餐)は午後七時前後で一日中一番御馳走のあるときである。

【見送る】ミオクル 相場用語の一、相場の前途が騰アがるか下がるか見當の付かないとき賣りもせずまた買ひもせずじつとして相場の成り行きを見て居ることをいふ。

【見返し】ミカヘシ 書籍の表紙をめくつた表紙裏とその對面の頁とをいふ、しかし假とちの雑誌や安本類には見返しはない。

【見返り品】ミカヘリシ 取引用語の一、日本銀行に於て或る銀行に貸付けするとき擔保として受取る有價證券の類をいふ、また普通の銀行で個人

に貸出しするときに受取る擔保品をいふ。
【見込客】ミコキヤク 通信販賣業者用語の一、通販業者の方から得意になつて呉れるものと見込をつけた客の意味である。

【ミザンソロウ】Misanthropy (英) 厭人主義、人間厭ひ、厭世家、不平家等の意。

【ミス】Miss (英) 嬢、未婚の婦人、年齢に關係なく結婚しない女はすべてミスと呼ぶ。

【ミスター】Mister (英) 殿、様、君、男子に對する敬稱。

【ミステシズム】Mysticism (英) 神祕主義と譯する、その項を見よ。

【ミステック】Mystic (英) 不可思議、神祕的、また神祕家。

【ミステーク】Mistake (英) 誤謬、間違ひ。

【不見轉】ミズタン もとは未調査・未試験・冒險的などの意味に用ゐられたが今は轉じて見ずにころぶといふ所から下等の藝者の代名詞として使は

れるやうになつた。

【ミストレス】Mistress (英) 主婦、おかみさん、女主人公。

【ミスプリント】Misprint (英) 印刷用語の一、誤植、組違ひ。

【未成品】ミセイビシ 粗製品といふに同じで未だ精製されて居ない物品のこと、轉じて年頃にならぬ娘や前途どうなるか判らない人などにいふ。

【ミセス】Mistress (英) 既婚の婦人に對する敬稱で何々夫人・何々御奥様といふに當る。

【ミゼラブル】Miserable (英) 不幸な、哀れな、悲惨等の意、佛蘭西の文豪ヴィクトル・ユーゴーの著「レ・ミゼラブル」といふのが日本に輸入されてから流行語となつた。

【ミソロジー】Mythology (英) 神話、神話學、神話集等の意。

【三田派】ミタハ 東京芝三田に慶應義塾がある所から同大學の出身者をいふ、赤門派・目白派など何

れもこの類である。

【未知數】ミナスク 本來は數學上の用語で答としてまだ現はれない數をいふのであるが一般にはXといふ意味に使はれて居る。

【ミックスト・ダブル】Mixeddouble (英) 庭球用語の一、男女各々一人づゝで一組をなし他の男女各々一人づゝの組と競技すること。

【ミッション】コンミッションの略。

【ミッション】Mission (英) ①使命、天命 ②使者、使節の一行 ③傳道、傳道會、宣教師團體。

【ミッション・スクール】Mission school (英) 宗教學校、また基督教學校の意味にも用ゐられる。

【ミドル・スクール】Middle school (英) 中學校のこと、女學校はハイヤー・ガールズ・スクールといふ。

【三菱村】ミツシムラ 三菱合資會社所有の宮城馬場先一帯の地域、この土地には十萬圓以下の建築を許さない方針であつたから以前は空地が多く

三菱原とか三菱村といつて居たが今は大會社や大商店などが立ちならび堂々たる外國風の市街地となつて居るので三菱村といふのは全く別の好い意味に解されて居る。

【未定稿】ミテイカク 未だ完成しない原稿をいふ、加筆・訂正をしない原稿といふ意味である。

【ミニアチュール】Miniature (英) 細微の畫像、小畫像。

【ミニッツ・ディスプレイ・メソッド】Minute display method (英) 何も用意せず短時間で立派に裝飾の陳列替へをする手腕。

【ミニマム】Minimum (英) 極少、最少限度。【身の上相談】ミノウヘサタダン 一身上につき自分獨りで解決の出来ないことを新聞や雑誌の紙上でその相談を引受け解答を與へること。

【耳かくし】ミミ 婦人の髪結び方の一、髪で兩耳をかくし前髪はアイロンをあてようねりをつけるこれが聖徳太子の髮形に似て居るから太子鬚

ともいふ、この髪結び方は大正九年頃から流行し出した。

【ミュージック】Music (英) 音樂、音調。

【ミュージック・ドラマ】Music drama (英) オペラまた樂劇ともいふ、オペラの項を見よ。

【ミュージアム】Museum (英) 博物館、陳列館。【ミューテアル・エイド】Mutual aid (英) 相互扶助と譯する、その項を見よ。

【未來派】ミライハ フューチリズムを見よ。

【ミラクル】Miracle (英) 奇蹟、人力を超えた、また超自然の不思議なこと等の意。

【ミリオネア】Millionaire (英) 百萬長者のと、大金持、大富豪の意、千萬長者をビリオネアといふ、その項を見よ。

【ミリター】Militer (佛) 環境、周圍、また雰囲気。

【ミリタリズム】Militarism (英) 軍國主義と譯する、その項を見よ。

【ミリタント・サッフラゲット】Militant Suffragette

【(英) 暴行派の女子参政権論者。

【ミルク・フード】Milk-food (英) 牛乳から採つ

た乳児用の母乳代用品。

【ミラージュ】Mirage (英) 蜃気楼シキョウのこと、氣

歴と光線が變化する關係で遠くの景色が直ぐ眼の前の空中にあるやうに見える現象をいふ、轉じて何等の根據もない空想や幻影といふ意味にも用ゐられて居る。

【民衆】ミッシュタ 人民・庶民の意であるが實際生活上、また思想上から特に中流階級以下の人々をいふので治者・被治者の觀念を含んで居ない。

【民衆運動】ミッシュユウドウ 政治問題・經濟問題・社會問題などにつき當局者の施政方針が民意に副はないときその方針を變更せしめやうとして多數の人民が團結して奔走し又は示威行列などをしてその目的を達しやうとする多數運動をいふ。

【民衆化】ミッシュタカ Popularization (英) の譯 社會上の諸設備や文學・美術・娛樂などを或る一部の階級に獨占せしめずに廣く一般人民本位にすることをいふ。

【民衆娛樂】ミッシュユウラク 一般の人々が理解し簡易に楽しみ得る娛樂のこと、たとへば浪花節・落語・活動寫眞・安來節など男女老幼あらゆる人々に向く娛樂をいふ。

【民主主義】ミッシュタキ Democracy (英) の譯 此の主義は米國のリンカイン大統領がいつた様に「人民の爲の人民の政治」といふことで主權の存在に關する政治上の主義であるから國家の政治を人民の力で行ひ國民全體の利益を本位とするのである、従つて佛國や米國のやうや民主國では此の主義が實現されて居るが君主國では行はれ得ない主義である。

【民族愛】ミッシュクアイ ① 狹義にいへば民族はおのの異なるた傳統的精神と理想的精神を有つて居るものであるから性格や精神の異なる他民族を排して同一民族が共存共榮しやうとするのは自

然の理である② 廣義にいへば人類愛は人種の黄白や民族の區別や國境などを設くべきものではない異民族も相互に生存と發達を計らねばならぬたとひ強大な民族でも弱少民族を迫害すべきものではない。

【明朝體】ミンテウタイ 字體の一種、新聞や雑誌の活字は多く明朝體で本書の説明に使用した活字も明朝體である。

【ミント・パー】Mint-par (英) 外國爲替上の語で法定平價と譯する、今日我國の「圓」の爲替相場は百圓が對米四十六ドル内外である、これが法定平價となるには四十九ドル八分の五とならねばならぬから今日の我國の「圓」の價值は法定平價に達して居ない。

【民本主義】ミンボンシユギ この主義は民主主義のやうに主權の存在に關するものではなく主權の運用方法に關する政治上の主義であるから主權を人民の手に收めるといふ様な主張は含まれて居な

い、唯人民を本位とし、その幸福利益となるべき政治を行ふといふことで何れの國家にも實行が出来るのである。

ム

【ムード】Mood (英) 氣分、情調、また様式。

【ムービー】Movie (英) 活動寫眞のこと、ムーヴィング・ピクチャー (moving picture) の略、米國の新造語、歐洲ではキネトと云ふ。

【ムーヴメント】Movement (英) 運動と譯する、その項を見よ。

【夢幻劇】ムゲンゲキ 坪内博士が歌舞伎劇を譯した語で無稽的また傳奇的の脚色のものをいふ、筋や人物の統一を缺く不自然に誇張した劇といふ意味である。

【無言劇】ムゲンゲキ セリふのない芝居、しぐさのみの劇、劇そのものに潜んで居る作意を表情・背景・氣分によつて示す芝居。

【無産階級】ムサンカイキフ 肉體的、または精神的に自己の労働力を賣つて生計する階級、また賃金生活者は總て無産階級に屬して居ると解するものもある。

【無産政黨】ムサンセイタク 無産階級や中産階級を代表して生れた新進政黨で有産階級および一部特權階級を代表する既成政黨に對抗して居る、昭和三年二月總選舉の當時には社會民衆黨・労働農民黨・日本農民黨・日本労働黨等あつて全國より八人の代議士を議政壇上に送るに至つた。

【無線電信】ムセンデンシン 電線を用ゐずに通ずる電信のことであるが轉じて文や口で相手に意思を知らせず眼色や表情などでそれと知らすことにはれる。

【無線電話】ムセンデンワ 電線なしに通話の出来る電話のこと。

【無政府主義】ムカイフシキ Anarchism (英)の譯 個人の行動を絶対に放任するを以て人類生存の根

本義とし一切の命令・強制權を否定し他人の自由を侵さない程度において自分の欲するがままになさうとする主義、故に政府を廢し個人の自由行動に放任する新社會を建設しやうとする頗る危険な主義である、社會主義は富の分配と公平を説く經濟上の革命主義であるが無政府主義は權力の公平を説く政治上の革命主義である。

【無任所大臣】ムニンショダイジン 大臣の資格を與へられ大臣の待遇を受けるのみで各省の事務長官でない國務大臣をいふ、この制度は日本にはないが英國にある。

【夢遊病】ムイビヤク 精神病の一種で夜中に無意識に起き出で種々の動作をする病氣。

【紫】ムラサキ (俗語) 醬油のことを上品にしやれていふ語。

【ムーン・シャイン】Moon shine (英) 月の光り。

【明暗】メイアン Brightness of colour (英)の譯 藝術用語の一で色の性質をいふ、橙色ダイダイロは赤よりも明るく黄は碧色ミドリロよりも明るい、これは黄・橙色は碧・赤色よりも白に近いためである色はすべて黒の多いほど暗くなり白の多いほど明るくなる、それを色の明暗といふ。

【迷宮】メイキョウ 事態の真相が不明なこと、犯罪事件などにつき犯人の目星が付かないとき「何々事件迷宮に入る」などいふ。

【茗溪派】メイケイ、東京高等師範學校の出身者や關係者をいふ、同校が小石川茗荷谷ミヤウヂノ町にある所から起つた名稱。

【メイデン】Maiden (英) 處女、少女、乙女。

【梅蘭芳】メイランフ、大正八年初めて東京帝國劇場に來た支那の名優、俗語としては梅毒や六〇六號のことをいふ。

【メイデー】May-day (英) 労働祭と譯する、英國では五月一日を祝日と定めその日は都會も田舎も早月柱(メーポール)といふ柱を建て五色の幕を張り花を飾り美少女を選んで祝日の花形としそれを圍んで舞踏する習慣であつたが近來労働者の示威運動が盛んとなるに連れこの祝日を示威運動日に利用するやうになつたのである、これが日本でも行はれるやうになつた。

【メゾン】Maison (佛) 店、家、料理店、喫茶店などの意。

【メチルアルコール】Methyl alcohol (英) 木材を乾溜して製した淡黄色のアルコールのことで飲料には適しない。

【メッセージ】Message (英) 口上、傳言、音信。

【メイト】Mate (英) 仲間、遊び友達。

【メイド】Maid (英) 女中のこと。

【メートル】Metre (英) ミーターの訛り、計量器、計算器尺度の單位で一メートルは三尺三寸、我

國でも大正十三年七月一日メートル法を發布したが官廳は十年・一般には二十年間の猶豫期間を與へられた。

【メートルをあげる】(俗語)盛んに氣焔を上げることで計量器の度を高める所からしやれていつた言葉。

【メイル・パンバイアー】Male-vampire(英) 女たらしの男をいふ。

【メカホン】Megaphon(英) 正しくはメカフォンと發音する、傳聲筒、屋外で廣く公衆に聞えるやうに口にあてて使ふラツパ型のもの。

【盲判】ノックパン 読みもせず検査もせずに好い加減に書類にペタ／＼捺印すること。

【メス】Messer(獨) メッサの略、解剖刀、小刀。

【メダル】Medal(英) 俗にメタルといふ、勳章、記念章、賞牌。

【メニュー】Menu(佛) 西洋料理の献立表。

【メモ】Memo(英) Memorandumの略、備忘、備

忘録、控え、覚え。

【メロディー】Melody(英) 旋律、佳調、好音。

【メンタル・テスト】Mental test(英) 精神鑑査、適性検査、心情考査など譯する、心理學上から各人の性・精神作用を科學的・實驗的に研究しその人の性質・能力などを考査するのである、近頃中學校・女學校の入學試験や會社の社員採用試験にも應用されるやうになつた。

【メンチ・ビーフ】Mench-beef(英) 西洋料理の一、馬鈴薯をつきくだき肉をさいの目に切り汁の中に入れて煮たもの。

【メンバー】Member(英) 顔觸れ、會員、仲間、社員、一組の人々。

【メンチ・ボール】Mench-ball(英) 西洋料理の一、牛肉と馬鈴薯をつき混ぜ丸め油で揚げたもの

【メンデリズム】Mendelism(英) メンデルの法則といふ、今より五十餘年以前埃太利人メンデルによつて發見された遺傳説で動植物の實驗上親

から子・子から孫と云ふ風に子孫に及ぼす遺傳の法則を發見したもので動植物の品種を改良するに應用され極めて重要な學説となつて居る。

モ

【モーション】Motion(英) ①發動、運動、動作、發意②誘惑または性的行爲、俗に「モーションをかける」といふのは一寸小當りにあたつて見るといふ意。

【妄想】Witchan Fantasy(英)の譯 道德に戻るやうな考へ、妄らな思ひに耽けること、空想とは區別される。

【モーター】Motor(英) 發動機、動力。

【モーター・サイクル】Motor cycle(英) 普通の自轉車に發動機をつけたものをいふ。

【モーニング・コート】Morning coat(英) 朝の略式の上衣、前方のつまを圓くしたもの、略してモーニングといふ。

モ

【朦朧】マウロウ 所屬不明、曖昧、無免許などの意、朦朧自動車・朦朧車夫などに用ゐられる。

【モールスティック】Moulistic(伊) 畫家用具の一、油繪畫家が腕鎖として用ゐる長さ三四尺の杖。

【モーメンタル・リビー】Momenta-Liebe(英) 獨) 瞬間リユニオン戀愛、多く大學生間で用ゐられる語で汽車や電車の中などで女を見て一寸惚れるといふ意。

【モガ・モボ】モダイン・ガール、モダイン・ボーイの項を見よ。

【モダイン】Modern(英) 近代文化の意。

【モダイン・ガール】Modern girl(英) 近代女性、爲世女、新しい女、新時代の女學生などの意味であるが普通には鬚髪・洋裝・濃厚な脂粉の装ひをし言語・行狀が従來のしとやかさを缺く女を嘲笑タウモフする語として用ゐられて居る、略してモガといふ。

【モダイン・ボーイ】Modern boy(英) 近代式男

子、現代型青年ともいふべき語であるが普通には水兵型のズボンをはきロイド眼鏡などをかけて居る當世のアメリカ式ハイカラ男のこと、モボといふはその略稱。

【木道】モクダウ 煉瓦の形をした四寸角の栗材を並べて敷きつめた道路のこと、ブスファルトより耐久力が強い。

【木煉瓦】モクレンゾウ 木道に用ゐる栗材、煉瓦の形に造るのでこの名がある。

【モザイク】Mosaic (英) 象嵌細工モザイク、種々の石・硝子・木などの小片を寄木細工のやうにして一つの圖案を現はし西洋風の壁・床・器物またその他のものに嵌め込むもの。

【持廻閣議】モチマハリカキ 各大臣が内閣で重要な國務を議することを閣議といふ、持廻閣議といふのは各大臣が内閣に合せず總理大臣から各大臣に閣議事項を廻附して順次その意見を求めて決定することをいふ。

【もつ】労働者間の言葉で鳥の臍物モウモウのことをいふ。

【モトロー】Motto (英) 標語、格言、題目。

【モブ】Mob (英) 暴徒、一揆、群衆。

【モデル】Model (英) ①手本、模型、原型 ②繪畫、彫刻などの材料となる人、また物。

【モデスト】Modest (英) 内気な、けんそんな禮節ある、貞操などの意。

【モトクラ主義】モトクラシユキ (俗語) 眼前の用事をうつちやつて置き未來のことに計りあこがれる人、燈臺下くらしをまねた言葉。

【モナキー】Monarchy (英) 君主政治、または君主政體。

【モノグラム】Monogram (英) 氏名や社名の頭字を組み合せて作つたかきはん(花押)のこと。

【モノプレーン】Monoplane (英) 單葉飛行機、一層式飛行機。

【モノポリリー】Monopoly (英) 獨占、專賣、獨賣、

專占などの意。

【モノマニア】Monomania (英) 正しくはモノメイニアと發音する、狂の一種で放火狂・盜狂などをいふ。

【モノメタリズム】Monometalism (英) 通貨單本位制、複本位に對する語で金銀の中何れか一つをその國の本位貨幣とすること。

【モノメニツク】Monomaniac (英) 一時狂者、偏狂者。

【モノロク】Monologue (英) 獨語、獨白、ひとりごと、一人の長演説などのこと。

【模倣】モハツ 獨創に對する語、他人の經驗や手法をそのまま真似るをいふ。

【桃色】モモイロ 赤色は左傾派・急進派、白色は右傾派・保守派を示す、桃色は赤と白との中間にある穩派・中間派をいふ。

【モモタリズム】モモタリシム 桃太郎主義を英語で momotarism としたものである。

【桃太郎主義】モモタラシユキ ①お伽噺にある桃太郎の鬼ヶ島征伐は領土侵略や他國征服の思想を鼓吹するものであるといふ所から侵害主義・軍國主義の意味に用ゐる ②一面正義のために兇暴な徒黨を懲服する主義にもいふ。

【モラトリウム】Moratorium (英) 支拂猶豫のこと、戦争その他の事變によつて經濟界が危機に瀕したときその安定策として或る一定の期間を限り法律を以て債務支拂の義務を延期して經濟界の混亂を防ぎ支拂能力の回復を計るをいふ、我國では大正十二年九月の關東大震災のとき、また昭和二年の銀行休業問題のときこれを實施したことがある。

【モルグ】Morgue (英) 保存棚、會社・銀行などで書類や仕事の材料を整理保存して置く棚。

【モルヒネ】Morphine (獨) 劇薬の一、魔酔薬、鎮痛薬。

【モリブデン】Molybdenum (英) 水鉛、刃物の切

れ味をよくするに用ゐられる。

【モルモット】Mormot(英) 兎屬の小動物、動物試験の材料に供せられるので飼養する者が多い。

【モルモン教】Mormon(英) 宗教の一、一夫多妻を主義とするキリスト教の一分派で米國において布教禁止を命ぜられた、日本にも傳道されて居るさうである。

【モンズリー】Monthly(英) マンスリーと同じ、その項を見よ。

【モンズリー・インストルメント】Monthly-instrument(英) 月賦拂。

【問題劇】モンダイケキ 社會問題・労働問題・婦人問題などを脚色して上演する劇をいふ。

【問題小説】モンダイヒウセツ ①社會問題・労働問題・婦人問題その他思想上の問題を材料に取つた小説

②ある小説が世間の評判となり色々な好評を受けて人氣の中心になつたこと。

【モンロー主義】Monroe-Detorine(英) 一八二三

年十二月二十日北米合衆國大統領モンロー氏が發した宣言、我北米合衆國は歐洲大陸における國際關係に何等の行動に出でない代りに歐洲諸國からも亞米利加における國際争議に關しては何等の干渉を許さなといふのである、この宣言は當時歐洲諸國が南米の西班牙植民地の獨立運動につき會議を開いたのに反對するために發したものである。

ヤ

【八百長】ヤオチヤク 相撲用語の一、相談づくで勝負すること、また他の勝負ごとにも用ゐられる。

【野外劇】ヤグライケキ 青天井の下で天然物を背景として演ずる劇のこと、ページメントの項を見よ。

【野外飛行】ヤグライヒコカク 一定の飛行場以外の所で飛行すること、飛行場を中心とせずにする飛行。

【夜間撮影】ヤカンサツエイ マグネシウムをたき、または高燭の電燈を點じて夜間に寫す寫眞のこと、

マグネシウムは一瞬間の發光で營業用としては不向きである所から活動寫眞の撮影や營業用には太陽と同じ光線を發する電燈を用ゐて居る。

【野狐禪】ヤコゼン 禪を修業したがまだその奥儀を極めない者を冷笑していふ語。

【野菜市】ヤサイイチ 東京市中各所にある廉賣市場の内にある野菜專賣の販賣所。

【野生的】ヤセイテキ 生れたまゝの、自然の、人工的でない、粗野な風姿そのままの意。

【やとな】 客の需めに應じ好みの風姿ナリをして客に侍りまた外出の同伴をする女、仲居居の略稱。

【ヤドガー夫人】ヤドジン 産兒制限で有名なサンガー夫人をもちつた語で「宿がかう云ひました」などと何んでも「宿が」を引合ひに出す夫人のことをからかつていふ言葉。

【やま】 演劇用語の一、演劇の最高調に達した見せ所をいふ。

【山鯨】ヤマクジラ(隠語) 猪の肉、猪は山の鯨に相當

するといふ意味で冬になると東京の牛肉屋では「山鯨あり」の看板や赤提灯を下げ猪をブラ下げで賣つて居る。

【山師】ヤマシ ①見込のない鐵山を種にして有力者から金を引き出して自腹を肥やし出資者に迷惑をかける詐欺漢 ②棚ボタ式の話を持ちかけて人の懐をねらふ人間。

【やっちゃ場】ヤ 青物市場のこと、東京では神田のやっちゃ場・日本橋西河岸のやっちゃ場は有名である。

【山手至上主義】ヤマテシヤウシヤク 歐洲大戰後歐洲から日本に流れ込んだ婦人達が横濱や神戸に巢をかまへて盛んに風儀を紊した、特に神戸の山手方面は最も甚だしかつたそれを漁り歩く鼻下長連がいつの間にかこの新語を作つたのである。

【大村】ヤマトムラ 東京市本郷駒込にある岩崎家の別邸内にある住宅組合、此の地には大學の教授達が多い所から學者村ともいはれて居る。

【野暮】ヤボ 無趣味、朴訥ボクトツで世情に疎い人。
 【山の手式】ヤマノテシキ 下町式に對する語、東京市では麴町・本郷・牛込・四谷・小石川・麻布・目白・大久保あたりの會社員・官吏・邸町の風俗をいふ、下町は江戸趣味が豊かで桃割や島田一寸出るにも伊達の素足といふ粹き好みであるが山の手は新文化趣味の豊かな風俗・生活で髪も新型、洋装のお嬢さんなど新文明の嗜好を代表し新東京式である。

【夜話】ヤツたそがれ過ぎコーヒーを味ひながら煙草でもくゆらしゆるくと氣樂に語り合ふこと
 「何々夜話」といふ見聞記や旅行記は澤山に出て居る。

【ヤンガー・ゼネレーション】Younger-generation (英) 若き時代、若い人々、青春時代。
 【ヤンキー】Yankee (英) 北米合衆國の南方諸州の人が北方諸州の米國人をヤンキーと呼んで居たが轉じて米國人全體に通ずる綽名となつた、

多少嘲笑の意味を含んで居る。
 ヤンキー・スタイル】Yankee-style (英) 米國式といふことで米國式の服装をしてしやれ込んで居る人をいふ。
 【ヤンキーズム】Yankiesm (英) 米國人氣質、實務的・實利的で氣樂な性質を有つて居る。
 【ヤングメン・コーパーレーション】Youngmen-Co operation (英) 青年團のこと。

ト

【優】イク 俳優の略稱、新聞などで劇評するとき
 に役者を「ある優」とか「この優」とかいふ。

【唯心論】エキナハ Idealism (英) の譯 唯物論に對する說、唯物論は宇宙萬有の本體から獨立する精神の存在を否定するが唯心論はこれに精神的の實在を認めて感覺的物體を全然否定し物質的存在は精神的の存在の發現に過ぎないものとなし物質を以て精神の所産であるといひ物質は

常に吾人の觀念で外界に實在するものではなく實在するものは唯精神のみであると説く論。

【唯美主義】エキシニキ Etheticism (英) の譯 美至上主義、唯美派ともいふ、美を以て人生の唯一至上のものとし善や眞を對立の關係に置かないで罪も悪も偽りも何んでも美であれば好い、人生に取つて美であればそれは眞であり善である、人生の理想は美の出現・美化にあるとする主義、こゝに美とは官能上の快樂であるから美を至上のものとするは快樂を以て人生の究極の目的とすることになるので此の主義を享樂主義ともいひ得るのである。

【唯物史觀】エキシニキ Historisher materialismus (獨) の譯 カール・マルクスの主唱した說で人間生活の根據は生産力の如何に依つて決定される經濟的生活の歴史である、すなはち人類は凡て物質によつて支配される、そして物質の生産力から出た結晶がどう配分されるかに依つて經

濟階級の社會的分化を生じその結果資本家對労働者・有産階級對無産階級の争闘が止むときはない、人類の歴史は階級争闘を繰返すに過ぎないと説いて居る。

【唯物論】トクハク Materialism (英) の譯 唯心論エキシニキに對する說、宇宙の本體・萬有の本質は物質の運動であつて物質を究極の實在とし精神は物質の作用または發現であるといふ說。

【唯理論】エキシニキ Rationalism (英) の譯 經驗說に對する說、理性說ともいふ、吾人の認識は後天的の感覺・經驗に依つてのみ生ずるものでなく吾人が先天的に有する理性に依つてのみ生ずるもので理性は智識の元素であるといふ說。

【有階級】イワシキイキフ 有産階級と同一の意味で生活に餘裕があり労働や仕事をしなくとも生活に差支へなくのらくらと暮して居る人々をいふ
 【有機的】イワシキ Organic (英) の譯 有機體を構成する各部分ば全體に對し 必要欠くことが出来

【遊戯的】イウキヤクキ 義務とか必要とかの動機からでなく単になぐさみとか興味とかいふ不真面目な動機によつてなされる所爲をいふ。

【有機體】イウキタイ Organism (英) の譯 動物・植物の如く生活機能を有し各部分が集つて全部の統一を形造つて居る自然物をいふ。

【遊興税】イウキヤウゼイ 地方税の一、料理屋・待合・貸座敷などで遊ぶ客から幾らかを勘定といつしよに取り立てしめ市町村の収入とする税金。

【優職業】イウシヨクダク 美職と同じ、その項を見よ。

【優生學】イウセイガク ユーゼニックスと同じ、その項を見よ。

【ユーゼニスト】Eugenist (英) 人種改良學者、優生學者、生物改善論者などの意。

【優先株】イウケンツ Astock (英) 株式会社が資本

を増加するとき限り発行し得る株で一般の株式に優先して利益の配當を受け、また會社解散のときには残余財産の分配を割合ひ良く受ける株式をいふ。

【ユーゼニックス】Eugenics (英) 人種改良、優生學、善種保善學、一八八四年英國の人類學者サ・フランシス・ガルトンの主張した説で良い血統を遺し悪い遺傳のしないやう配偶者を選び、また結婚を避けるやうにすることを科學的に研究し人種を改良しやうとする學。

【優待券】イウタイケン Complementarily ticket (英) 劇場・活動寫眞館・交通機關などが特別の關係先へ贈る無料入場券、又は無料乗車券などのこと。

【遊蕩文學】イウタウブンガク ①おもに花柳界を背景とし情事のいきさつを描いた小説 ②通俗花柳情話

【ユートピア】Utopia (英) 夢想境、理想國、天國、極樂境などの意。

【ユーティリティー】Utility (英) 利用、功用、利益

などの意。

【ユーティリテリヤズム】Utilitarianism (英)

功利主義と譯する、その項を見よ。

【ユーマー】Humour (英) 普通ユーモア、またヒュマアともいふ、諧謔カイヤク、しやれ、滑稽、上品な諷刺 フワレ。

【ユーモア】Humour (英) ユーマーと同じ、その項を見よ。

【ユーモリスト】Humorist (英) 滑稽小説家、洒落上手の人、諧謔家などの意。

【ユーモラス】Humorous (英) 滑稽なといふ意。

【ユスリ場】バ (俗語) 活動寫眞街・避暑地・海水浴場などをユスリ場といつて不良分子共は荒し廻はる、そこで行はれるのは金錢強要(カタリ)と恐喝(バクリ)などであるといふ。

【ユニオン】Union (英) 合併、聯合、組合、同盟、協會。

【ユニオン・ジャック】Union Jack (英) 英國人、

または英國の國旗のことをいふ。

【ユニテリアン】Unitarian (英) キリスト教の一分派で新派キリスト教ともいふべきもの、ナザレの聖者イエスの精神と人格を讚美しイエスの精神にふれて心を清くすることを信仰の第一義とする求道家の集れる一派で形式的のことは一切遠のけられて居る。

【ユニヴァーシティー】University (英) 大學、綜合大學、法科・文法・商科などの各分科を包含して同一經營の下に置く大學のこと。

【ユニフォーム】Uniform (英) 制服、規定の禮服、揃ひの運動服。

【輸入候補】ユニフコウホ 衆議院議員選舉のときその地の出身者が郷里を地盤として候補に立つのを土着候補といふに對しその地の出身者でない他府縣の者を人物・地盤などの關係から候補者にすることはいふ。

【郵便年金】イウビンネンキン 政府が契約者にある年限

間一定の掛金を拂込ましめ老後に一定の年金を給付して生活を保護する制度である。
【夢二式】ユメジシキ 畫家竹久夢二氏の畫から出た言葉でまつげ長くひとみ大きく手や肩の曲線がデリケートな感じを與へる畫風。

三

【養燕家】ヤウエンカ 自分より年の若い男を手なづけてなぐさみにする婦人をいふ。
【窯業】エウゲフ 陶磁器製造業のことであるが近來この語を用ゐて居る、主として陶磁器・硝子・煉瓦・七寶シウボリなどを製造する。
【洋行する】ヤウカウ (隠語) 入獄することをいふ。
【洋服細民】ヤウフクサイミン 俸給生活者の異稱、洋服を着て堂々として居るが薄給で苦しい生活をして居る人、中流階級の勤め人。
【豫覺】ヨカク 豫感と同じ、意味ははつきりと意識に感じないが何んとなく將來のことが心に思ひ

浮ぶ暗示的の感じをいふ、心理學者はこれを潜在意識、または第六感といつて居る。

【豫感】ヨカン 豫覺に同じ、前項を見よ。
【洋琴家】ヤウキンカ ビアニストに同じ、その項を見よ。
【要塞地帯】エウサイチタイ 國防のために建設した軍事的營造物の周圍における一定の地域をいふのである、この地域内を通行し、または撮影することは出来ない。
【搖籃】エウラン 本來は小兒を入れて遊ばせるゆすりかごをいふのであるが現代語としては幼年時代・故郷、または物事の端緒などの意に用ゐられて居る。
【欲求】ヨクキウ 希望することの實現を期する要求をいふ。
【四疊半趣味】ヨテウハンシユイ (俗語) 四疊半で黒襟に銀杏返しの女を相手に灘の生一本でもちびりちびりしんみりとした氣分を味ふことをいふ、近

頃は藝者遊びの意味に用ゐて居る。

【奥太話】オウバナシ これぞといふ定まつたことについての話でなくとりどもない無駄話をすること。

【ヨタリスト】(俗語) 口から出まかせのいゝ加減なことを喋舌シヤベルのを奥太を飛ばすといふことから出た語でヨタに英語のリストをつけて奥太話をする人をいふ。

【ヨット】Yacht (英) 正しくはヤットと發音する、三角形の帆をかけた小舟、快走船。

【豫約出版】ヨウヤクシュツパン まだ本を發行しない先に客と豫約し代金の一部または全部を前納させて出版すること、この出版には題號・豫約發行年月日・内容・見本紙質の大略・定價の拂込方法その他の事項を豫約に着手する十日以前に地方廳を経て内務大臣に届けかつ定價十圓迄は五百圓・十圓以上は千圓の保證金を納める。

【より以上】イシヤウ 英語の Morethan の直譯で何

何以上に何々であるといふ時に用ゐるのであるが近頃の會に盛んに用ゐられる。

【寄附】ヨリツキ 相場用語の一、取引所の市場を開始する時間でその日の相場の第一回のことをいふ、普通午前九時から始まる相場を相場ゼンバ寄付、略して前寄マヘヨリといひ、後場ゴバなら後場の寄付、略して後寄アトヨリといふ。

【輿論政治】ヨリンセイチ 政府が國民一般の要望に應じて行ふ施政状態をいふ。

【弱き筋】ヨワキスヂ 相場用語の一、相場の下落を望んだり、また下落するものと豫測しあるひは下落させやうとする人々のこと。

【弱き者よ・汝の名は女なり】ヨワキモノノナメナハランナナリ 英國の大文豪シェクスピアが女の弱きを憐んで唱へた言葉で女は強いやうでも弱いものであるとの意。

【ラード】Lard (英) 豚の脂のこと。
 【ライオン】Lion (英) 正しくはライオンと發音する①獅子②權威、猛勇な人。
 【ライオン式建築】シキケンチク ライオンは前から見ると立髪が立派だが後ろへ回ると尻の方がツルリとしてゐて貧弱だといふ所から前方の目目にふれる所だけを立派に建て後ろの方は粗雑にした建築のこと。
 【禮讚】ライサン 尊敬して讚美すること。
 【ライター】Writer (英) 作者、記者、著者、寫字者。
 【ライト】Light (英) 光、光線。
 【ライト】Right (英) ①正義②權利。
 【ライト・チェーン】Light chain (英) 夜の空中電光裝飾、色々の電球をつゞりならべて空中に畫を描いたもの。
 【ライト・フィールド】Right field (英) 野球の右翼。

【ライナー】Liner (英) 野球で打者の打つた球が低く一直線に飛ぶこと。
 【ライノタイプ】Lithotype (英) 活版機械の一、リノタイプとも發音する、タイプライター式機械で所要文字の鍵盤キーを押すと所要の活字が出て自動的に配列する一種の植字機械。
 【ライフ】Life (英) 人生、生命、生活。
 【ライブラリー】Library (英) 圖書館、書齋。
 【ライラック】Lilac (英) 植物の一、花は紅色を帯びた藤紫色をして居る。
 【ライン】Line (英) 線、道順、通路、また詩の行。
 【ラウド・スピーカー】Loud speaker (英) ラチオ擴聲器のこと。
 【樂】ラク 演劇用語の一、千秋樂を略した語で興行物コウキヤウモノの終りをいふ。
 【落丁】ラクチャウ 書物の頁附ページ抜けのことを丁づけといふ、落丁は頁が抜けてゐること。
 【ラグビー】Rugby (英) フットボールの一種、大

抵一組を十五人とし蹴つた球を抱いて敵陣に入る敵方ではそれを防いで入れないやうにする、英國ではこの競技が國技になつて居る。
 【樂燒】ラクヤキ 手のさきで造りあげて焼いた外形の凸凹デコボコした陶器。
 【落款】ラククワン 書や畫の署名捺印をいふ。
 【裸形】ラクイ 裸體といふと體だけを被ふ所なく現はす意であるが裸形といへば心までもさらけ出す意が含んで居る。
 【ラケット】Racket (英) 庭球に用ゐる杓子形の框ラックに綱を張つたもの、目方は十一オンスから十四オンス位まで柄の所は一尺程で杓子形になつた所は一尺・幅七・八寸である。
 【ラ式蹴球】シキシウキウ ラグビー・ユニオン式蹴球の略語、ラグビーの項を見よ。
 【ラジエーター】Radiator (英) 無線電話のアンテナのこと、また自動車の前部に蜂の巢のやうに通風のあけてある部分。

【洋妾】ラシヤン 外國人相手に淫賣を常習とする女、また外國人の妾になつて居る女のこと。
 【ラスト】Last (英) 最後の、仕舞の、末の、最下等の意。
 【ラスト・ヘビー】Last heavy (英) 最後に死力を盡して奮闘すること。
 【ラッタタイム】Rattime (英) 音樂用語の一、急奏調子、だん／＼調子が高く早くなる拍子。
 【ラッシュ・アワー】Rush hour (英) 繁忙時間、混雑時間、突進時間などの意、勞働者・學生・月給生活者の朝夕出るときと歸へるときとが大抵同じであるから電車・汽車等が大混雑をする有様をいつた語である。
 【ラッセル】Russet (英) 排雪車のこと、冬期積雪多く汽車の運轉が困難なとき此の排雪車を列車の先につけて排雪しつゝ進行する。
 【ラッパー】Rapper (英) 書物の表紙をよごさないための上被ラッパヒ包紙。

【ラッパズボン】 モダン・ボーイの好む水兵服型
ツボンのこと、裾の方がラッパの形をして居る
のでこの名がある。

【ラデオ】 Radio (英) レデオと同じ、その項を
見よ。

【ラディカリスト】 Radicalist (英) 急進派、過激派
【ラデューム】 Radium (英) 普通ラヂウムと訛つ

て居る、一九一二年佛國の科學者キュリー博
士夫妻の發見した元素、疾病治療用に供せられ
て居るが採取が頗る困難であると早く消滅する
での高價なものである。

【ラチオ】 レデオと同じ、その項を見よ。

【ラバー】 Lover (英) ①戀人、情夫 ②熱心家、篤
志家。

【ラヴ】 Love (英) 愛、愛情、戀慕、戀愛。

【ラヴ・アフェア】 Love affair (英) 戀物語り、戀
愛事件、戀わづらひなどの意。

【ラヴ・シーン】 Love scene (英) 主として映畫に

用ゐられる語で戀の場面、戀を語つて居るさま。
【ラヴ・ハンター】 Love hunter (英) 戀をあさる
者、おもに男子に用ゐられる。

【ラヴ・ブローカー】 Love broker (英) 仲人、媒
酌人、月下氷人ナカウド。

【ラヴ・レター】 Love letter (英) 戀想文、戀文、
艶文。

【喇嘛教】 ラマケウ 西藏チベットを中心に蒙古一帯に行
はれて居る佛敎の一派をいふ。

【ラ・マルセイエーズ】 La Marseillaise (佛) 佛國
の國歌、ストラスブルグのルーヂェ・ト・リール

といふ工兵士官が作つた歌で曾つてパリーにお
いてマルセイユから來た愛國者の一隊がこれを
歌つてから有名になり遂に國歌となつた。

【ラム・フリート】 Run-free (米) ラムは洋酒の
一・フリートは艦隊で特に米國語として禁酒法

發布後に用ゐられて居る、禁酒法が領土に限り
領海に及ばないといふ所から公然と酒類を積ん

で領海に入り列を作つて商人や紳士に賣つたの
で此の列をなして居る有様をいつた言葉である

【ラム】 Rum (英) 甘蔗から採つた酒で西印度諸
島の特産、アルコール含有量は五十パーセント。

【ラン・アウト】 Run-out (英) 野球用語の一、走
者がアウトになること、ランナー・アウトの略。

【ランゲージ】 Language (英) 國語、言葉、もの
のいひやう。

【亂高下】 ランカウ 相場用語の一、市場が亂調子に
なつて一日の中に急に騰貴したり急に下落した
りすること。

【ランターン】 Lantern (英) 提燈、街燈、角燈。

【ランチ】 Lunch (英) 西洋の午飯 ランチ。

【ランチ】 Launch (英) 艦載汽艇、軍艦に載せてあ
る快速力の小汽艇。

【ランナー】 Runner (英) 一般に走ること、野
球では走壘者のこと。

【ランナー・アウト】 Runner-out (英) 野球用語

の一、ラン・アウトの項を見よ。

【ランニング】 Running (英) 徒歩競争、馳つこ、
競走、野球では走者が確實に奪ふ必要からその

壘間を走る方法を考へるをいふ、また帆船が追
風 オヒカゼ で走ること。

【ランプ・スタンド】 Lamp-stand (英) 現代語と
しては花笠などをつけ裝飾した卓上電燈臺、多
く書齋・寢室に用ゐられる。

リ

【リアライズ】 Realize (英) ①實現す、實行す、實
感す ②正金に換へる。

【リアリスト】 Realist (英) ①哲學上では實在論、
現實主義の人 ②文藝上では寫實派の人 ③普通は
實利主義の人、または事務家といふ意味に用ゐ
られる。

【リアリズム】 Realism (英) 寫實主義と譯する、
その項を見よ。

【李王職】リウウシヨク 明治四十年韓國を合併し舊王族を優遇することゝなつたので王族を李王家と稱し皇族と同様にした、此家務をつかさどる所。

【リーグ戦】エンLeague (英) の譯 聯盟、同盟の意、リーグ戦は専門學校、または大學間で協定を設け定期あるひは臨時に各種の運動競技をすること。

【リーズン】Reason (英) 道理、理由、推理、理性。

【リーダー】Leader (英) 指導者、監督者。

【リーダー】Reader (英) ① 讀者、閱覽者、朗讀者 ② 講師 ③ 校正者。

【リーブ】Liebe (獨) 戀愛、情人。

【梨園】リエン 支那の古事から來た語で演劇、または俳優社會のことをいふ。

【リキニール】Liqueur (佛) 五色酒の一、各種の香料をかげ干にしておきこれを酒に混合調和したもので婦人の飲料。

【利喰】リグヒ 相場用語の一、株や米などの賣買を

して利益勘定となつたときに轉賣または買戻をして取引を決済し利益を得ること。

【利権屋】リケンヤ 特種の權利を得やうとする人のために種々の仲介運動をしてヨンミツションを取る周旋稼業、これの下等の者が千三つ屋である。

【陸上競技】リクジョウキョウギ 人々の速力・力量・體力・技術・耐久力などを競争する種類の運動でトラック(競争路)とフィールド(競技場)において行はれるすべての運動をいふ、この種類は徒歩競争・槍投・ハードル・砲彈投・圓盤投・走幅飛・走高飛・棒高飛・ハンマー投などで野球・庭球・蹴球・バスケットなどはこの競技には入らない。

【利己主義】リコジギ 自己の利便のみを計つて他人の迷惑を顧みない主義、總ての行動または動機を自己の利益のみに置く場合をいふ。

【利札】リサツ 國債證書・社債券などにその利子と支拂期日を記した紙片が接續して居る、その紙片を利札といふので支拂期日に指定した會社・

銀行・郵便局等を持つて行くと利札と引換に利息を支拂つて呉れる。

【利札落】リサツオトリ 國債・社債の利子が支拂期の到來したとき受取済みとなつて利札を切り取つてしまつたことをいふ。

【リザーベーション】Reservation (英) ① 保存、貯藏、隠し置く ② 遠慮、留意 ③ 制限。

【リスト】List (英) ① 目錄、名簿、明細表 ② 試合場

【リズム】Rhythm (英) 音律の意であるが音の高低、語呂の好調子、快よい明暗、文字の感じのよい配列などに用ゐられる。

【理性】リセイ 心の働きは智・情・意の三つに分けられるが理性は情や意によらないで智が中心になつて働き理論的に判断・思考する能力のこと、これを理智ともいふ。

【理性的】リセイテキ 感情的な智覺によらず先天的な思考の働きによるものといふ意、またすべての物事に對し情意にかられず冷靜に智によつて判

斷する人の性質をいふこともある、これを理智的ともいふ。

【理想】Ideal (英) の譯 現實や空想に對するものでその人の智識・修養・經驗から想像して築き上げ全能力によつて何時か實現し得る可能性のある事象をいふ。

【理想主義】Idealism (英) の譯 普通には現實の状態に満足しないで進んで理想を追ふ一切の主義をいひ、文藝上では或る標準・理想によつてその題材を取捨選擇して表はすをいふ、倫理上では道德的理想の絶對性を主張する立場、また哲學上では超自然的・超感覺のものを追求の目的とするものを總稱する。

【利他主義】リタシギ 利己主義に對する語で自己の利益や幸福は總て他人の利益や幸福の中に見出すべきものであるといふ主義。

【リタラリ】Literary (英) 文學上の、文學的、學問の、學者などの意、

【リタラリ】Literally (英) 正確な、文字通りの、實際的の、正面から解釋したなどの意。

【リタレテア】Literature (英) 文學、また學問、藝術の項を見よ。

【立脚地】リツキナケチ 自分の立場のことでその人が立論し主張し思想する所の基礎となつて居るものをいふ。

【リマスン】Lesson (英) 教訓、教課、學科、稽古。

【立體派】リツタイ、キュビズムと同じい、その項を見よ。

【リノリウム】Linoleum (英) 床敷の一、ピカピカした皮のやうな敷物で銀行・會社・商店などの床に張つてあるもの。

【リバーティー】Liberty (英) 自由のこと。

【リフト】Lift (英) 昇降機、ビルディングなどで使用して居るエレベーターのことをいふ。

【リボン】Ribbon (英) 紐、絹製平紐、帽子の上に巻く鉢巻の布。

【流行文藝】リウカウブンゲイ 二つの意味がある①時人や人心に適して廣く流行する文藝②誰れか一人がほめたので誰れも彼れも讀みたがつて流行する文藝。

【流産内閣】リウサンナイカク 産れ出やうとして産れなかつた内閣、お産にたとへていつた語で大命を拜して組閣に取りかゝつたが遂に成り立たずお流れとなつたことをいふ。

【利乗】リノセ 相場用語の一、株や米の賣買が利益勘定となつたときさらにその利益を本數ホンジヤとして建株、または建米を増加せしめること。

【リハーサル】Leharsal (英) 講話、復誦、下稽古、劇の本讀み。

【リパブリック】Republic (英) 共和國、共和政體。

【リファイン】Refine (英) 清くする、純化する、精製する、上品にするなどの意。

【リファインメント】Refinement (英) ①上品、優雅②文化、教化。

【リフオーム】Reform (英) 改正す、改革す、矯正す、再び作るの意。

【リプレゼント】Represent (英) ①かたどる、なぞらう、描出す②代表する、申立つ、建議する。

【リプレゼンタティブ・メンバー】Representative member (英) 代議員、代表者、代議士。

【リフレッシュメント】Refreshment (英) ①休養、元氣回復、心身爽快②飲食物、茶菓。

【リフレックス】Reflex (英) ①反射せる、反動の、反射の②影、映光、映象。

【リプロダクシオン】Reproduction (英) 再生、再現、複製。

【リベラリスム】Liberalism (英) 自由主義、自由人としての生活を營まんとする主義。

【リベラル】Liberal (英) ①寛大な、物惜みせぬ、②自由主義の、自由主義の人。

【リフォーマー】Reformer (英) 改革者、改造論者、進歩的な人。

【リポート】Report (英) ①報告、通信、判決録②名聲、評判。

【リュック・サック】Ruck-sack (獨) 登山するとき食料品や用具を入れる防水布製の背負ひ袋。

【寮雨】リヤウ 東京第一高等學校の寄宿舎の學生に豪傑風を氣取るものが多く夜間便所に行くのが面倒とあつて二階から小便をすることがある、これを寮雨と名づけたのである。

【兩切煙草】リヤウギタバコ 紙巻煙草の兩端を切つてあるもの、バット・リリーのやうなものをいふ。

【綠十字】リョクジツフ 安全週間のしるしとして用ゐる徽章。

【旅券交附】リョケンカウフ 外交用語の一、國交が斷絶しやうとするとき甲國から乙國へ派遣してある外交官に乙國が旅券を交附するとその外交官が立退き宣戰状態に入る意味である。

【獵官運動】リョクワンウンドウ 内閣が變つたときに政黨員などが有利な地位を占めやうとして色々な關

係筋をたどつて運動することをいふ。

【領事裁判】リヤウジサイバン 特別の條約によつて或國の在留民がその在留國の裁判権を受けず自國の法律によつて自國の領事の裁判を受けることをいふ、支那に對して多くの強國はこの特權を持つて居る。

【領袖】リヤウシク 政黨または團體などの中心人物。

【良二千石】リヤウニセンセキ 府縣知事のこと、昔支那では地方長官の俸給が二千石であつたのでそれから出た言葉。

【リラ】Lira (伊) 伊太利の貨幣、佛蘭西のフランと同じで我が約三十九錢。

【リリー・オヴ・ゼ・ヴァレー】Lily of the valley (英) 鈴蘭、谷間の姫百合、君影草キミカゲナウなどいふ。

【レイ・レース】Relay race (英) 各競走者がコースの一部分を分擔して走る競争、一種の驛傳式競争でその走者をレイといふ。

【臨海學校】リンカイガクカウ 夏期休暇などを利用し小

學兒童を海邊に集め空氣の良い所で教育する臨時に設けられる學校。

【林間學校】リツカンガクカウ 虚弱な學童のため、また一般兒童の身體を良くするため健康に適した林間に兒童を集めて教育する臨時の學校をいふ。

【リンク】Link (英) 運動用具の一、ゴルフの試合場、またはスケート場をいふ。

【リング】Ring (英) 本來は輪であるが今日では指輪のことに用ゐられて居る。

【リング・リーダー】Ring leader (英) 暴動等の巨魁キョクワイ、謀計ムボシ人、張本人。

【リンチ】Lynch (英) 私刑、法律によらず個人が刑を加へることで世界各國共これを禁止して居るが米國では白人種が黒人種に對してなほ行つて居る。

【淪落の女】リンラクノメシナ 人倫の道から落ちた女といふ意、墮落した女、貞操を賣る女などのこと。

【倫理人】リンリジン 自然に有する欲求のままに生活

せず法律に従ひ良心の認める道徳を守つて生活することを社會共同生活の要諦であると信ずる人のこと。

ル

【類型】ルキケイ Typical Quality (英) の譯 人間その他すべてのものはおの／＼個性があつて皆性格は違つて居るがまたその間には共通する點もあるこれを類型といふ、階級・身分・職業・年齢によつて性格に共通した一定の型カタが見出される、たとへば商人氣質カタギ・書生氣質・細君氣質などがそれである。

【累進税】ルキシンゼイ 課税價格の増加するに従つて税額の割合を増進させる租税で所得税のやうなものといふ。

【類推解釋】ルキスホカイシヤク 類似解釋ともいふ、甲の事項に付て明文の規定がないときに甲に類似する所の乙の事項に付ての規定から推究して甲の

ル

事項の疑問を解く解釋の仕方である。

【ルース・リーフ式】Loose-leaf System (英) 用紙取換の自由に出來る便利な張簿、多く銀行や會社などで用ゐて居る。

【ルーデーサック】フレンチ・レターを見よ。

【ルート】Route 女學生間の流行語、開平法の(ル)の意で割り切れぬといふ所から封やの代りに用ゐられる、また態度や主張のはつきりしない人をいふこともある。

【ルバンカ】Rupasca (露) 露西亞人の用ゐる上衣ワイシャツに衿の付いたやうなもので胴に房ケチのついた紐を結ぶやうになつて居る。

【ルピー】Rupee (英) 印度の貨幣單位、我國の約六十五錢に當る。

【ルーフ・ガーデン】Roof-garden (英) 屋上庭園。

【ループ・ザ・ループ】Loop-the-loop (英) 飛行機の宙返り、また種々の空中曲藝をすること。

【ルナ・パーク】Luna Park (英) 月の公園すなは

ち夜の公園をいふ。
 【ルネッサンス】Renaissance(英) 文藝復興と譯する、その項を見よ。
 【ルビー】Ruby(英) 寶石の一、紅玉、また新聞・雑誌・書物の振り假名、七號活字などをいふ。
 【ルビ附】ルビ活字から轉化した語で「巾着附」「お供附」などに用ゐられて居る、活字の漢字が主で振假名がお供であることをもぢつて主人が妻君や子供を連れて歩くことなどをいふ。
 【ルラ】インク・ルーラーに同じ、その項を見よ。
 【ルール】Rule(英) 規約、規則。

【靈】レイ ●肉に對していふ語、肉の項を見よ◎崇高な理想。
 【靈感】Inspiration(英)の譯 靈の神祕な作用によつて表はれる感覺、推理作用や判断に依らず直感的に感ずる心裡作用すなはち五官を作

用せず突嗟の間に心裡に現はれる感覺。
 【靈魂不滅説】レイコンソネツセツ 人が死亡し肉體が減びてもその中に宿るところの靈魂は永劫に滅しないものであるといふ説。
 【靈子術】レイシジュツ 精神療法的一種で精神統一によつて起る身體の震動を病者の患部にあて、治療の目的を達する方法。
 【靈的交通】レイチキカウワウ 遠距離にある人または死亡した人と精神的交通をすること、フランク・ポドモアの主唱した説で靈魂と靈魂とがなんの注意・暗示・豫告なしに自由に交通するといふのである、これは實驗上證明されて居るから科學を超越した事實と見られる。
 【靈的生活】レイチキセイクワツ 精神的生活と同一で肉體や物質の欲望を一切捨て、靈の保養に生きる【靈肉一致】レイニクイッチ 人間には眞・善・美を求め、靈の働きがありまた他の一方には生きるために物質欲がある、この靈と肉とは常に衝突して生

きんとする者の苦しみが生れる、その衝突を調和して靈肉の完全に一致したものを實現することとて靈肉一致は人類共同生活の理想である。
 【黎明期】レイメイキ 國民全體が自覺しさらに文化の新生活に進まんとする時期をいふ。
 【ライン・コート】Rain coat(英) 雨合羽、單にレインコート。
 【レーガル】Regal(英) 法律の、法律上の。
 【レーガル・デフェンス】Legal defence(英) 正當防衛。
 【レース】Race(英) ●競走、競馬◎種族。
 【レース】Lace(英) 打紐、紐、篋ヅリ。
 【レーズン】Raisin(佛) 乾葡萄。
 【レーテスト】Latest(英) 最近の、最新の。
 【レーテスト・ファッション】Latest fashion(英) 最新流行。
 【レーニズム】Leninism(英) レーニン主義、勞農ロシアを建設したレーニンの革命主義をいふ。

【レーニン】Lenin(英) 勞農ロシア建設者の名、本名をウラデミル・イリツチ・ウリヤノフといひ一八七〇年四月十日ロシアのレンブルグに生れ大學在學中よりマルクス主義者で爾來革命運動に全力を盡し一九一一年十一月ケレンスキー内閣の崩壊と共にロシアの首領となつたが先年死亡した。
 【レーニングレード】Leningled(露) 勞農ロシアの首都、帝政時代にはペテログラードといつて居たがレーニンの死後その名を記念するために改めた。
 【レーバー】Labour(英) 勞働、勤勞、勞力。
 【レーバー・パーティー】Labour party(英) 勞働黨、勞働者、またはその主義の人々によつて支持されて居る政黨。
 【レーバー・ユニオン】Labour union(英) 勞働組合。
 【レーバー・リーダー】Labour leader(英) 勞働

運動の指揮者、先導者。

【レーベル】Label (英) 貼紙、紙札、符牒の意、訛つてレッテル、レネル、ラベルなどいふ。

【レーベン】Leben (獨) 生、生存、生活、生命。

【ラーボラー】Labourer (英) 労働者、勤勞者、日傭人。

【レール】Rail (英) ①軌道、鐵道 ②手すり、

【レギュラー】Regular (英) 正則の、規則正し。

【レギュレーション】Regulation (英) 調整、規則。

【レギュレーション・ホール】Regulation-hall (英) 規則正しくバウンドするボールのこと。

【レクチャー】Lecture (英) ①講義、講演 ②説教、訓戒、小言。

【レコード】Record (英) ①記録、登記 ②蓄音機の音譜板。

【レコード・コンサート】Record concert (英) コンサートと同じ、その項を見よ。

【レコード破り】Chart Record (英) 記録を破るといふ意で今までにない最高・最大・最新・最低の結果を得た場合などに用ゐる。

【レザール】Razor (英) 剃刀。

【レジスター】Register (英) 記録簿、日本では自働金銭登録器。

【レジテーション】Recitation (英) 吟誦、朗吟。

【レジアラ・クラス】Leisure class (英) ひま人、有閑階級。

【レスペクト】Respect (英) 尊敬する、好意を拂ふ

【レスポンス・ジョイント】Responsibility (英) 責任、責務、職責。

【レセプション】Reception (英) 宴會、招待會、歡迎會。

【レストوران】Restaurant (佛) 割烹店、料理屋、一般に西洋料理店のこと。

【レター】Letter (英) 文字、手紙。

【レター・ケース】Letter case (英) 手紙入、文箱。

【レター・ペーパー】Letter-paper (英) 書翰用紙。

【レット】Let (英) 庭球用語の一、點數に加へない打球のこと。

【レッド】Red (英) ①赤き、過激の ②赤色、赤繪具 ③婦人の月經。

【レッド・ブック】Red-book (英) 名鑑、職員録。

【レッスン】Lesson (英) 教課、學課、稽古。

【レッテル】(英) レーベル (Label) の訛で貼札。札・符牒などをいふ、またこの語は女の容貌を形容する隠語となつて「あの女はレッテルが良い」といへば美人のことである。

【レディー】Lady (英) 貴婦人、婦人、主婦、淑女。

【レディー・キラー】Lady-killer (英) 女たらし、やせ男。

【レディー・メイド】Lady-made (英) 出来合の、有合せの、既製品。

【レデオ】Radio (英) 一般にラヂオといつて居る、無線電信、無線電話。

【レビュー】Review (英) 評論。

【レヴェル】Level (英) 水平線、水準點。

【レヴェレーション】Revelation (英) 啓示、天啓、默示、神のおつげ。

【レポーター】Reportre (英) 通信員、外交記者。

【レポート】Report (英) 報知、風評、評判。

【レヴォリューション】Revolution (英) 革命と譯する、その項を見よ。

【レモン】Lemon (英) 果樹の一、その果實は芳香で酸味あり廣く愛用されて居る、この果汁を入れた氷水をレモン水、ソーダ水に入れたのをレモン・ソーダ水、また紅茶の中に入れたのをレモン・ティーと云ふ。

【レリジアン】Religion (英) 宗教。

【レリーフ】Relief (英) 浮彫、ウキ彫。

【レン】Ream (英) 英語のリームの訛り、洋紙の單位に用ゐる、西洋紙五百枚を一レンといふ。

【廉價版】レンカパン 書物を澤山賣り廣めるために以前一度高價で賣つた本を前よりも用紙や装幀な

どを粗末にして安價で賣出す本、また初めから上製と並製と高下二種の本があるときは並製は廉價版に當る。

【連行廣告】レンカウワウコク 樂隊式廣告、またその類の廣告をいふ、幟や旗などを持つて數人行列し町を練り歩き口上を述べながら廣告するもの。

【連鎖劇】レンサゲキ 芝居に活動寫眞を應用した特種の劇、一時流行したが近頃は次第に減びて行くやうである、舞臺で演出することの出来ない所を活動寫眞で見せ劇の要所には實物の俳優を使つて觀客に眞に迫る感じを與へやうとして考案されたものである。

【レンズ】Lenz (英) 鏡玉、透鏡、眼鏡の玉、寫眞機の玉などをいふ。

【レントゲン科】Roentgen (英) X光線科のこと、で病院や醫學研究所に在る、レントゲンといふのは發明者の名でその人の名を付けて記念しやうとしたもので別にX光線ともいふ、X光線は

暗室内で人體を透射し疾病のある所を明かに示し、また強力な光線の作用は「るゐれき」のやうな特種の腺病を治療するに適して居る。

【レンブラント光線】Rembrandt (佛) 佛國の有名な畫家レンブラントの描いた繪にあるやうな光線、近頃寫眞を撮るときに用ゐられる、一方だけ明けて三方を暗くしその明けた所から入つて来る光線を背にして人物を撮影すると顔面・肩から腕にかけて強い白い縁を現はすことをいふのである。

【浪界】ラウカイ 浪花節の世界、浪花節の仲間といふ意味。

【ローカル】Local (英) 地方、地方的、新聞の地方記事、野球などの地方團。

【ローカル・カラー】Local colour (英) 地方色と譯する、その項を見よ。

【ロースト】Roast (英) 燻く、焙ッる、炙りたる。

【ロースト・ビーフ】Roast-beef (英) 西洋料理の一、牛肉をバターで焼いたもの。

【ロープ】Rope (英) 綱のこと。

【ローブ・テロルテ】Robe-de-terre (佛) 婦人の禮服。

【ローマン・スタイル】Roman style (英) ローマ 字體のこと。

【ローム】Roam (英) 壞去、砂を混じた粘土。

【ロイヤリズム】Royrism (英) 尊王、尊王主義。

【ロイヤリティー】Royalty (英) 主權、王道、王領。

【ローラー】Roller (英) 石、または鐵製の地ならし用廻轉機。

【ローラ・スケート】Roller skate (英) 四つの小さい車のついた臺を靴につけて板張の上を滑り廻る遊戯をいふ。

【ローリング】Rolling (英) 汽船などの左右に動搖すること。

【ローン】Loan (英) 貸附、貸借、負債などの意。

【ローン・テニス】Lawn tennis (英) 庭球、外國で硬球は芝の上の平らかな所で行つたのでかくいふが日本ではまだ芝のあるコートはない。

【勞資協調】ラウシクフチウ 資本家と勞働者との間に爭議が起つたときその中間に立ちて妥協點を見出し双方の融合を計ることをいふ。

【勞働運動】ラウドウウツドウ 十九世期の初期から國民の思想は民主的となり勞働者が次第に覺醒した一方諸工業發達の結果より生じて來た運動の一つで多數の勞働者が自己の地位を向上する目的で一致團結し資本家に對して試みる運動。

【勞働學校】ラウドウガクカウ 勞働者に必要な學科を教授する學校、大正十年六月東京小石川に中央勞働學院が出來、同年九月日本勞働學校、勞働社會大學等が設立された。

【勞働貴族階級】ラウドウキゾクカイク 勞働者の中に貴族は居る譯ではないが勞働者中比較的收入の多

い者や労働運動の指導又は代表者などを最左翼派の者が労働者の貴族であると皮肉つた言葉。

【労働共産主義】ラウドウキョウサンシユキ Syndicalism (英)

サンヂカリズムのこと、現在の資本主義國家を否定し議會による労働階級の利益増進を否認し資本主義經濟組織を根本的に破り政治上・經濟上の實権を労働組合の手中に收めて労働者の天下を實現せんとする主義の總稱である。

【労働組合】ラウドウクミアヒ 労働者が自己の力によつて労働條件の改善・地位の向上を圖るため資本家その他に對し交渉をなすに當り利便を得やうとして團結した組合をいふ。

【労働権】ラウドウケン 社會學說の一、人間は食はなくてはならぬからその資料を得るため労働の機會は社會權利として要求することが出来なければならぬといふ所から生れた説である。

【労働祭】ラウドウサイ メー・デーに同じ、其項を見よ。

【労働争議】ラウドウサウギ 資本家と労働者との間に起

る争ひ、好景氣時代の反動として經濟界は極度の不況に陥つたので労働者の解雇・工場閉鎖等を斷行し多數の失業者を出し一方労働者は労働権を要求するため一團となつて争ふに至つたと

【労働煙草】ラウドウタバコ 惡魔煙草・馬方煙草に同じ、その項を見よ。

【労働問題】ラウドウモンダイ 資本家對労働者間に種々複雑なる關係を生じて來たのでそれ等に關係する問題を總稱して労働問題といふ、この一般的な問題は労働時間・賃銀・保健・團體交渉權の確認・労働組合加入の認容などである。

【労働政府】ラウドウセイフ ロシアソビエト聯邦社會主義共和國政府のこと、舊露國最後の政府としてレーニンの革命軍によつて顛覆されレーニンの率の下に生れた現在の政府をいふ。

【勞兵會】ラウヘイクワイ ロシア革命後に出來たもので労働者と兵士との聯合同盟革新團。

【蠟池】ラウベン 東京第一高等學 では十二時一消

燈するのでその後勉強する者は蠟燭をつけてする所からこの名が起つた。

【浪漫主義】ラウマンシユギ 英のロマンティズムの當字、夏目漱石の發案になるものである、ロマンティズムの項を見よ。

【浪漫的】ラウマンシユキ Romantic (英) の譯 正しくはロマンティックと發音する、浪漫主義的とはいふ同じであるが單に情話的・小説的・空想的・熱情的といふときに用ゐられることもある。

【勞務出資】ラウムシユツシ 合資會社において社員が會社の資本に金銭または他の財産を出資する代り勞力を以てその出資にすること、この社員を勞務出資社員といふ、轉じて他人のために何かと世話をすることにもいふ。

【勞力移轉】ラウリョクイデン 米國の工場から出た新語、資本家が勞力の新陳代謝の美名の下に給料の多い者から解雇し低給の者を雇入れるをいふ、これは給料切崩しの一策である。

【老齡船】ラウレイセン 建造後多くの年數を経たので航海に危険のおそれある船舶。

【六區】ロクク 淺草公園活動寫眞街一帯の地、同公園の區劃は一區二區といふ風に分れて居るが活動街は六區に當るのでこの稱がある、また轉じて下品な所といふ意にも用ゐられて居る。

【六號】ロクガウ ①六號活字のこと ②下らぬ投書家をいふ ③六〇六號の略。

【六種傳染病】ロクシユヂンセンビヤウ はしか、ほうそ、チブス、コレラ、ヂフテリア、せきりの六種で病勢の猛烈な傳染病。

【六〇六號】ガウ 砒素劑の一、獨逸のエーリッヒ博士が六〇六回試験の結果發見したもので花柳病治療用の注射劑である、またこれをサルヴァルサンともいひ精製品にネオ・サルヴァルサンといふものがある、アーセシンおよびネオ・ネオ・アーセシンの項を見よ。

【ロケーション】Location (英) 活動寫眞用語の一、

本来は位置・場所などの意であるが活動寫眞用語として、俳優が地方に出張し、實物を背景として演ずる場面を撮影することに用ゐられる。

【路上寫眞】ロジャウシヤレン 路上の小景をスケッチ式に収めた寫眞のこと。

【ロス】Loss (英) 無駄、損失。

【ロスト・ラブ】Lost-love (英) 失戀、破れた戀。

【露臺】ロダイ バルコニーに同じ、その項を見よ。

【ロッター】Rotor (英) 役に立たない人、また物。

【六方】ロツバウ 演劇用語の一、役者が揚幕に入るときの高足踏み、これには両手六方・片手六方・飛び六方・狐六方などの種類がある。

【ロハ】「只」の字をしやれて上と下と二つに分けて用ゐた語、無一文とか無代價のこと。

【ロハ臺】ロダイ 無料腰掛ベシのこと、公園や無料休憩所などにある腰掛のこと。

【ロボット】Robot (英) 人造人間、ボヘミヤのある作家の社會劇の名から出たもので結局人間は

機械を造つたが最後には機械に征服されるといふことを偶したものである。

【ロマンス】Romance (英) 小説、傳奇物語、情話などの意、多くはローマンスといふやうであるがロマンスといふのが正しい、一般にロマンスといへば戀愛に關した話に用ゐられて居る。

【ロマンス・カー】Romance-car (英) 大正十年頃出來た省線二等客車のこと、二人席をならべてあるので見知らぬ男女が同席してその間に情話的のことが起り易いといふのでこの名がある。

【ロマンティズム】Romantism (英) の譯 十九世紀の前半期に思想界・文藝界を風靡した主義、文藝上では従來の古曲主義が標準や規範に囚はれて個性・生命・情味などはなく全く形式にのみ拘束されるのに反抗して飽く迄感情を貴び自由奔逸な情緒や空想の動くまゝに超時代・超自然的のものを材料として取扱ふに至つた、従つて不思議・新奇・悲哀・神祕にあこがれるため現實

と離れたものとなつて終つた、その反動として自然主義が勃興したのであるが因襲を打破し個性を解放するといふ點では自然主義はロマンティズムの精神を承け繼いだものと見られる。

【論説】ロネツ 新聞・雑誌の社説のこと、新聞・雑誌等でその重要欄に於て或る問題に對し代表的の意見を述べた論文、日本の大新聞社では論説部を置き論説に力を入れて居る、社説の項を見よ。

【ロンバート街】Lombardstreet (英) ロンドン金融市場の中心街、大銀行・大會社等軒をならべ各種の仲買人が集つて居る、東京の兜町・大阪の北濱のやうな所。

【ワーシップ】Worship (英) 崇拜。

【ワー・ピクチャー】War picture (英) 戰爭畫。

【ワー・ベビー】War baby (英) 戰爭赤ん坊、歐洲大戰直後方々で父親の判らない赤ん坊が生れ

たその赤ん坊のことをいふ、大正十二年九月關東大震災後可なり父不明の赤ん坊が生れたそれを「地震子」といふやうなものである。

【ワイアレス・テレグラム】Wireless-telegram (英) 無線電信。

【ワイアレス・テレフोन】Wireless telephone (英) 無線電話。

【ワイシャツ】Whit shirts (英) 英語のホワイト・シャツの訛り、洋服の下着でカラーとカウスのついたシャツのこと。

【ワイズ】Wise (英) 賢き、賢明な。

【狼本】ワイホン みだらな話ばかりを集めた書物、淫本のこと。

【ワイヤ】Wire (英) 電信電話線、針金、また針金を集めて一把とし作業のときなどに重き物を引くに用ゐるものをいふ。

【ワイルス氏病】シビヤウ 黄疽出血病、九州醫科大學の稲田博士がこの病氣の病原菌を發見したも

のでスベヘータといふ學名にて世界に發表され
た。

【ワイルド】Wild(英) 野生の、野蠻の、粗野の。
【ワイルド・ピッチ】Wild pitch(英) 野球用語の
一で暴投のこと、投手の投じた球が捕手が受け
ることが出来ないやうな亂暴なもので捕手の背
後に球が飛びそのために走者が進壘したときの
球をいふ。

【ワイフ】Wife(英) 妻、夫人の意。

【ワイン】Wine(英) 葡萄酒。

【若い燕】ワカイヤノ 年長の婦人が愛する年下の男
を小鳥のつばめのやうに愛し同棲することが一
時新しい女の間に流行したことがある、それ以
來婦人より年下の愛人を若い燕といふ。

【若返り法】ワカガヘリハフ スタナッハ博士の發見した
もので一時日本でも大いに宣傳された、男女生
殖器の手術によつて生殖力は恢復されまた心身
共に若返へるといふのである、轉じていろく

な方面に用ゐられて居る。

【ワクチン注射】チヌウシヤ 血清皮下注射の一、病菌
を殺して注射するものでこの注射によつて体内
に反抗素が生ずるから病菌の發生を豫防するこ
とが出来た。

【和事師】ワゴトシ 情話の上手シヤメな役者のこと。

【勿忘草】ワスレナグサ Forget me not(獨) 獨逸の傳
説から出たもので戀する男女が一夜ライン河を
散歩したときに女はふと足もとに名もなき空色
の花が眼についたので戀人にその花を採つて下
さいと願つた、青年は岸邊に咲くその花を採り
て戀しき君に捧げんとしたとき足許をすべらし
てライン河中に墜入つてしまつた、青黒い河中
から青年は痛しい聲で「忘れないで下さい」と、
それ以來この花をホアーゲット・ミイ・ノットと
呼んだ、日本で直譯して勿忘草といつて居る。
【早稻田ニアン】ワセダ 早稻田大學の學生・出身者。
教授などをいふ。

【早稻田派】ワセダハ 早稻田大學の關係者のこと。
【ワッシュ・スタンド】Washing-stand(英) ワッシ
ング・スタンドの略、洗面室。

【ワット】Watt(英) 原位を異にする二點の間を
一アンペアの電流が流れるとき一秒間になす仕
事を一ワットと云ふ。

【ワッフル】Waffle(英) 西洋菓子のワッフルのこと。
【剗勘】ワカカン 剗前勘定の略、遊興費などの勘定を
一人一人に剗り宛てること。

【わりした】調味料の一つで肉類を煮るときに用
ゐる、醤油・味淋などを調合して造つたもの。
【ワルツ】Waltz(英) 舞曲の一、一定の奏樂に合
して踊る二人舞踊の一種、並にその曲のこと。

【割れ】ワ 相場用語の一、下落のとき圓位以下に
なること、三十圓のものが二十九圓六十錢にな
ると六十錢割れといふ。

【ワン・アクト・プレー】One act play(英) 一幕物
と譯する、その項を二見よ。

【ワン・ステップ】One-step(英) ダンスの一、男
女一組が相擁して音樂に合せ一步一步踏み出し
て踊る、社交ダンス中最も簡便なるものである。
【ワンダー】Wonder(英) ①奇怪なこと、不思議
など②驚き、恐懼、驚異の復活の項を見よ。
【ワンダーフル】Wonderful(英) 不思議な、奇
怪な、驚かす。

【ワンダラー】Wanderer(英) 正しくはウォンダ
ラーと發音する、放浪者、風來人などの意。

【ワン・マン・ワン・パーティー】One man one part
(英) 一人一黨、非政黨主義の意を現はした語で
議會の議員が何れの政黨・政派にも屬せず各人
が單獨で自由に政治を論議する主義をいふ。

俚諺

あ

開いた口もふさがれぬ
 開いた口へ牡丹餅
 葉の杖でころぶと三年生きぬ
 秋茄子は嫁にくはすな
 秋茄子を嫁に食はせて七里追ふ
 秋の空と女心は七度變る
 秋の夕やけ鎌を研げ
 あきらめは心の養生
 商ひは牛の涎
 商人の空誓文
 商人と屏風は曲らねば世に立たず

悪事千里
 惡に強ければ善にも強し
 悪女は鏡をうとむ
 悪人には友多し
 悪妻は六十年の不作
 頸で蠅を追ふ
 朝起の家には福來
 朝起は七つの徳あり
 朝雷に隣歩きをするな
 浅き川も深く渡れ
 朝題目に夕念佛
 明後日紺屋に今度鍛冶屋
 朝齋に笠を着よ夕齋に笠をぬげ
 朝腹の茶漬

朝虹に河越すな
 朝虹は其の日の洪水
 朝寝坊の宵まどひ
 麻の中の迷
 朝油断の夕屈み
 朝惠比壽に夕大黒
 痿人起つことをわすれず
 足元から鳥が起つ
 足ふみたてぬ世の中
 足駄を洗へば雨がふる
 明日のことを云へば鬼が笑ふ
 明日の百より今日五十
 明日は明日の風が吹く
 當つて碎けよ
 頭かくして尻隠さず

頭の黒い鼠
 頭のぬれぬ思案
 あたら口に風を入れる
 當らぬものは夢とちよぼいち
 當るも八卦當らぬも八卦
 あたる罫は菰をかぶつて當る
 仇は恩にて報ぜよ
 吾妻男に京女
 暑さ忘れて蔭わする
 暑さ寒さも彼岸まで
 あつての厭ひ無くてのしのび
 預り物は半分の主
 後足で砂を掻く
 後の雁が先になる
 後の祭り

阿呆につける薬がない
 合せ物は離れ物
 阿波に吹く風讃岐にも吹く
 合はぬ蓋あれば合ふ蓋もあり
 飯の片思ひ
 相手かはれど主變らず
 相手のさせる功名
 合縁奇縁
 合ふは別れの始め
 仰いで唾はく
 あぶもとらず蜂もとらず
 甘い酢ではいかぬ
 蟹の一本針
 尼や沙彌や茄子の蒂
 餘り寒さに風を入れ

餘り圓きは轉びやすし
 餘るにまゝ兒なし
 阿彌陀の光りも金次第
 網もやぶらず魚も漏らさず
 雨降りて地固る
 過の功名
 過は好む所にある
 争ひ過ぎての乳切木
 蟻の思ひも天まで通る
 蟻の熊野参り
 有るはなく無きは數添ふ
 有るものは手からこぼるゝ
 藍は藍より出でゝ藍より青し
 案じるより産むがやすい

怒れる拳突顔にあたらず
 往き當りばつたり
 息の香の臭さは主しらず
 生馬の目をぬく
 軍見て矢をはぐ
 缺唇がゑくぼに見ゆる
 威權を笠にきる
 石の上にも三年
 石が物言ふ世の習ひ
 石が浮んで木の葉が沈む
 石橋も叩いて渡れ
 石を抱いて淵に入る
 醫者の自薬効なし

醫者の不養生
 いすかのはしのくひちがい
 急がばまわれ
 板倉殿の冷炬燵
 痛し痒し
 馳のなき間に貂のほこり
 痛い上の針
 馳見目よし猫の顔杓子
 痛む上に鹽をぬる
 痛くなき腹さぐられな
 戴くものは夏も小袖
 市にわざはひを買ふ
 一葉落ちて天下の秋
 一舉兩得
 一花開けば天下皆春

一指痛んで身安からず
 一指前に蔽へば泰山も見えず
 一事が萬事
 一字千金
 一時の徒居は三年の惑ひ
 一樹のかげ一河の流れ
 一に看病二に藥
 一に掃除二に勤行
 一に心二に手綱三に鞭四に鏡
 一日延れば千日にむかふ
 一人虚を傳ふれば萬人實を傳ふ
 一人出家すれば九族天に生まる
 一人の好士より三人の愚者
 一念は續くとも二念を起すな
 一年の計は元旦にあり

一富士二鷹三茄子
 一番樂は棺の中
 一盲衆盲をひく
 一文字は無文字の師
 一文銭か生爪か
 一文銭を割つて遣ふ
 一文銭は鳴らぬ
 一文まうけの百失ひ
 一利一害
 一を知つて二を知らず
 一を聞いて十を知る
 一犬虚を吠ゆれば萬犬實を傳ふ
 一生は風前の燈
 一升入の袋は一升より入らず
 一錢惜しみの百知らず

一寸の金で五尺の身を損ず
 一寸前は暗
 一寸の舌に五尺の身を損ず
 一寸延びれば尋のびる
 一寸の虫にも五分の魂
 一得一失
 一飯も必ずむくふ
 一匹の馬が狂へば千匹の馬が狂ふ
 いつも月夜に米の飯
 いづる日つぼむ花
 いとしがる子に旅させる
 逸物の鷹も放さねば取らず
 五日の風
 犬と猿の間柄
 犬もあるけば棒にあたる

犬になるなら大所の犬になれ
 犬にもくれば綱にもおかず
 犬骨折つて鷹の餌となる
 犬も朋輩鷹も朋輩
 犬は三日飼れると三年忘れぬ
 犬の齒に蚤
 命から二番目
 命あつての物種
 命長ければ耻おほし
 命にかへる財寶なし
 言はぬが花
 言はぬは言ふにまさる
 家賣れば釘の價
 家の高いより床の高いがよい
 家は一代名は未代

芋頭でも頭は頭
芋の煮えたも知らぬ
賤しむ金木で目をつく
嫌な妻も離縁した時は三百文損し
た心地する
入船の逆風は出船の順風
蒸豆に花
色の白いは七難かくす
色は思案の外
鯛の頭も信心がら
鯛の頭をせんより鯛の尾につけ
陰徳あれば陽報あり
井戸端の茶碗
井戸から火の出るやう
井の中の蛙大海をしらず

田舎に京あり
田舎の學問より京の晝寝
居眠りも奉公
猪武者 兎兵法
う
飢にのぞみて苗を植う
浮世は神國身はまじない
憂きは心に在り
兎の糞で糞かぬ
兎の登り坂
兎も七日撫づれば喰ひつく
兎を見て鷹を放つ
牛にひかれて善光寺参り
牛に琴聞かすな

牛の小便十八町
牛のしりかいははづれつこなし
牛の角を蜂が刺す
牛は牛連れ馬は馬連れ
後暗ければ尻餅をつく
後暗いは鬼の餌食
嘘から出た眞
嘘は跡から禿げる
嘘は泥棒の初まり
嘘らしき誠は言ふとも誠らしき嘘
は言ふな
歌ものがたり歌わすれ
歌ふも舞ふも法の聲
諸十八手六十

内には金の茶釜が七つ
内のさゝやき外のどよみ
氏より育ち
氏なくして玉の輿
移れば變る
打てばひびく
獨活の大木蓮の太刀
卯の時雨に笠を脱げ
鶉の眞似する鶉
鶉の目鷹の目
噂をすれば影
噂を云へば主が来る
乳母にもゑくぼ
上見ぬ鶯
上を見ればほうずがない

甘い物食はする人に油断すな
甘い物は背に喰へ腹の立つことは
翌日にいへ
馬の耳に風
馬の耳に念佛
馬にはのつて見よ人には添ふて見よ
馬にのるまでは牛にのれ
生れぬ先の父
生れぬさきの襦袢定め
海に千年川に千年
海の事は船人に問へ山の事は山人に問へ
生みの恩より育ての恩
梅を伐らぬ馬鹿もあり

梅と云へば唾がたまる
梅は食ふとも種を食ふな
瓜の蔓には茄子はならぬ
賣物に花をかざれ
賣り詞に買ひ詞
瓜二つ
有爲轉變は世の習ひ
魚心あれば水心
魚と水とは仲良い筈
魚の木に登るが如し
魚の水に離れたやう
魚の目に水見えす
魚を猫にあづける
運盡くれば智慧の鏡もくもる
運は天に在り

運命は人に問へ

え

榮耀に餅の皮をむく
 餌食に毒なし
 えせ者の空笑ひ
 枝葉の茂りたるは果實なし
 得たり賢し
 得手に帆を揚げる
 得手物で仕損じる
 江戸ッ子は口先ばかり
 江戸の敵を長崎で討つ
 江戸は人の掃溜め
 蝦で鯛を釣る
 蝦の鯛交り

袴もとに就く
 縁なき衆生は度し難し
 椽の下の駕籠廻し
 椽の下の鉄つかひ
 椽の下の力持
 椽の下の舞
 畫にかいた餅をくひたがる
 酔に十の損あり
 酔人に怪我なし
 酔ざめの水戸しらず
 笑の中の劍
 遠慮が無沙汰になる
 遠慮ひだるしだて寒し

お

岡目八目
 伯父が甥の草を刈る
 夫あれば親忘る
 夫に對しては唾をかへすな
 男だてより小鯛だて
 男に似たる女なけれど女に似たる
 男多し
 男の口から出た事は反古にならぬ
 男の心と秋の空は夜の間に七度か
 はる
 男の心と川の瀬は一夜にかはる
 男の心と大黒柱は太うても太かれ
 男の四十は分別さかり
 男の光りは七光り
 男の目には糸を引け女の目には鈴

をはれ

男は氣でもて論は酔でもて
 男は敷居をまたげば三人の敵あり
 男は禮にあまれ女はくわしよくに
 あまれ
 男は男に付き女は女に付く
 尾をふる犬はたゝかれず
 女氏なくして玉の輿にのる
 女さかしくして牛賣りそこなふ
 女の根性は蛇の下地
 女の智慧は後へ廻る
 女の智慧は鼻の先
 女の張る弓は射られず
 女は口さがなし
 女やもめに花が咲く

陰陽師身の上しらず
 陰陽師の門に艾絶えず
 老木に花咲く
 老妻のしれ笑ひ
 老いては再びちごとなる
 老いては事にひがむ
 老いては子に従ふ
 お釜の團子でかすばかり
 起きて半疊寢て一疊
 沖にも着かず磯にもつかず
 臆病の目火に責めらるゝ
 臆病者の據なし
 おくれ先立つ世のためし
 奥歯へ物のはさまるやう
 驕る者久しからず

お先眞暗
 啞の夢見るが如し
 小田原評定
 落武者は芒の穂におそる
 お月様と鼈
 落れば同じ谷川の水
 落し文は讀む所にとがあり
 おつら山吹日蔭の紅葉
 おとなは目はづかし下衆は口はづ
 かし
 同じ穴の狐
 鬼に鐵棒
 鬼と女は人に見えぬぞよき
 鬼の霍亂
 鬼のそら念佛

鬼の首を取つたやう
 鬼の目にも涙
 鬼も十七番茶も出花
 鬼も頼めば人くはぬ
 鬼も笑顔
 己の事は棚にあげて置く
 己を忘れて人を怨む
 お猿の座を拂ふ
 帯には短し襷に長し
 負ふた子に教へられて浅瀬を渉る
 負ふた子に抱いた子
 お臍で茶をわかす
 多いは足らぬ基
 傾に衣をきせたやう
 大手を防げば搦手がまはる

大勢に手なし
 大取するより小取せよ
 大鳥の尾より小鳥のかしら
 大口をあけると膽が見える
 大馬も八斗小馬も八斗
 公の私
 大男の見かけ倒し
 面白狸の腹つゞみ
 面白狸に侍る
 重荷に小づけ
 思ひ立つ日が吉日
 思ひを包むは罪深し
 思ふ子に旅させよ
 思ふ事を寢言にいふ
 思ふ事を夢に見る

思ふ事は口に出る
 思ふ中には公事さするな
 思ふ中には垣をせよ
 思ふに言はで思はぬに云ふ
 思ふ念力岩をも通す
 思ふ人には遠ざかれ
 思ふ人はほだしとなる
 思ふより産むが安い
 親孝行は我がため子孫のため
 親子でも金銭は他人
 親子は一世夫婦は二世師は三世
 親と月夜はいつもない
 親なき後は兄が親
 親に似ぬ子は鬼子
 親の心子知らず

親の善悪は子孫にむくふ
 親のもたする子心
 親の死は神の聲
 親の因果が子に報ふ
 親の怨目
 親の恩を子でおくる
 親の辱は子の辱
 親の奔走は他人がにくむ
 親の意見と冷酒は後にきく
 親の爵と小棘雨は當るが知れぬ
 親の物は子の物
 親は苦をする子は樂をする孫は乞食する
 親はなくとも子は育つ
 親は守りの神

親ほど親をおもへ
 おろか者に福あり
 恩知らずに乞食の相
 恩の死はせねど情の死はする
 恩報じに出世の相
 恩を仇でかへす
 か
 海賊が山賊の罪を擧ぐ
 僧老同穴の契
 好事魔多し
 好事門を出でず悪事千里を行く
 好事も無にしかず
 剛者に矢立たず
 郷と化物は見たものなし

郷に入つては郷にしたがへ
 好物に祟なし
 蝙蝠も鳥のまね
 高野ひじりに宿かすな
 高木は風に折らる
 孝行のしたい時には親はなし
 孝經で親の面を撲つ
 孝は百行の本
 蚊が春けば雨が降る
 鏡は女の魂
 垣に目口
 鑰の穴から天をのぞく
 柿を盗みて核かくさず
 餓鬼の斷食
 餓鬼の花争ひ

餓鬼の目に水見えず
 隠さば穴をほれ
 隠しての信は顯はれての徳
 隠すことは現はれる
 騙くも引くも折による
 がくやにて聲をからす
 學者の不行儀
 匿すことはせぬがよい
 角じや世間はわたられぬ
 陰言いはれて喫する
 かけ馬に鞭
 籠の中の鳥
 駕に乗る人擔ぐ人
 籠にて水を汲む
 窟もさはらねばうつらぬ

頭が動けば尾も動く
 頭かくして尾を出す
 歌人は居乍らにして名所を知る
 かすがひ思案
 稼ぐに追付く貧乏なし
 風はふけども山は動かず
 風は百病の本
 かせげば身が立つ
 堅きもの破れ易し
 片口開いて公事わくるな
 形は産めども心は産まざ
 かたや貸しておもやとらるゝ
 堅まり法華に徒黨門徒
 刀主を擇ぶ
 刀は男の魂

刀の刃を渡るが如し
 蝸牛のからたゝき
 形見は思の種
 河童の川流
 河童に鹽を洗へる
 癩の瘡うらみ
 勝つて兜の緒をしめよ
 湯にのぞみて俄かに井戸を掘る
 湯しても盗泉の水を飲まず
 門脇の軀にも用あり
 家内和合は福神祭り
 家内不和合は貧乏神の宿
 かなしき時は身ひとつ
 かなはぬ時の神だのみ
 かなたはよけれどこなたのうらみ

鐵槌の川流れ
 蟹は甲に似せて穴をほる
 金がかたきの世の中
 金請けするとも人請するな
 金のきれ目が縁のきれ目
 金は火で試み人は酒でこゝろむ
 金持と灰吹は溜るほどきたない
 鐘も撞木のあたりから
 鐘鏽るまでの土鏽型
 鐵の下駄で尋ねてもなし
 金のなる樹
 金持鎗持辨當持
 金を水の様に使ふ
 川越して宿をとれ
 川だちは川で果てる

川中には立てもども人中には立たれ
 ず
 川流れの瓢箪
 川に水をはこぶ
 川にて舟を破る
 川向ふの喧嘩
 蛙の面に水
 蛙の行列で向ふが見えぬ
 蛙の子は蛙
 可愛い子はうて
 可愛いさあまつて憎き百倍
 瓦も磨けば玉となる
 飼犬に手を噛まる
 兜を脱いで降参する
 がふ張りつよくて家倒す

壁越し推量
 壁に耳あり障子に目あり
 顔に似ぬ心
 神と佛水波のへだて
 神は正直の頭にやどる
 神は非禮をうけず
 神は人の敬ふによつて威を増す
 神は見通し
 上下を着た盗人
 神へも物の申がら
 上を學ぶ下
 剃刀にさやなし
 剃刀の刃をわたる
 髮結の茶筌髮
 髮結のおひく紺屋のあさつて

紙子にも襟祝ひ
 龜の甲より年の劫
 鴨寒うして水に入る
 烏の頭の白くなるまで
 烏の行水
 借りる八合かす一升
 借りる時の地藏願濟す時の閻魔面
 借り着より洗ひ着
 借り家榮えて大母屋倒るゝ
 枯れ木も山のにぎはひ
 枯れ木にも花さく
 皮を引けば身があがる
 雁が飛べば水龜もじだんだふむ
 勘定あつて銭たらす
 勘忍の忍の字が百貫する

勘忍百兩
 勘忍五兩負ふて三兩
 勘忍は萬貫に換へがたし
 勘忍囊の緒がきれる
 看板に偽りなし
 ざ
 聞いて極樂見て地獄
 聞いて千金見て一毫
 木から墮た猿
 聞とり學問
 饑饉は海から
 聞くは其の時の耻聞かぬは一生の耻
 聞けば氣の毒見れば目の毒

疑心暗鬼を生ず
 北風と賃取は日の内
 氣違ひも獨りくるはず
 雉もなかなば打たれまじ
 狐が虎の威を借る
 狐を馬に乗するが如し
 氣で氣を病む
 木に竹を接ぐ
 木登り川立ち馬鹿がする
 杵に當り棒に當る
 木の曲りは直れど人の曲りは直らず
 木の實は本にこぼるゝ
 昨日は今日の昔
 昨日のつゞれ今日の錦

昨日は人の上今日は身の上
 昨日は蠅今日は姑
 氣は心
 君は舟臣は水
 君辱められて臣死す
 窮鼠却て猫を噛む
 窮鳥懐に入れば獵師も之をとらず
 急病に悪日なし
 兄弟は他人の始り
 兄弟は兩手の如し
 狂人走れば不狂人も走る
 京に田舎あり
 京の着だふれ
 強將の手下に弱卒なし
 客と白鷺は立たぬが見事

雖は袋を通す
 義理とふんどしはかゝされぬ
 きりなしより盛りなし
 麒麟も老ゆれば驚馬におとる
 木を木金を金
 金言耳に逆ふ
 金鈴さすか菰着るか
 金銀は湧きもの
 近所に事なかれ
 臭いものに蓋
 臭いものに蠅がたかる
 くさつても鯛ちぎりても錦
 愚者も千慮に一得あり

藥なければ病なし
 藥能書程きかず
 藥人を殺さず醫者人を殺す
 癖ある馬に能あり
 癖物の空笑ひ
 管の穴から天井のぞく
 口と財布はしめるに利あり
 口に年貢はいらず
 口は禍の門
 唇薄きものは能く言ふ
 口も八丁手も八丁
 口故に身をはたす
 履新しといへど冠とせず
 くどの火は前で焚け風呂の火は奥でたけ

國に二君なく民に兩主なし
 食はず貧樂
 窪いところへ水たまる
 蜘蛛さがれば悦びあり
 雲にかけはし
 蜘蛛のあみに風たまらず
 蜘蛛の巢で石をつる
 苦樂は生涯の道づれ
 水母も骨に遇ふ
 くらやみから牛を引出す
 くらやみの耻をあかるみへ出す
 車は三寸のくさびを以て千里の道
 をかける
 紅は園に植ゑてもかくれなし

光陰矢の如し
 光陰に關守なし
 火事後の火の用心
 火事場へ饑
 火事と葬式に行けば勘當もゆりる
 蝸牛の角の争ひ
 福福はあざなへる繩
 果報は寝て待て
 勸學院の雀蒙求を囀づる
 苦をせねば樂はならず
 君子の交りは淡くして水の如し
 君子は危きに近よらず
 君父の仇は共に天を戴かず

螢火を以て須彌を焼く
 敬して遠ざく
 傾城買ひのぬかみそ汁
 傾城の空涙
 螢雪の功を積む
 系圖を重んじ寶とす
 藝は身を助ける
 稽古に神變あり
 桂馬の高上り歩の餌食
 怪我の高名
 下戸と化物はなし
 下戸の酒うらみ
 下戸のたてたる蔵もなし
 下戸は上戸の被官
 芥子に須彌をかくす

下衆のあと智慧
 下衆の樂は寢樂
 下衆の誇り合ひ
 下衆の唇と夜着の袖
 下衆も三しき上臈も三しき
 結構は馬鹿の唐名
 今日人は人の上あすは身の上
 外法の下り坂
 けむる座敷には居られぬ
 毛を吹いて疵を求む
 喧嘩過ぎての棒ちぎり
 喧嘩同士の軒ならべ
 喧嘩に負けて妻の面はる
 喧嘩兩成敗
 賢人は危きを見ず

賢人は賢人を以て求め盗人は盗人
 を以て求む
 賢者ひだるし伊達寒し
 賢人を賢とす
 賢臣二君に仕へず貞女兩夫にまみ
 えす
 現世後世を取りはづす
 見物ならば笠を見よ

肥えたるが故に貴からず
 木蔭に臥すものは枝を手折らず
 故郷には錦をかざる
 こけほどおそろしいものはない
 五穀は民の汗
 こゝといへばかしことさとする
 こゝみ鈍にそり録
 心内に動けば言葉外にあらはる
 心から乞兒となる
 心ざしは髪筋
 志は木の葉につゝむ
 心なきは親の故郷をかたる
 心の鬼が身をせむる
 心に垣をせよ
 心は面の如し

心の駒に手綱ゆるすな
 心の師とはなれ心を師とせざれ
 心は丸く爪は角
 心は心として事たらず
 心程の世を經る
 心弱き者は爺なし子を産む
 小舅一人が鬼千疋にむかふ
 五十煙草に百酒
 五十歩百歩
 碁將碁は親の死目に合はぬ
 碁が強ければ將碁も強い
 乞食に種なし
 乞食の斷食
 乞食の友えらび
 乞食も朝祝ひ

五七の雨に四つ早
 後生願はで西枕
 後生大事
 後生も徳のあまり
 御所大裏の事も蔭ではいふ
 こつては思案にあたはず
 子實脛がほそる
 琴柱に膠する
 言葉多きは品少し
 言葉に花を咲かす
 言葉に物はいらぬ
 ことばの先を折る
 ことばの洩るゝは禍の媒ち
 言葉は國の手形
 言葉は立居をあらはず

子供は風の子
 子供の喧嘩に親が出る
 子供喧嘩は親喧嘩
 子に迷ふ親心
 碁に凝ては親の死目にあはれぬ
 碁に負けたら將碁で勝て
 粉糠にも根性
 粉糠三合持つたら入舞するな
 粉糠もかめば甘くなる
 子は三界の首枷
 こはひ顔すりや正月と思ひ
 こはいもの見たし
 子は夫婦の鏡
 鯉の瀧登り
 戀の病に藥なし

戀に上下なし
 戀はくせ者
 氷に塗下駄
 氷は水より出て水より寒し
 氷を鏝め水に煮く
 子煩悩に子なし
 駒の朝走り
 胡麻の遅蒔赤豆の早植
 ごまめの齒ぎしり
 米を粗末にすると眼がつぶれる
 子持を雇ふよりびつこをやとへ
 五文取りの一里追ひ
 子ゆゑの暗
 轉ばぬ先きの杖
 轉んでも唯起きぬ

衣を染めるより心を染めよ
 子を知るものは親
 子を持つて知る親の恩
 蒟蒻の桶をつく
 金輪際玉も拾へば盡きる
 さ
 才子は病多し
 才智は身の仇
 草履片々下駄かた／＼
 葬禮過ぎての醫者嘸
 肴は上臈に焼かせよ餅は下衆に焼かせよ
 下り蜘蛛あれば人が来る
 盛りの花を野でくらす

鶯は立てどもあとを濁さず
 先んずれば人を制す
 櫻は花にあらはるゝ
 酒盡くれば水を飲む
 酒に飲まれる
 酒に酔ひて泥となる
 酒に酔ふて本性忘れず
 酒は憂ひの玉簪
 酒は酒屋に茶は茶屋に
 酒は三献に限る
 酒は諸道の邪魔
 酒は百薬の長
 酒は本心をあらはず
 さぐめ先より口の先
 囁き千里

さしやき八丁
 坐して食へば山も空し
 座頭さへ京へのぼる
 座頭の寝入ると月夜の明くるは知れず
 悟らふと思ふも迷ひ
 さはらぬ神に崇なし
 さはり三百
 五月雨は金も溶ける
 寒き時にきたなきものなし 饑るき
 時にまづきものなし
 さや走りより口走り
 去るあとへ行くとも死にあとへは
 行くな
 猿に烏帽子

猿の水練魚の木登り
 猿の人真似
 猿も木から落ちる
 戯もこうじれば喧嘩となる
 竿の先で星をつく
 三界は氷の上の泡
 三界の火宅四衢の露地
 三月綿をまかぬ馬鹿四月綿蒔く馬鹿
 懺悔話をすれば三年の罪が亡びる
 算術者の不身代
 三尺さがつて師の影を踏ます
 三寸の見通し
 三寸は見なほし
 山賊の罪を海賊があぐる

山椒は小粒でもからし
 三人よれば人中
 三人よれば文珠の智慧
 三年たてば三歳になる
 し
 思案の案の字百貫する
 舅の場ふさがり
 舅の物で友むこをもてなす
 鹿の角を蜂がさす
 鹿は射手の前に来る
 鹿を逐ふものは山を見ず
 鹿を見て矢はぐ
 猪食つたむくひ
 獅子身中の蟲

獅子は子を谷へ落して其勢を見る
 死しての長者より生きての貧人
 四十二の二つ子
 師匠は針の如し
 磁石鐵をすへども石は吸はず
 舌三寸に五尺の身を果たす
 舌三寸に胸五寸
 親しき中にも垣をせよ
 親しき中は遠くなれ
 滴り積りて淵となる
 舌は禍の根
 七月のわかれ鳥
 七人の子は持つとも女に心をゆるすな
 日月は地に墮ちず

沈む瀬あれば浮ぶ瀬あり
 沈めばうかぶ
 師弟は三世
 死に一倍の手形
 死にまさる生辱
 死人に口なし
 死ぬ子のみめよし
 死ぬ者貧乏
 師走女の化粧は山の神も恐る
 慈悲は上からふる禍は下から起る
 四百四病より貧はつらし
 溢柿の種澤山
 十人は十色
 十人よれば十國のもの
 十年一むかし

十分は覆る
 十通よまんより一通うつせ
 鹽賣も手をなめる
 自慢高慢馬鹿の中
 將基了簡基分別
 證據のだしおくれ
 正五九月は崇り月
 上戸毒をしらず下戸薬をしらず
 上戸本性たがはず
 上手の猿が手を焼く
 上手の手から水が洩る
 上手の猫が爪をかくす
 正直の頭に神宿る
 正法に奇特なし
 商賈敵

杓子で腹切る
 杓子で芋を掘る
 杓子は耳搔きにならぬ
 蛇の道はへびが知る
 蛇は生れながらにして吞氣あり
 蛇は寸にして其貌を知る
 主が主なら家來も家來
 主従は三世
 主と親にはかたれぬ
 主と病には勝たれぬ
 主の門は泣いて通れ
 主の仰せには親の首打
 主の太刀は右に持つ
 主の前とすべり道は早く通る
 主の物で義理をする

朱に交れば赤くなる
 壽命三寸樂四寸
 食をねがはばうつはもの
 知らざるを知らずとせよ
 知らずば人に問へ
 知らぬ神に崇なし
 知らぬが佛見ぬが極樂
 知らぬが佛見ぬが神
 知らぬ字はかなで書け
 知らぬ佛よりなじみの鬼
 知る者は言はず言ふ者は知らず
 吝い坊主に檀家がな
 吝い坊の柿の核
 詩を作るより田を作れ
 信あれば徳あり

仁者に敵なし
 仁者は憂へず
 死んだ子の年をかぞへる
 信心も徳のあまり
 新宅は煤拂ひせず
 親は泣き寄り
 辛棒の棒が大事
 神力業力にかなはず
 す
 水火の争
 すいも辛いも御存じ
 棒が身を食ふ
 水滴石を穿つ
 未始終より今の三十

すかば心得よ
 過ぎたるは猶及ばざるが如し
 すきに赤糸ぼし
 すきに身をやつす
 隙間より来る風は寒し
 すくみ往生
 勝れて良きものは勝れて悪し
 進み立つ方に碍りなし
 雀の千聲鶴の一聲
 雀百途踊り忘れず
 捨つる神あれば拾ふ神あり
 捨つる神あれば助ける神あり
 捨て物は拾ひ物
 砂を搾りて油をとる
 脛に傷もてば笹原に走る

すまひも立かた
 相撲にまけて妻の面はる
 曇に近けば黒し
 曇は餓鬼にすらせよ筆は鬼にとら
 せよ
 住めば都
 濟んだ事をいふと鬼が笑ふ
 寸を問へば寸を答へ尺を問へば尺
 を答ふ
 せ
 聖人危きを嫌ふ
 聖人に夢なし
 聖人は危きに近よらず
 聖人も時にあはず

せいた蟹は穴を失ふ
 せいては事を仕損ずる
 性は道によつてかしこし
 短小者は精強し
 小智は菩提の障り
 小の虫を殺して大の虫を生かす
 積善の家には餘慶あり
 世間知らずの高枕
 世間は張物
 節は時をきらはず
 せつない時の神頼み
 せつない時に親を出す
 錢金は乞食も持つ
 背に腹はかへられぬ
 世法あれば衆生あり

是非は道によつてかしくし
 善悪は友を見よ
 善悪は地獄極樂
 千貫に笠一蓋
 千貫の鷹も放さねば知れず
 千言も一致
 前車の覆るは後車のいましめ
 船頭多くして船山へあがる
 船頭の一時權
 船頭の空急ぎ
 舟楫は二葉より香し
 千日に刈つた茅を一日に亡ぼす
 千日の勤學より一日の名匠
 千丈の堤も蟻の穴より崩る
 千人の指す所は違はず

仙人の千年蟬の一時
 千の倉より子は寶
 善は急げ
 煎餅に鐵槌
 千萬石食一杯
 千里の馬はあれども一人の伯樂なし
 千里の道も一步より始まる

そ
 總領の甚六
 底ぬけ上戸
 楚辭に梅なく萬葉に菊なし
 誘れば影さす
 そより觀音色藥師

袖ふり合ふも他生の縁
 其罪をにくんで其人を惡まず
 空に三廊下
 そりつむりに縮帽子
 損して徳とれ

た
 大隱は市にかくる
 穴海の一滴九牛の一毛
 大海は塵を撰ばず
 大海を手にてせく
 大行は細塵を顧みず
 大事の前の小事
 大事は小事より起る
 大食は命の取越

松が赤くなれば醫者の顔が青くなる
 提婆が惡も觀音の慈悲
 大は小をかねる
 大木一本の弱みは小木千本の痛みとなる
 大木の下に小木そだつ
 大名は家來がよつて馬鹿にする
 大名は地獄の下積
 大をいけて小の蟲を殺せ
 貴い寺は門からしれる
 貴きは賤しきがそねみ智者は愚人
 が嫉む
 唐人の囀
 關雀人を畏れず

道風のふるへふで
 田植布子に裸麥
 鷹はかしこけれど鳥に笑はるゝ
 鷹は死すとも徳を啄まざ
 寶の山に入つてむなしく歸る
 寶は國のわたりもの
 寶は身の仇
 寶をすりにあづける
 薪つきて火きゆる
 薪を抱いて火を救ふ
 竹の子親まさり
 竹八月に木六月
 多勢に無勢きじと鷹
 只取りやまの郭公
 墨の上の水練

墨の上の怪我
 立ち白で目をつく
 立ち佛も居佛も旦那はからひ
 立ちよらば大木のもと
 立つ鳥も跡をけがさず
 辰巳の門に戌亥の藏
 堅板に水を流すやう
 蓼喰ふ虫はからきをしらさず
 蓼喰ふ虫もすきん
 伊達のうす着
 棚から落ちた達磨
 棚からぼた餅
 他人の食ひより親の泣きより
 狸寝入鼠のそら死
 種のない法はつかはれぬ

樂しみあらむより憂ひなかれ
 樂しみは哀みのもとる
 待む木蔭に雨漏る
 たびかさなればあらはるゝ
 旅のつかひはありあはせ
 旅はういものつらいもの
 旅は道づれ世はなきけ
 倒るゝ所に土掘む
 たべ物と念佛は一口づゝ
 卵で石を打つ
 欺すに手なし
 玉の杯底なきが如し
 玉磨かざれば光りなし
 たまに吹く風物にあたる
 田を行くも畔ゆくも同じ道

短氣は損氣
 短氣は末練の相
 團子を見れば彼岸と思ふ
 忠言耳に逆ふ
 重箱で味噌を摺る
 中流に舟を失へば一瓢も千金
 近しき中に禮儀あり
 近しき中に垣をゆへ
 近づく神に爵當る
 畜生の逆うらみ
 竹馬の友
 地獄で佛に逢つたやう
 地獄の上の一足飛び

地獄の沙汰も金次第
 地獄は壁一と重
 地獄も住家
 地藏の顔も三度
 智者の敵となるも愚者を友とする
 なかれ
 智者の邊の童は習はぬ經を讀む
 智者は危きに近よらず
 智者は秋の鹿鳴いて山に入る
 智者はまどはず
 智者も千慮に一失あり
 父の恩は山より高く母の徳は海より深し
 父の子母の子
 血で血を洗ふ

地頭に法なし
 地にあらば連理の枝
 地にぬきあし
 長者富にあかず
 長者二代なし
 長者に貧をかたるな
 長者の門に非人絶えず
 長者の歴に味噌
 長者の萬燈貧者の一燈
 提灯につりがね
 提灯持ち川へはまる
 提灯借りた恩は知れど天道様の恩
 は忘れる
 茶碗を投げて綿で受けよ
 ちよつとこいに油断するな

應積りて山となる
 智慧ない神に智慧つける
 智慧の枝腐り
 鎮守の沼にも蛇はすむ
 杖ほどかゝる子はない
 月盈れば缺く
 月にむら雲花に風
 月の影とるましら
 月の昇りに日の降り
 月の前の燈
 月夜に米の飯
 月夜に釜ぬく
 月夜に提灯も外聞

づくなし者の節句働き
 つけやき双はゝげやすし
 つけやき双は役に立たず
 樋で庭はく
 繫ぎ馬に鞭をうつ
 角なほすとて牛ころす
 妻こふ鹿は笛に寄る
 つまづく石も縁のはし
 爪で拾ふて箕でこぼす
 爪に火をとます
 強き木はむす折れ
 つりあはぬは不縁のもと
 つりおとした魚は大きし
 弦なき弓は羽ぬけ鳥
 鶴は枯れ木に巢をくはず

鶴のはぎも切るべからず鴨のはぎもつぐべからず
 鶴は千年龜は萬年
 簀に鐵砲
 簀の大聲
 簀の立聞
 て
 亭主關白
 亭主の好を客にふるまふ
 亭主八杯客三杯
 朝三暮四のいとなみ
 烏雀枝の深きに集る
 帳籠の當て呑み
 手飼の犬に噛まる
 手書きあれども文書きなし
 敵なきに矢をはなつ
 敵に双物を預ける
 敵のさする功名
 敵の助言にも善く聞け
 弟子七尺去つて師の影をふまず
 出ず入らず
 手足らずの口劍
 出遣より小遣
 手ですること足をする
 手なうして寶の山に入る
 手習は坂に車を押す如し
 手に汗をにぎる
 手の裏をかへす
 手の奴足の乗り物
 手は千里の面目
 手ぶつちやうの口八丁
 出船は船頭待たず
 手前味噌で鹽からい
 出物腫物處きはらず
 手盛八杯
 寺の邊の童は習はぬ繩をよむ
 出る息は入る息を待たず
 出る杭はうたるゝ
 天から横にふる雨はなし
 天道様と米の飯はついてまはる
 天道人を殺さず
 天道見通し
 天地を袋にぬふ
 天にあらば比翼の鳥地にあらば連

理の枝
 天に口あり壁に耳あり
 天に口なし人を以て言はしむ
 天にせくゞまり地にぬきあしす
 天爵は當り次第
 天の與ふるを取らざれば却つて其
 とがをうく
 天に向つて唾はく
 天に私なし
 と
 冬至から豚のふしだけ延びる
 燈火消えんとして光を増す
 燈臺本暗し
 豆腐で齒をいためる
 豆腐にかすがい糖に釘
 時にあへば鼠も虎となる
 時の代官舊の奉行
 毒藥變じて良藥となる
 毒を食はゞ皿も紙ぶれ
 徳利に口あり鍋に耳あり
 どこのとりの聲も同じ事
 處かはれば品かはる
 處ならひ國きやうだん
 ところを得ぬ玉作り
 年とはんより代をとへ
 年はくすり
 年寄の子は影なし
 年寄の冷水
 年寄は犬もあなどる
 隣の喧嘩門違ひ
 隣の痛氣を頭痛にやむ
 隣の寶をかぞへる
 殿の犬にはくはれ損
 鷹が鷹を生む
 鷹の子鷹にならず
 飛ぶ鳥あとをにごさず
 問ふに落ちずして語るに落ちる
 問ふは一旦の耻問はぬは一生の耻
 十日の菊六日のあやめ
 遠き親類より近くの他人
 遠くて近いは男女の中
 十で神童十五で才子廿才過ぐれば
 只の人
 富ては驕り貧しければ詔ふ

土用半に秋の風
土用布子に寒かたびら
虎嘯けば雲騒ぐ
虎に翼をつくる
虎は千里いつて千里歸る
虎は死して皮を止め人は死して名を留む
虎を養ふてうれいをのこす
鳥なきさとの蝙蝠
鳥は枝のふかきにあつまる
鳥は食ふともどりくふな
泥の中の蓮
泥を打てば顔へはねる
鈍なるは可愛い

な
内證の火の車
無い時に辛抱ある時には節儉
無いがいけんの總仕舞
無い袖はふれぬ
泣いて暮すも一生笑ふて暮らすも
一生
長い浮世短い命
長生は辱多し
長い正月はない
長芋で足をつく
なかうどそらごと
なかうどは背の程
長きにはまかれよ

三四八
流れを汲んで源を知る
泣き意地
泣き面蜂がさす
啼く兒と地頭には勝たれぬ
無くて七癖あつて四十八癖
投所を投げたら落所を見るな
なけなしのむだづかひ
情は人の爲ならず
濟しても八百
梨もつぶてもうたぬ
なすやうにならいでなるやうにな
夏は火は娘にたかせよ冬の火は嫁
にたかせよ
夏の餅は狗もくはぬ

夏は日向をゆけ冬は日影をゆけ

七ころび八おき
七度探して人を疑へ
七度半の使立つ
七つ八つはにくまれざかり
七重の膝を八重に折る
何事も神信心
名に着いたる疵
七日の説法比一つ
細張おくも盗人の爲め
鍋に耳疊に目徳利に口
直き木に曲る枝
直すは一代見るは末代
生兵法大疵のもとる
生ごろしの蛇にかまれる

生物識堀へはまる
なまづを鷹簞でおさへる
なまけ者の節句働き
怠け者の食いそぎ
生酔本性たがはず
習らはぬ經は讀めぬ
習らふより馴れよ
成らぬうち頼み
習ふは一生
なるれば兎も食ひつく
鳴る腹くだる
鳴るは驛路の鈴の聲
馴れぬ米商より馴れた糖商
名をとらんより徳をとれ

二階から目薬をさす
にくい鷹には餌を飼へ
にくい坊主の布施このみ
にくきものはいけて見よ
にくまれ子世にはいかる
二月一ト月は粉練三分でくらす
逃げた魚は大きい
逃げるも一手
逃げる者道を選ばず
錦の上に花をそふ
錦を着て故郷にかへる
西はひんがし
二十五の菩薩も夫れくの役

二足の草鞋はまけぬ
 似たもの夫婦
 似たものは烏
 煮ても焼いても喰はれぬ
 日光を拜まぬ中は結構といふな
 二度あることは三度ある
 二度吃驚
 三度目は馬の鞍
 俄盲目の杖失ひ
 二八あまりは人の瀬越
 鶏 寒うして木に登り鴨寒うして
 水に入る
 女房と鍋釜は古きほどよい
 女房にほれて御家繁昌
 女房は家の道具

人間盛りに神崇りなし
 人間わづか五十年
 人形にも衣裳
 人參吞んで首くまる
 人見て法とけ
 ぬ
 抜かぬ太刀の功名
 盗人が盗人にぬすまるゝ
 盗人に鍵あづくる
 盗人の隙はあれども守る人の隙は
 ない
 盗人の番には盗人をつかへ
 盗人の晝寝もあてがある
 盗人はたけくし

盗人を見て繩をなふ
 盗みする子は悪くからで其の繩取
 リがにくらしい
 ね
 願つたり叶つたり
 猫にかつをぶし
 猫に小判
 猫になまいわし
 猫の齒に蛋
 猫の晝寝に油断すな
 猫を逐ふより魚をのけよ
 鼠とる猫爪かくす
 寝てはく唾は身にかゝる
 根ほど枝ひろがる

寝耳に水

根を深くして葉を固くする
 根を掘つて葉をからす
 念に念を入れる
 念佛と食物は一口が大事
 念力岩を通す

の

能ある鷹は爪かくす
 能書筆をえらまず
 能なし犬の高吠え
 能なし口たゞき
 鋸屑もいへばいふ
 後の千金より今の百文
 咽もと過ぐればあつさを忘る

咽をしめて息をする

飲まねば薬も効能なし
 堅といへばさい樋もたせ
 飲むには減らず吸ふにけ減る
 暖簾と腕押し

は

法師の軍ばなし
 法師にくければ袈裟までにくし
 法師の不信心
 馬鹿と餅には強くあたれ
 馬鹿と相撲には勝てぬ
 馬鹿な親でも親は親
 馬鹿な子を持ちや火事よりつらひ
 馬鹿に兵法なし

馬鹿の大飯

馬鹿の子は猶かわゆい
 馬鹿の孫ほめ
 馬鹿はよけて通せ
 ばかすばかすはばかされる
 鉄と丁稚は使ひやう
 始めが大事
 走る馬に鞭
 二十坊主に牛の陰囊
 如に蛤
 八十の三歳兒
 八十八夜の別れ霜
 耻を耻とおもはねば耻かいた事が
 ない
 初物七十五日

鳩に三枝の禮あり
 花咲き實となる
 はなし上手に開下手
 話しの名人はうその名人
 話しは半分に聞け
 鼻の下長ければ命長し
 花はみよしの人は武士
 花は折りたし槍は高し
 鼻へ手をあてゝ人をつかふ
 花より團子
 齒はえて生るゝは鬼子
 早起目の藥
 流行物は廢れる
 はやる稻荷は鳥居から知れる
 早くてわるいは大事なし遅くてわ

るいは猶わるし
 はゆる山は山々から見ゆる
 腹の皮はれば目の皮たるむ
 腹八分に醫者いらす
 腹も身のうち食傷も病の中
 針の中から天をのぞく
 針は小けれども吞まれず
 春の甲子に雨降れば早り夏の甲子
 に雨ふれば洪水
 春花咲かぬ木は秋實らず
 葉をかつて根を断つな
 繁昌の地には草はえず
 ひ

低き所に水たまる
 比丘尼の掃たくはへ
 比丘尼の張小袖
 日暮れて道をいそぐ
 日暮と大晦日はいつもいそがし
 日暮れの歌念佛
 膝とも談合
 聖も時にあはず
 美人といふも皮ひとへ
 ひだるい時にまづいものなし
 人ある中に人なし
 人かたきはとらぬこそよけれ
 一つ穴の狐
 人取る龜は人に取らるゝ
 人には云ふて見よ馬には乗て見よ

人に人鬼はない
 人に人癖馬に馬癖
 人に高下なし心に高下あり
 人の過ち我が仕合せ
 人のいけんに餅をつく
 人の一寸我が一尺
 人の命は醫者の手間
 人の噂をいへば鴨の味がする
 人の噂も七十五日
 人の虚言は吾が虚言
 人の心は九分か十分
 人の口おそろし
 人の口に甘ければわが口にも甘し
 人の十難より我が一難
 人の事言はんよりひぢあかおとせ

人の善惡は友による
 人の財布で鰻口をならす
 人の疝氣を頭痛に病む
 人の太刀にて功名する
 人の提灯で明りを取る
 人のつらきは身の實
 人のなきけは身の仇
 人の情は世にある時
 人の振見て我が振なほせ
 人のふんどしで角力をとる
 人の目は天につく
 人の故を見て我身をおもへ
 人のわるきは我がわるきなり
 人は一代名は末代
 人は心が百貫目

人は死して名を留め虎は死して皮
 を留む
 人は情の下に立つ
 人は人我は我
 人は人中田は田中
 人は武士花は櫻
 人は見かけによらぬもの
 一人子は國にはじかる
 人を思ふは身を思ふ人をにくむは
 身をにくむ
 人を鏡とせよ
 人をのろはゞ穴二つほれ
 人を使ふは使はるゝ
 人を待つな待たるゝな
 祕密の沙汰は高くいへ

百日の説法屁一つ
 百病は氣から起る
 百聞一見に如かず
 百里の道は九十里が半
 百里の道も一足から
 貧すれば鈍する
 貧者かなひ難し
 貧女の一燈
 貧の竊みに戀の歌
 貧は菩提の種富は輪廻の絆
 貧は世界の福の神
 貧は諸道の妨げ
 貧乏暇なし
 貧乏も三年置けば用に立つ

夫婦喧嘩は犬も食はぬ
 夫婦は二世
 夫婦は輪廻のきづな
 深く取て浅く渡れ
 福の神を祈るより人の口をへらせ
 河豚は食ひたし命はをし
 糞きたなしとて黄金を捨つる勿れ
 鼻の背たくみ
 武士に二言なし
 武士は相身互ひ
 武士は食はねど高楊枝
 富士の山を蟻がせよる
 富士ほど願つて摺鉢ほど叶ふ

無性者の一時ばたらき
 藤は木に縁り人は君による
 富貴の家に災難多し
 佛法あれば世法あり
 佛法は縁より起る
 筆は諸藝の上盛
 太きにはのまれよ
 駟の念佛
 船で船をこぐ
 船盗を陸で追ふ
 歩のない將基は負け將基
 文をやるにも書く手はもたず
 冬編笠に夏帽子
 降らぬ先の傘
 古川に水たえず

古きをたづねて新しきを知れ
 分相應に風がふく

平家を亡ぼすは平家
 飄箆から駒が出る
 飄箆で鯨を押へる
 飄箆の川流れ
 臍が茶をわかす
 下手碁にだめなし
 下手の考へ休むに似たり
 下手の大工指をきる
 下手の道具だて
 下手の長碁
 下手の長談議

下手の庖刀百遍あらへ
 瓜糸の皮のだん袋
 蛇に噛まれた者は打繩におそる
 蛇は七曲り曲りても我身の曲りたるをしらず
 蛇も一生 蛇も一生
 尻撒りて尻つぼめる
 へらぬものなら金百兩死なぬものなら子一人

ほきつ實がいればうつむく
 牡丹餅にて頬を打つ
 佛さかれば魔さかる
 佛作つて眼入れず
 佛になるも沙彌を經る
 佛の類も三度
 佛のまねはすれど長者のまねはならず
 佛の前に鬼がすむ
 佛の光も金次第
 佛も本は凡夫
 佛をなほすとて鼻をかく
 骨折損の草臥まうけ
 ほまれあらんよりそしりなかれ
 煩悩の犬はうてども門をさらさず

煩惱は頸にかゝる

ま

猛虎檻に入れば尾を動かして食を

求む

まかせ米はくひあく

蒔かぬ種は生へぬ

曲らねば世に立たぬ

負けるは勝

負借しみのへらざり

馬子にも衣裳

正宗の刀も持手による

正宗もやきが落ちれば釘の價

樹ではかつて箕でこぼす

待たるゝとも待つ身となるな

待てば海路の日和あり

待てば甘露の食を得る

貧しきは詔ふ

松の木柱も三年

松の實は元の白になるまで

松は二葉より棟梁の思ひあり

待つ身より待たるゝ身

眼は天をはしる

儘にならぬが世のならひ

繼母の朝笑ひ

肩につばきをぬる

迷へば凡夫悟れば佛

圓い麻積桶に角の蓋

圓い物は轉び易い

圓くとも一角あれや人心

眞綿で首をしめる

眞綿に針をつゝむ

慢心鼻をはじかる

萬能足りて一心足らず

み

身ありて奉公

木乃伊取りが木乃伊になる

見えざるよりほゝばれ

身から出た錆

身さへ心に任せぬ

身しらずの口たゞき

味噌の味噌くさきはくはれず

道は遠くとも直をゆけ

微塵積りて山となる

微塵眼に入れば大山も見えず

水入りて垢落ちず

三日先き知れば長者

三つ子の魂 百まで

三つ子の智慧が七十まで

三つ子の横草履

水三合あれば大海

水はさかさまに流れず

水は三尺流るれば清くなる

水は飲み次第うそはつき次第

水は方圓の器に従ふ

水はひくきに流る

水を乞ふて酒を得る

水を棒で打つ

見ての極樂往きての地獄

見流し聞流し

見直し聞直し

身にまさる寶なし

見ぬが極樂しらぬが佛

見ぬ京物語り

實のなる木は花から知れる

身は一錢目は百貫

身はならはし

耳にふくりんをかくる

耳は壁をつたふ

耳をふさぎて鈴を盗む

見るに目慾さはるに煩惱

身を捨てゝこそ浮む瀬はあれ

身をつまみて人のいたさをしれ

實を見て木をしれ

む

六日の菖蒲十日の菊

昔しとつた杵柄

昔のなにがし今の金貨

昔は昔今は今

むぐらもち日をそねむ

むくるじ三年磨いても黒し

舞は座敷からとれ嫁は臺所からと

れ

向ふ三軒兩隣

無常の風は時を擇ばず

娘一人に七藏あけた

娘一人に舞八人

むづかしき講には入らぬがよい

無筆の讀める顔
無理が通れば道理引込む

め

名人は人をそしらず
名馬に癖あり
命は天に在りばた餅は糊に在り
盲千人目明千人
盲に抜き刀
盲に道をおそはる
盲の鏡法師の櫛
盲の垣のぞき
盲のさぐりあて
盲者蛇におぢず
盲も京へのぼる

飯の上の蠅を追ふ
飯を食ふて直に寝ると牛になる
目の上の瘡
目のよるところへ玉がよる
目ぼそあれど口ぼそなし
目も口ほどにものをいふ
目も口ほど用を達す
目尿が鼻尿を笑ふ
夫妻いさかい貧乏の基
牝鶏うたへば家亡ぶ

も

燃え杭に火付き易し
餅は餅屋
餅屋餅くはず

持ったが病ひ
持った棒でうたれる
持った病の皮のふんどし
本木にまさる裏木なし
物怖れは不案内から
物具者の節句働き
物狂ひ水こぼさず
物の名も處によりてかはる
物は新しきを用ひ人は古きを用ふ
物は言はずの早細工
物は言ひなし言ふは聞きなし
物は相談
物はためし
物ほしがれば人嫌ふ
燃える火に薪を添ふ

門前の小僧習はぬ經よむ
門を出れば敵あり

や

養子には臍の上に帯をしめたもの
をもらへ
役人とこつばは立てる程よし
焼石に水
焼野の雉夜の鶴
焼ぶとり
焼木杭には火がつきやすい
安い物は高い物
安からうわるからう高からうよか
らう
安物買の錢うしなひ

瘦腕にも骨あり
瘦馬の道いそぎ
瘦馬の十駄
瘦馬鞭に驚かず
瘦我慢貧から
瘦地の豆狼なかせ
雇人に科なし
柳に蹴鞠
柳の枝に雪折れなし
柳は風にしなふ
柳は緑花は紅
藪醫者の手柄ばなし
藪から棒出す
やぶれても小袖
藪をつゝいてへびを出す

山師の玄關前
山師山ではてる
山の芋で足をつゝ
山伏も門出
病は口より入る
病なほりて醫者忘る
病を知れば遠るに近し
暗夜に錦
病む目より見る目
鎗の衝手なし棒に打手なし
鎗持鎗をつかはず辨當持辨當つか
はず
やる時は着物をぬげ取る時には着
物を着よ

ゆ

床が高すぎて天井が低くなる
 ゆがみ木も山のにぎはひ
 雪は豊年の貢ぎ物
 湯の辭宜は水になる
 湯腹も一時松木柱も三年
 弓も引き方
 夢にぼた餅
 夢はさかゆめ
 湯谷松風に米の飯
 ゆるぐ杭はぬかる
 湯をわかつて水になす

よ

用あるときの地藏額用なきときの
 閻魔額
 用心に繩を張れ
 用心は臆病にせよ
 用心は前にあり
 よき中には垣をする
 よきも悪しきも七十五日
 よく射る者はよくふせぐ
 愆のないものには圖があたる
 よくのるものは馬より落つ
 よこに車は押されぬ
 夜聲八町さゝやき八丁
 葎のずいから天井を見る
 世の取り沙汰は七十五日
 世の中はまはりもち

世は千年の蓄へ
 弱馬道をいそぐ
 宵つばりの朝寝坊
 よまん同土書かん同土
 讀み書き算盤は男の一藝
 夜道川立馬鹿がする
 夜道に日が暮れず
 媳と名がつけば我が子もにくい
 夜目遠目傘の中
 嫁姑の中よきは物怪のふしぎ
 嫁が姑になる
 喜んで尻餅をつく
 よわり目にたゞり目
 世を捨つれども身を捨てず

ら

來年をいへば鬼が笑ふ
 老少不定は世の習ひ
 老人の子は影なし
 老人の冷水
 老馬道を知る
 樂あれば苦あり
 落書に名筆なし
 樂する悪からう苦するよからう
 樂は苦の種苦は樂の種
 樂は貧にあり
 樂は身の毒

り

利口の猿が手を焼く
 利息を取るより利息を拂ふな
 律義者の子澤山
 理に勝ちて非にまける
 理を破る法はあり法を破る理はなし
 兩手に花
 兩手に物もつごとし
 兩方立てれば身がたゝぬ
 兩方よきはほゝかぶり
 良禽は木を擇んですむ
 瓦薬は口ににがし
 綸言汗の如し

る

留守は火の用心
 留守見舞は間遠にせよ
 流浪して主のありがたきを知る
 琉璃も玻璃も照せばひかる
 類を以て集る
 類を引き友を呼ぶ

れ

禮も過れば誦ひとなる
 連理の中にも断れる期

ろ

六十の手習又七十の手習
 六道は目の前
 續三年に棹八年

論語讀みの論語しらず
論にまけて實にかて

わ

我が頭の蠅を追へ
若い時の遊藝が用に立つ
若い時は二度はない
我が内の釜了簡
我がおもしろの人かしまし
若木に腰かけな
若木の下で笠をぬげ
我が田へ水を引く
我が船の順風は人の船の逆風
我が身の一尺は見えぬ
我が身のくさを我しらず

我身をつまみて人の痛さをしれ
我物食ふて主の力持ち
我が物故に骨を折る
禍は下から起る
禍は口より起る
禍もさいはひのしるしとなる
禍も三年置けば役に立つ
綿に針つゝむ
渡りに船
藁千本ありても柱にならぬ
藁づとにこがね
藁で作つても男は男
藁人形も衣裳がら
笑ふ門に福来る
笑ふ顔には矢がたゝず

笑ふて損をするものなし
童いさかい長知らず
童と公方人には勝たれず
わるい夢は鏡にくはする
わるい夢にはなさぬもの
わるい子が氣にかゝる
破れ鍋にとじぶた
椀の中から人を見ぬもの

書翰用語

冒頭 (往信)

●前文を附ける場合
寸楮拜呈仕り候
一翰拜進仕り候
書札を以て啓上致し候
謹んで寸箋を呈し候
郵便に托して申し上げ候
幸便に任せ一書拜呈仕り候
拜啓仕り候
慈々拜啓致し候
一筆啓上

書翰用語

愚札拜呈
一書謹呈
寸簡啓上
肅啓
拜啓
謹啓
啓上

●前文を略す場合
草々申し進め候
前文御免下され度
取急ぎ要件のみ申し上げ候
率爾ながら申し上げ候
前文御仁恕
前文省略
冠啓

略啓
前略

●美文風に書く場合
瓶梅かをる書齋の雨に筆執り、聊
か聞え上ぐべく候
初 簞の優しき音聞きつゝ、田舎
より一筆呈し候
春風に托して、一書を千里の君に
寄呈致し候
嵐山の茶店に腰かけ、旅硯のしづ
く筆借りて左に
雨絲よりも多き思ひのかずく
落花の窓に細々と筆執り申し候
青葉若葉清しき初夏の里よりとり
どりの自慢聞え上げ申すべく候

三六三

岩清水旅況に注ぎ山裾の茶屋にて
一筆試み申し候
春の夢を新緑の窓に繰返し、花に
盡さざりし事共また茲に
避暑の磯家に筆執り涼しき朝夕の
何や彼や聊か筆に托し申すべく候
都の初秋のさま筆に上して左に
涼影ゆらぐ書燈の下にて一筆
清き月の光に誘はれ、みけしき伺
はんの一札
盡きやらぬ千里の秋思、又しても
空ゆく雁に運ばせんの一筆
落葉しげき山窓に筆執り、淋しき
おたより相試み申し候

●前文を附ける場合
華曇有難く拜見仕り候
二日の御郵書今日正に拜受致し候
御手翰繰返し拜誦致し候
御懇書只今拜受有難く披見仕り候
尊翰辱く拜讀致し候
華曇拜展
貴札拜閱
御手紙拜見
御書の趣逐一敬承
御示諭の次第承知
采雲披見
拜見

●前文を略す場合
拜閱
拜覽
敬承
謹誦
貴諭の如く
仰せの様に
御示諭の通り
光命に違はず
●美文風に書く場合
梅窓にて御認めのおたより、一し
ほ床しう拜見致し候
久々のおたより、鶯の初音よりも
嬉しう、幾度か繰返して拜誦
なつかしき故郷よりの御手紙、都

同 (返信)

の翠窓にて有難く拜見仕り候
嵐山の花の下にて、御認めの一筆
面白く拜誦
細雨の絲に情緒織成されし御手紙
落ちもなく讀み申し候
初夏の御筆いと清々しう拜見
夏迎へし今日も尙、故里の春夢再
びせよかしの御書、稍憎う讀まれ
申し候
磯館よりの御自慢だより、字々
皆涼しく御蔭にて暑中の熱忘れ申
し候
さら／＼と清水流るゝ山裾茶屋よ
りの御書、一しほ涼しう打讀まれ
申し候

初秋のおたよりいと涼しく、残暑
しのぎ難き都にて拜呈
此方の村はいよ／＼秋、京よりの
御書一しほ涼しう讀まれ申し候
明月に執り給ひし御筆、此方は淋
しき雨の窓に繰返し申し候
初秋より失禮仕り居しに。又して
も細々との御書賜り、尙更あり難
く讀み申し候

●初 春
早春の時候
春初風なほ寒く
春寒料峭の節

残寒尙いまだ去らず候處
浅春の節に候處
昨今稍春暄相覺え候處
春 暖漸く相加り候處
昨今少しく春めき申し候ところ
春立ちてまた幾日も之れ無く候も
野山は流石にうす霞欄引き
楊柳の眉未だ伸びざるも梅花は玉
齒を啓き初め
北山の雪まだらに、南郊には梅綻
びそめ申し候
一雨は一雨より愈春めき渡り候處
鶯の初音いまだ耳に致さず候も梅
は既に二三輪咲き出て申し候
流石は春に候ものかな、梅だより

時序

人 嘆しげの昨今
 初鶯の一聲に春の幕明き、北方の
 連山には残雪既に消え
 探梅の履移すには少々早き事に候
 はんも、彌詩人向の時候と相成り
 申し候
 野邊の若菜にも愈春の色見え
 風まだ寒く候も、夢は江南の梅に
 落ち易き此頃
 四方の眺め愈春らしう相成り、鶯
 の初音も偲ばれ易き今日此頃
 日向の梅に春の痕やうく見え初
 め候處
 昨夜の雨にて野邊の小草は芽ぐみ
 連日の快晴一しほ探梅の興偲ばる

る昨今
 世は梅日和に近づき候ところ
 春とは名のみ折々霰さへ降る此頃
 梅咲き初むればとて、野鶯は未だ
 町に旅試み申さず候處
 この兩三日は分けて春めきたり
 寒氣いよく薄らぎ候處
 ●仲 春
 世は愈梅日和
 春暖の時候
 時下春暄
 麗陽の候
 天地漸く長閑に
 梅の囁しきりに
 觀梅の好時節

今し世は梅の花盛り
 梅信頼りに詩展をそよのかす昨今
 逐日暖氣相加はり候處
 愈行樂に宜しき時節と相成り候處
 山里は昨今は彌眞の春景色
 草屋を美しくする桃花も盛りげに
 花紅柳緑の好時節
 春は桃花に到りて眺め愈妖艶に御
 座候處
 静けき御村の昨今、又格別の眺め
 と存じ候處
 春風胎蕩の時候
 昨今の氣候は眞に四時中の第一
 春色人を惱しやすき時候に候處
 江柳野花、轉行樂に宜しき此頃

昨今は到る處詩趣に宜しからざる
 は之れ無く
 岸柳汀花實に晝も音ならざる昨今
 に候處
 鳥歌ひ蝶舞ふの好時節
 春色漸く閑干、雅俗將に狂せんと
 するの時候
 所謂三春行樂の時節
 花下風流の陣布くに宜しき此頃
 綠戦紅酣、到る處酌むにも吟ずる
 にも宜しく
 遅々たる春日、轉歸るを忘れしむ
 る昨今
 村は静けき春げしき、君等の詩展
 を移し給ふに宜しく候處

空には雲雀の歌朗かに、地には蝶
 の舞優しき此頃
 四民家を空しうし出遊に耽る昨今
 花下に宴し、柳外に棹すに宜しき
 時候
 雲雀の聲は人の心を空にひき、一
 しほ長閑き相見え
 霞む所は花にして、烟むる所は柳、
 野邊川邊みな晝よりも美しく候
 暮春に隣れる昨今、眺めも天氣も
 一しほ憐れに相見え候處
 春も半を過ぎ申し候處
 酔うて塵事忘るゝに宜しき昨今
 ●晩 春
 晩春の時候

暮春の節
 儂れ春逝かんとする昨今
 世は早くも夏に隣れる此頃
 九十の春光將に盡きんとする此頃
 暮れ近う相成り、いと春惜まれ
 候處
 落花啼鳥轉暮春の情憐れ深く候處
 九旬の春光餘す所幾日も之れ無く
 哀れ暮れゆく春の昨日今日
 百花亂れ散り村は青葉蔭漸う繁く
 千紫萬紅老ひ去りて、世は愈夏近
 う相成り候處
 花を洗ふの細雨一しほ旅愁を添へ
 故郷の春偲ばれ易く候處
 春愁限りなき昨今

老の易きは春、千紫萬紅今は影を留めず
 三春に殿したる牡丹さへ、昨日今日の雨に老ひんとする憐れさ
 夏も其處に参り候處
 人を樂しませし花や鳥何れも老ひ去りて此世淋しく相成り申し候處

●初 夏
 新緑の節
 向暑の砌
 薄暑の時候
 青葉若葉清しき此頃
 夏景沖瀾の候
 眺め清しき新緑の時候
 逐日暑氣相催し候處

緑蔭 幽草花時に勝るの節
 村は分て眺め清々しき初夏の此頃
 三春に對する詩歌もなく、世は早くも夏と相成り候處
 新樹の蔭海よりも深く、何處も争はれぬ夏景色
 町住家の小庭迄、彌争はれぬ夏景色と相成り
 早くも夏知らせ顔の金魚賣
 磯曲は愈得意の幕開き、松原越の白帆影鮮かに御座候
 見るもの皆緑ならぬは之れ無く
 杜鵑 憐れに聞かるゝ昨今
 麥秋の天氣
 黃梅の時節

梅雨の候
 梅雨の天氣鬱陶しく候處
 田植の時節に相成り候處
 山々は霞の衣ぬぎすて縁清しき夏迎へ候處
 清和の時節
 出梅後暑氣きびしく
 梅雨晴れて天氣彌暑く相成り候處
 愈夏の本性相見れ候處

●盛 夏
 酷暑の砌
 酷暑の折柄
 酷暑の候
 大暑の節

盛夏の時候
 海暑 凌ぎがたく候處
 炎暑 厳しく候處
 苦熱 堪へ難く候處
 炎威 赫灼の候
 灼くが如きの炎暑
 昨今は又格別の暑氣に御座候處
 昨今は暑氣殊に激しく
 釜中に在るよりも猶熱く感じ候處
 當年の暑氣、殊にしにのぎ兼ね候處
 鬼瓦も火を吐くかと思はるゝ昨今
 三伏の候とは申し乍ら、昨今の暑氣は格別に相感じ候處
 竹渡る午風湯の様に感ぜられ候
 驕陽人を苦しましむるも亦甚しく

候處
 矮屋一しを暑さ感じ易く候
 蟬の聲もじり／＼と煎りつく様に
 水に居を移せば、て、所詮逃れが
 たき昨今の暑氣かと存じ候處
 汽罐の底に住むかと迄疑はれ候
 人間の苦熱逃るゝに處なき昨今
 空には火雲みなざり
 雲の峰崩れ難く午下の天氣彌暑く
 金鐵も銕け湯とならんとする酷暑
 銷するに由なき此頃の炎暑
 苔枯れ地裂け、筆に致しがたき程
 の嚴暑に候處
 今日九十六度と申す熱
 火を以て天とする心地致され候

●晚 夏
 時下暑氣相衰へ候處
 晩夏の候少しは暮しよく
 秋に隣れる此頃朝夕は流石に凌ぎ
 よろしく
 朝夕は稍涼しく
 眞晝は尙暑さ相感じ候も、朝夕は
 大に凌ぎよく
 雲の峯聳ゆること稀に、秋も其處
 に見ゆる昨今
 暑しと申しても暮しよき此頃
 暑さも下り坂に相成りし此頃
 竹に對すれば午熱銷し易き此頃
 夏の末となりて暮しよく

●初 秋

新秋の節
 残暑の砌
 秋暑厳しく候處
 殘炎凌ぎがたく候處
 秋とは名のみ残暑尙きびしく候處
 さすがに秋、朝夕は極めて暮し宜しく
 一雨毎に此世涼しう
 新涼動きそめ、大分凌ぎよろしく
 相成り候處
 涼意人に可なるの時節
 燈火親しむべき好時節
 世は何處も秋と相成り、衣髪に上る風さへ涼しく
 軒の風鈴も秋語るかと思ふ此頃

軒端近う流るゝ銀河の影白う、涼氣かぎりなく候處
 昨今の新涼、人をして蘇生せしめたる心地致され候處
 蟲さへ鳴き出で、世は愈眞の秋
 秋は先づ竹風と共に参り候處
 秋來ぬと目にこそ見えねど、氣いよ／＼涼しく相成り候處

●仲 秋
 秋涼の候
 殘暑全く退き候處
 時下爽涼
 蟲聲 月色、いよ／＼秋
 一雨頓に涼氣相増し候處
 月の光ます／＼冴けく

朝夕はおろか、眞晝も大に暮しよく相成り
 詩情轉清く相覺え候處
 朝夕は却て冷え／＼しく感じ候處
 樹は未だ紅ならねど雲は愈白く
 秋もいつしか半と相成り候處
 家江の尊鱸いよ／＼夢惹き易く
 逐日清涼相増し候處
 朝夕大に秋冷相催し
 白露の時節
 遠足に宜しき時候
 天高く氣清み
 征衣に上る西風一しほ冷かに相感じ候處
 天涯轉 秋に感じ易き此頃

●晚 秋

晩秋の時節
 向寒の候
 時下逐日向寒
 輕寒の節
 菊花の天氣
 秋もいつしか末と相成り申し候處
 秋冷愈相募り候處
 秋氣益深う相成り候ところ
 白雲紅葉の時候
 秋老ひて眺め 彌淋しく
 朝毎におき添ふ霜白く、秋氣彌酣に候處
 蟲も夜ごとに霜に鳴きよわり
 新涼愛でしも東の間にて、昨今急

に冷え／＼しく
 山里は分けて心細き頃に御座候處

●初 冬
 小春の時節
 名さへ優しき小春日和
 霜の朝、百舌の鳴聲殊に勇ましく
 寒氣いよ／＼相加はり候處
 寒冷の候
 繁霜轉寒氣相催し候處
 見渡す限り眺め淋しき昨今
 木枯ひし／＼と身に沁む様に相成り申し候處
 日あしも漸く短く
 楓飛び菊老い、村は一しほ淋しき
 昨今

●嚴 冬
 嚴寒の候
 時下嚴冬の處
 酷寒の時候
 大寒の節
 寒威酷烈の時候
 沍寒の時候に御座候處
 甚寒しのぎ難き折柄
 烈寒の砌
 昨今は又格別の寒氣に御座候處
 寒氣嚴しき時節に御座候處
 兩三日來殊の外なる寒氣

山も骨立ちて見ゆる此頃
 朝夕の冷氣いよ／＼身に沁み渡り候處

此頃は一方ならぬ寒氣に候處
骨刺すばかりの寒氣いと凌ぎ難
く候處

今年は數年來例なき寒氣

● 晩 冬

時下寒氣猶衰へず候處

時下尙寒威厳しく

いつしか今日も末と相成り

昨今寒さ稍減じ候處

歲月勿々除日に迫り候處

寒氣聊かも衰へ申さず

時下歳杪

光陰實にも流水、今年の餘日これ

無く候處

安否

● 先方には

益御壯康

愈御清穆

倍御多祥

貴兄には彌御清榮

益御機嫌宜しく

御安泰慶賀

御清寧恭賀

御健勝賀し上げ候

何の御障りもなく御消光

貴家御一統異なる御暮し

御渾家揃はせられ

皆様には御變りもなく御消光

尊堂益御隆盛の段
貴兄には筆硯倍御清適

高堂益御勇健

貴家彌御清福の趣、大慶の至りに

御座候

老臺御起居如何御伺ひ申し上げ候

御清安の由、恭賀し奉り候

いよ／＼御清祥の由賀し奉り候

貴兄には倍御安康大慶の至り

無事御消光の由御喜び申し上げ候

爾後御動靜如何御左右伺ひ上げ候

御兩親様はじめ何れも様には御機

嫌克く

御家内皆様御達者

昨今御様子如何、一書して伺ひ上

げ候

御達者にて御勉強の事と存じ候

● 此方は

次に弊屋何れも無事消光

降て卑生儀御蔭を以て達者

舊に依りて頑健

例により壯康

當方一統恙なく相暮し居り候間

拙宅皆々平安に御座候

幸に無異に御座候間、慮外ながら

御休神下され度

此方何れも無事

相變りもなく碌々消光罷在候まゝ

御省慮是れ祈り候

異状なく暮し居り候間何卒御安心

下され度

老若何れも別状なく

野生も亦達者に消光罷り居り候故

何卒御放神下され度

所謂貧乏息災の境遇、必ず貴意

に懸けられ間敷候

語尾

● 返事を乞ふものには

折返し御返事下され度候

勝手ながら、何分の御返事

伏して貴答待ち入り候

御答待ち入り候

御諾否御聞かせ願ひ上げ候

御回報待ち上げ候

何卒此者へ御返事下され度

申し上げ兼ね候へども、一筆の御

報願はしく

何分の御意見御漏しの程

彼是れ都合御座候まゝ、偏に貴酬

待ち入り候

御意見承知仕り度候

● 本文の要を繰返しては

先は右要件まで

右貴意を得度斯の如くに御座候

吳々も本文の儀宜しく御依頼申し

上げ候

取敢ず右御見舞まで

先は御容子伺ひ旁

書中の事幾重にも御諒察下され度

取急ぎ右大要の御答のみ
 只一筆の御答のみ
 先は勿々の御返事迄
 御返事かた／＼愚見披陳致し候
 ●先方の幸福を祈りては
 時下不順、御自愛專要
 御保養第一
 折角に御攝養祈り上げ候
 時分柄御身御大切に
 御病後一しほの御養生
 惡疫流行の今日、別して御用心の
 程念じ上げ候
 國家の爲め偏に御自愛
 御身御大切に遊ばされ度、遙かに
 相祈り居り候

矣々も道中御用心
 御旅中は別して御身厭はせられ度
 時下向暑萬事御注意成され度候
 ●他日を期しては
 委曲は拜眉の上にと
 精しき事は御目に掛りし上にて
 餘は不日拜面
 書餘は後鴻に附し申すべく
 委細拜顔の節を期し候
 萬事拙筆に盡し難く、餘は拜眉に
 譲る
 申し度事多々之れ有り候も、餘は
 後便にてと
 何れ拜眉の上、萬難仕るべく候
 河事も後郵にて聞え上げん筈

漏したるものは歸村の折にと
 ●辯解するには
 混雜御返事延引
 貴答遅延の罪何卒御海容下され度
 亂筆御推讀願ひ上げ候
 草々の筆只々御推讀祈り奉り候
 勿々の際意を盡し難く、只々事情
 御明察
 何卒御洞察下され度候
 片紙萬情を寫し難く只要件のみ
 所思一々拙筆に上し難く、餘は何
 卒御察し願ひ上げ候
 取急ぎての執筆、燕文御容赦の程
 願ひ奉り候

傳言

●我が傳言を記す場合
 彈りながら御鳳聲
 然るべく御申し傳へ願はしく
 御鶴聲願ひ上げ候
 御致聲を乞ふ
 本文の趣、何卒宜しく御披露
 御序の節、本文の次第御傳へ下さ
 れ度候
 御兩親縁へ宜しく
 宜しく御執成し願ひ上げ候
 末筆ながら奥様へよろしく
 別に御手紙差上げず候間、貴兄よ
 り然るべく御傳言を乞ふ

●他の傳言を記す場合
 老父よりも厚く御禮申し出で候
 家内一同より皆様へ宜しく
 愚妻よりも御無沙汰の御わび、幾
 重にも申し出で候
 京の叔母よりも宜しく申し出で候
 母よりも時候厭はせらるゝ様
 兄よりも本文同様、偏に御保養相
 祈る旨申し出で候故加筆
 祖母よりは別して御用心成さるゝ
 様にと申し出で候

敬具 稽首 不宣 不盡 不備
 不悉 不乙 不一 拜伏 草々
 早々 勿々 已上 以上
 草々頓首 草々敬具 草々不備
 頓首再拜 恐惶謹言 薰沐再拜
 叩頭謹言 頓首々々 勿々拜具
 勿々擲筆 草々不宣
 返信用のもの
 拜復 拜答 拜酬 奉復 謹答
 謹復 草々拜復
 女子用のもの
 かし かしく あら／＼ あ
 なかしこ めでたくかしこ

日附書式

正式の場合
昭和四年九月一日 十二月二日
略式の場合
五日 十六日
乙卯元旦 甲寅元旦 中秋夜
紀元節前一日 神武天皇祭の朝
天長節の翌日
現場を記す場合
野梅かをる南軒にて
筆とむれば 鶯の初音一聲
観梅より歸りてすぐに
花見の席より
細雨の窓にて
嵐山の茶店にて
木曾の山路より

流鶯の聲聞きつゝ晩春の書齋に
て
夏知らぬ磯屋より
溢團扇にて蚊拂ひつゝ故郷の草
堂に於て
蟲の聲に伴ひつゝ我が草屋にて
明るき月の前にて
霜しろき晨百舌の聲聞きながら
筆とむれば又しても雪ちら／＼
宛名敬辭
一般に用ゐる場合
殿 様
師其他學術藝術の人に用ふる場合
先生 先醒

上長官に用ふる場合
閣下
友人に用ふる場合
仁兄 大兄 賢契 學兄
文の友に用ふる場合
詞契 吟契 雅兄
詩家に用ふる場合
詩宗 詞伯
畫家に用ふる場合
畫伯
醫師に用ふる場合
國手 醫伯
一般に用ふる場合
宛名脇附

研北 硯右 貴下 案下 座右
玉案下 玉机下
貴人に用ふる場合
尊前 侍史 侍曹 執事
僧に用ふる場合
祝下
父母に用ふる場合
膝下
團體に用ふる場合
各位 御中 各榻下
女子用のもの
御許 御前 御許に まゐる
おそば 御文机の下に
急ぎの場合(封筒の脇附)
急信 火急 至急 急用 急々

大至急
他見を憚る場合(同)
親展 親披 親覽 直披 玉展
親剪 御自展 御自剪
用件ある場合(同)
要信 要件 要事 要用
中に在る物を示す場合(同)
届書在中 願書在中 金子在中
原稿在中 別封在中
注意 爲替券入れし時、爲替券
在中など、書かぬこと
返事を乞ふ場合(同)
待貴酬 乞御返事 願貴答
返事をする場合(同)
貴酬 貴答 御返事 奉答

紹介状の場合(同)
山本君持参 秋浦君持参 介野
田氏
人に托したる場合(同)
野村氏に托す 幸便に托す 托
藤原君
依頼事の場合(同)
御願用 御相談用 御依頼
貴人に對する場合(同)
執事御中 御家扶御中 御家從
御中 御合扶御中
團體に對する場合(同)
各位 御中
普通の場合(同)
平安 無事 平信 無異 無別條

官廳公署の場合(同)

公用

添書

一般に用ふるもの

二白 二伸 再伸 副啓 追啓
再啓 追白 迫而 追陳 再申
添申 返すく／＼なほく 尙々

稱呼

●對手方

父を尊稱しては 御父君 御父上 御親父様 御
父上様 御父君様 尊大人 御
尊父 御賢父様 老大人 尊翁

母を尊稱しては 御母公 御母君 御刀自 御母
上様 御母儀様 御母君様 御
母堂 御賢母様 令慈 令堂
北堂

兩親を併稱しては 御二方様 御兩親様 父母様
御双親様
祖父母を尊稱しては 御祖父様 御大父 御王父 尊
大父 祖公 祖父君 考祖公(亡
祖父) 御祖母様 祖母君 尊
太妣 太妣 尊祖妣(亡祖母)
御祖父母様(併稱の場合)

伯叔父母を尊稱しては 御伯父様 御叔父様 御伯母様
御叔母様
甥姪を尊稱しては 令甥 令姪
舅姑を尊稱しては 令舅 令姑
令舅 令姑 令外父 令外母
令舅 令姑 令外父 令外母
夫を尊稱しては 令配 御表 御良人 御主人様
所夫君 主人の君
妻を尊稱しては 令閨 御令閨 令配 御令配
令正 尊閨 奥方 奥様 御内
儀 御内政 令内政 令夫人

御夫人 尊夫人

男の子を尊稱しては

御子様 御子息様 芳夫様 御
次男様 御嫡子様 令嗣 御賢
息 令子太郎様 御愛息 御賢子
女の子を尊稱しては
御愛女 御娘子 花子様 御息
女 御令愛 令嬢
孫を尊稱しては
令孫 御孫様 貴孫 鳳孫
兄を尊稱しては
令兄 御兄上様 御兄君様
姉を尊稱しては
令姉 御姉上様 御姉君様 令
姐

弟を尊稱しては

令弟 賢弟 御弟様 御弟君
御舍弟
妹を尊稱しては
令妹 尊妹 御妹 御妹御 妹
君
婿を尊稱しては
令婿 御愛婿 御賢婿 御婿君
嫁を尊稱しては
御新婦 嫁御寮
師を尊稱しては
先生 先醒 大人 恩師 師の
君 尊師
先輩を尊稱しては
先生 先醒

弟子を尊稱しては

御弟子 御門弟
一般に對しては
貴下 貴殿 貴所 貴兄 貴老
尊老 尊兄 尊翁 尊公 賢臺
足下 老兄 老臺 仁兄 盟兄
盟臺 學兄
高貴の人に對しては
閣下 臺下 閣下 大人
文の友に對しては
詞兄 雅契 文契 吟兄 雅丈
詞宗 雅伯
友人を併稱しては
諸君 君達 公等 諸賢 貴方
等 貴公等

親族に對しては 御一門 御家門 御一族 御親族 御身内 御近親 家族に對しては 御一統 御渾家 御全家 皆様 皆々様 各々様 住地を尊稱しては 貴國 貴縣 御地 錦地 御村 御村方 御町内 御縣下 御地 方 御管内 住居を尊稱しては 尊館 尊家 尊堂 尊居 尊邸 貴家 貴邸 貴宅 貴居 貴館 高堂 高居 華堂 御宅 御屋敷	商店に對しては 貴店 貴舖 貴肆 御社 手紙を尊稱しては 尊書 尊翰 尊簡 尊墨 尊翰 貴札 貴書 貴墨 玉札 貴翰 玉箋 華墨 華簡 華札 玉章 芳翰 芳書 芳墨 芳牘 芳箋 采雲 雲簡 御狀 御文 御手紙 紙 御書面	御祖父様 御祖母様 御祖父母様 自分の伯叔父母に對しては 伯父様 御伯父様 叔父様 御叔父様 伯母様 御伯母様 御伯母様 叔母様 御叔母様 自分の夫に對しては 別方様 あなたさま 旦那様 御前様 自分の妻に對しては 御前 其許 御身 そなた 御こと
自分の父母に對しては 家大人 父上様 御父上様 父君様 御父君様 母上様 御母上様 母君様 御母君様 御雨親様 御双親様 自分の祖父母に對しては	亡父を指しては 先代 先人 亡父 先君 母を尊稱しては 私母 母 家母 老母 拙母 慈母 亡母を指しては 亡母 先妣 兩親を併稱するには 父母 兩親 双親 祖父母を尊稱しては 祖父 祖翁 祖母 祖嫗 祖父母	伯父 亞父 叔父 伯母 叔母 甥姪を尊稱しては 甥 愚甥 猶子 姪 愚姪 比兒 舅姑を尊稱しては 嶽父 嶽丈 嶽翁 婦翁 婦姑 丈母 夫を尊稱しては 宅 宿 夫 主人 我夫 妻を尊稱しては 愚妻 山妻 老妻 拙婦 拙妻 閨妻 閨釵 閨室 家妻 家内 醜妻 家閨 寡妻 又名を書くこともある 男の子を尊稱しては

自分の姉に對しては 姉君 姉上様 御姉上様 自分の弟妹に對しては 御身 其許 自分の弟子に對しては 諸子 御身 上級の官職に對しては 閣下 貴下 貴職 貴官 下級の官職に對しては 貴職 貴下 ●自分方並に自分 父を尊稱しては 私父 父 家父 拙父 乃父 老父 野父 嚴父	伯叔父母を尊稱しては
--	------------

豚兒 賤息 拙息 愚子 鄙息
 長男 次男 末子 悴兒 兒輩
 太郎 五郎 武夫
 又名を書くこともある
 女の子を卑稱しては
 賤愛 拙愛 賤娘 娘 長女
 次女 末女 はな 春 玉江
 又名を書くこともある
 孫を卑稱しては
 孫兒 拙孫 愚孫 兒孫 孫女
 孫芳夫 孫花子
 兄を卑稱しては
 家兄 私兄 阿兄 拙兄 愚兄
 舍兄
 姉を卑稱しては

家姉 愚姉 私姉
 弟を卑稱しては
 家弟 舍弟 愚弟 私弟 弟三郎
 妹を卑稱しては
 家妹 愚妹 小妹 妹 私妹
 妹花
 婿を卑稱しては
 家婿 子婿 女婿 小婿 半子
 贅婿
 嫁を卑稱しては
 新婦 家婦 婦 嫁
 又名を書くこともある
 師を稱しては
 吾師 御師家 先師 (亡師を云

ふ)
 弟子を卑稱しては
 門下 門弟 門生 徒弟 門下生
 父、自分を稱しては
 父 自分
 母、自分を稱しては
 母 私
 祖父母、自分を稱しては
 祖父 祖母 自分
 伯叔父母、自分を稱しては
 伯父 伯母 叔父 叔母 自分
 夫、自分を稱しては
 余 自分
 妻、自分を稱しては

私
 子、自分を稱しては
 兒 私 小子 芳夫 太郎
 又名を書くこともある
 兄、自分を稱しては
 兄 自分
 姉、自分を稱しては
 姉 私
 弟、自分を稱しては
 小弟 私 三郎 徹夫
 又名を書くこともある
 妹、自分を稱しては
 小妹 私 春 賤 秋
 又名を書くこともある
 師、自分を稱しては

余 自分
 弟子、自分を稱しては
 私 小子 小生
 上級官職が自分を稱しては
 卑職 小官 下官
 下級官職が自分を稱しては
 本職 本官
 自分を卑稱しては
 小生 小子 小弟 不肖 迂生
 野生 老生 拙生 拙子 野拙
 下拙 野人 陋生 寒生 賤生
 自分 辱知 辱交 知己 僕
 余 生 己 私 吾
 友人を併稱しては
 余輩 余等 吾曹 吾等 私共

又女子は わらはたち 妾達
 親族を卑稱しては
 親戚 親屬 親族 一門 一家
 家族を卑稱しては
 一同 一統 皆々 各自
 住地を卑稱しては
 弊地 弊村 弊郷 弊邦 當町
 當村 當所 本縣 當方 此地
 當縣下 當區内
 住居を卑稱しては
 弊屋 弊家 拙宅 拙家 弊舍
 草堂 草屋 陋居 弊館 弊廬
 柴門 柴戸 柴扉 茅舍 蓬屋
 商店會社を卑稱しては
 弊店 弊舖 弊社 弊館 拙店

手紙を卓稱しては
 愚札 愚簡 愚翰 手札 書面
 書翰 寸箋 寸翰 抽墨 寸格
 卑簡 拙翰 手紙 一簡 一書
 紙面 愚書 拙章

數量用語

家屋の呼び方
 家 一戸、一軒、一棟
 倉 一戸前
 長屋 一棟
 茶屋 一軒
 社堂 一字
 寺院 一寺
 神社 一座
 家具の呼び方
 枕 一基、一個
 襖 一領
 傘 一本

碗 一口
 皿 一枚、一口
 箸 一膳、一揃、一具
 盆 一組
 疊 一枚、一疊
 簾 一張
 壺 一壺、一口
 釜 一口
 重箱 一重、一組
 火鉢 一個、一對(二個)
 火箸 一具
 提灯 一張
 膳碗 一人前
 茶碗 一口、一組
 銚子 一提、一本

文房具類の呼び方
 禮席 一枚
 風呂 一居
 茶器 一席、一組
 屏風 一架、一帖、一雙(二架)
 掛軸 一幅、一軸、一對(二本)
 額面 一面、一架
 策笥、長持 一棹、一枚(二棹)
 紙 一枚、一葉、一束、一締
 墨 一挺
 筆 一本、一管、一莖、一對
 硯 一面
 半紙 一帖(二十枚)
 硯箱 一箇

水入	一箇	布帛の呼び方	絹	一匹(二反)	舟車の呼び方	船類	一艘
筆洗	一箇		帶	一筋、一條		車類	一輛、一臺、一挺
文銀	一箇		袴	一具、一下	武器の呼び方	砲	一門
文庫	一箇		綿	一枚、一包		刀	一腰、一口
本箱	一箇		幕	一張		弓	一張
書架	一箇		反物	一反		矢	一筋、一條
手紙	一通、一封、一本		衣類	(單衣、袴、冬着、産衣、帷子) 一襲、一領、一枚		槍	一本、一筋、一條
書籍	一冊、一卷、一部、一篇		洋服	一着、一組		鐵砲	一挺、一口
詩歌	一首		足袋	一足		太刀	一振、一口
美濃紙	一帖(四十八枚)		夜具	一組	器具並に機械の呼び方	鏡	一面
西洋紙	一帖(六枚) 一連(五百枚)		蚊帳	一張		香爐	一基
文章詩歌	一篇		手拭	一條、一筋		花瓶	一箇
證書、願書	一通、一札		風呂敷、頭巾	一枚			

剃刀	一挺、一口	琵琶	一面、一揃	魚	一尾、一籠
剪刀	一挺	三味線	一挺	茶	一罐、一斤
砥石	一挺	ピアノ	一臺	砂糖	一斤、一袋、一吹、一箱
庖丁	一挺、一柄	オルガン	一臺	鯉節	一連、一節、一折、一臺
小刀	一本、一挺	グアイオリン	一挺	果物	一顆、一籠
扇子	一把、一本、一對(二本)	動物の呼び方		饅餅	一重
碁盤	一面	兎	片耳、一耳(二匹)	赤飯	一重
將棊盤	一面	鳥	一羽、一翅、一翼	素麵	一重、一把
寫眞機	一組	鴨	一番(二羽)	菓子	一袋、一斤、一折、一箱
鍬、鋤、鎌	一挺	牛、馬	一頭	水飴	一壺、一罐、一曲
鋸、鉋、斧	一挺	犬、猫	一匹	豆腐	一挺
印刷器、著音器、煽風器	一臺	鹿、猪	一匹、一蹄、一頭	ビール	一瓶、一本、半打、一打
樂器の呼び方		鹿	一匹、一蹄、一頭	うどん	一重
琴	一面、一張	飲食物の呼び方		ミルク	一罐
笛	一管、一本	餅	一重、一團	酒、醬油	一樽、半樽(一斗)
		卵	一個、一粒、一束(百箇)		